


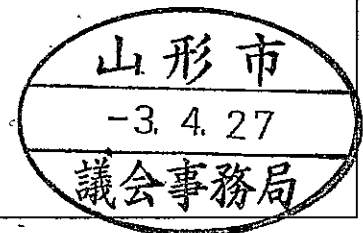
令和3年4月27日

山形市議会議長 様

議員名 石川亜希子 

令和2年度政務活動費収支報告について

山形市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、
別紙のとおり令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和 2 年度政務活動費収支報告書

議員名

石川亜希子

1 収入 政務活動費 600,000 円

2 支出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費	0	
調 査 旅 費	0	
広 報 広 聴 費	294,518	市議団報告、活動報告費用
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	197,954	新聞購読料、書籍購入費
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
通 信 ・ 交 通 費	0	
合 計	492,472	

3 残 額 107,528 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

(単位:円)

年月日	内容	収入	支出										差引			
			研究研修費	調査旅費	広報広聴費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	交通費	通信費				
1 R2.11.30.	市議団報告費用(11月分)				22,200											252,735
2 R2.12.23.	新聞購読料(山新12月分)									3,700						249,035
3 R2.12.24.	教育新聞購読料(1年分)									33,000						216,035
4 R2.12.26.	活動報告印刷代				4,488											211,547
5 R2.12.28.	市議団報告費用(12月分)				13,893											197,654
6 R3.1.12.	政務活動費(1~3月分)	90,000														287,654
7 R3.1.25.	新聞購読料(山新1月分)									3,700						283,954
8 R3.1.28.	活動報告印刷代				24,594											259,360
9 R3.1.29.	市議団報告費用(1月分)				8,800											250,560
10 R3.2.26.	市議団報告費用(2月分)				13,576											236,984
11 R3.2.27.	新聞購読料(山新2月分)									3,700						233,284
12 R3.3.23.	活動報告ポストイキング				57,102											176,182
13 R3.3.25.	新聞購読料(山新3月分)									3,700						172,482
14 R3.3.26.	書籍購入費									42,638						129,844
15 R3.3.31.	市議団報告費用(3月分)				18,560											111,284
16 R3.3.31.	活動報告折込料				3,756											107,528
17																
18																
19																
20																
	頁小計	90,000	0	0	166,969	0	0	0	0	90,438	0	0	0	0	0	0
	総合計	600,000	0	0	294,518	0	0	0	0	197,954	0	0	0	0	0	0

政務活動費支出報告書



支出番号NO. 1

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年4月25日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	4	0	8	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形中央サービスセンター								
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

読売新聞購読料 2020年4月～2021年3月


【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。


領収書

 区域 33 全戸 お問合せNo _____

お名前 5F2 藤 亜希子 様
UICWWT 4-13-15

R2年 4月分 ~ R3/3月分

	銘 柄	部 数	金 額
1	読 賣 新 聞	12	40800
2			
3			
合 計			40800 円

◇左記の通り領収しました


領収日 2年 4月 26日

読売新聞・日本経済新聞
 山形中央サービスセンター
 山形市本町1-7-17 電話(622)3243

※裏面もあわせて内容を十分お読みください。



政務活動費支出報告書

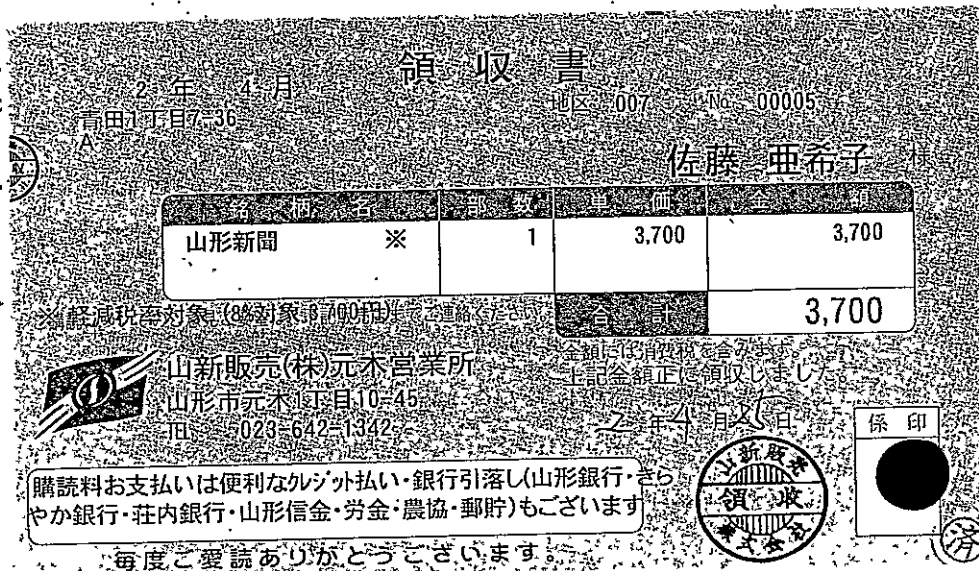
支出番号NO. 2

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年4月25日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2020年4月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 3

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年4月30日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	1	6	6
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>		〒								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	有限会社 イタガキ新聞販売								
資料購入費	レ										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

朝日新聞購読料 2020年4月～2021年3月

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領収証

小白川町4-13-15

No. 15

佐藤亜希子様

金額

¥37,146-

但 2020/4月～2021/3月 朝日新聞代として

2年4月30日 上記正に領収いたしました

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等 (%)	

〒990-0041
山形市緑町二丁目14番5号
アサ山形北部
有限会社 イタガキ新聞販売
代表取締役 板垣富志喜
TEL023-623-0785・FAX623-0788

収入印紙



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 4

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年4月30日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	8	2	3	3
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容											
<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年4月分 54700円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>											

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 54,700 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/4/5	市議団報告 4/5日号 片面	1,750	6	3,000	-1,050	12,450
2020/4/12	市議団報告 4/12日号 片面	1,750	6	3,000		13,500
2020/4/19	市議団報告 4/19日号 両面	1,750	7	3,000		15,250
2020/4/26	市議団報告 4/26日号 片面	1,750	6	3,000		13,500
						0
	合計					¥54,700

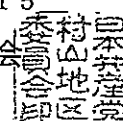
2020年 4月 30日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 5

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年5月29日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	8	9	0	6
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容											
<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年5月分 56720円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>											

領 収 証

日本共産党山形市議団 御中

金額 56,720 円

但し、市議団報告印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/5/3	市議団報告 5/3日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/5/17	市議団報告 5/17日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/5/24	市議団報告 5/24日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/5/29	市議団報告 5/31日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
	合 計					56,720

2020年 5月 29日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

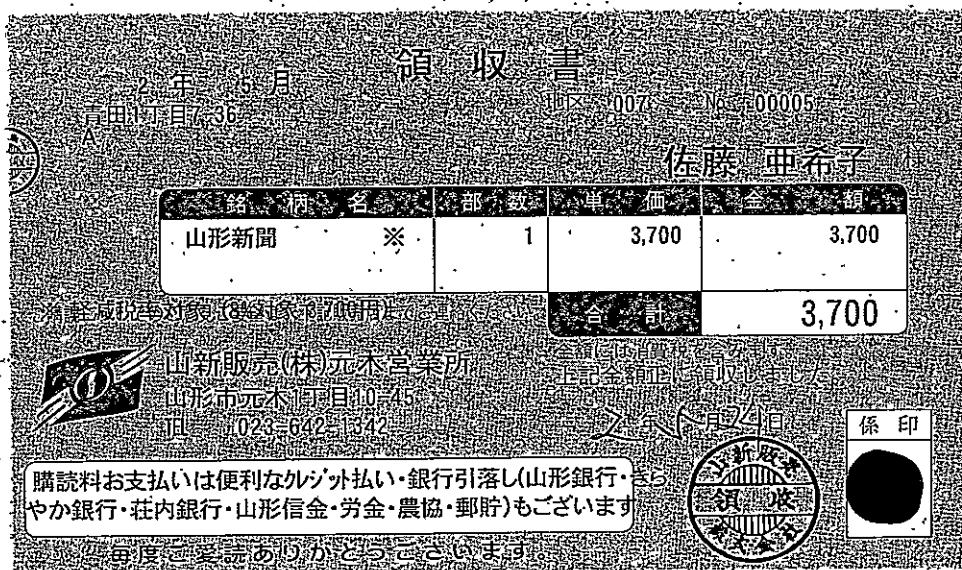
支出番号NO. 6

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年5月24日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額					¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所								
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

山形新聞購読料 2020年5月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 7

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年6月25日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報聴費	<input type="checkbox"/>	支出額					¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所								
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

山形新聞購読料 2020年6月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 書

2020年6月 山形市元木丁目7-36 地区:007 No.00005

佐藤 亜希子 様

品名	部数	単価	金額
山形新聞 ※	1	3,700	3,700
合計			3,700

山新販売(株)元木営業所
山形市元木丁目10-45
TEL 023-642-1342

購読料お支払いは便利なクレジット払い・銀行引落し(山形銀行・きらやか銀行・荘内銀行・山形信金・労金・農協・郵貯)もございます

毎度ご愛読ありがとうございます。

係 印



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 8

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年6月30日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	8	9	9	3
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容	<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年6月分 56980円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>										

領 収 証

日本共産党山形市議団 御中

金額 56,980 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/6/7	市議団報告 6/7日号 片面	1,730	6	3,000		13,380
2020/6/14	市議団報告 6/14日号 片面	1,730	6	3,000		13,380
2020/6/21	市議団報告 6/21日号 両面	1,730	7	3,000		15,110
2020/6/28	市議団報告 6/28日号 両面	1,730	7	3,000		15,110
	以下余白					
	合計					¥56,980

2020年 6月 30日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13

日本共産党村山地区委員

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

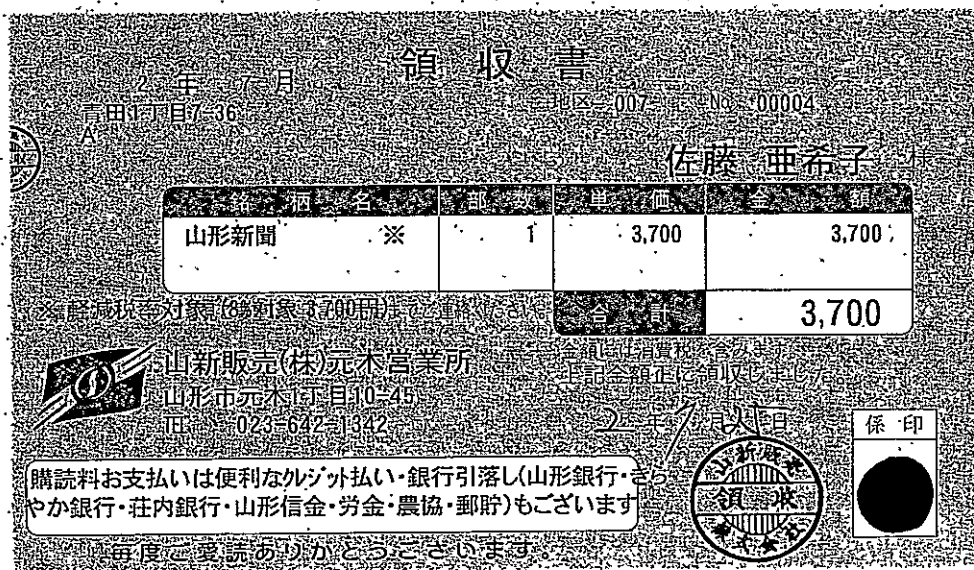
支出番号NO. 9

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年7月25日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額					¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所								
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

山形新聞購読料 2020年7月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 10

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年7月31日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	9	4	8	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容	<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年7月分 58440円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>										

領 収 証

日本共産党山形市議団 御中

金額 58,440 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/7/5	市議団報告 7/5日号両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/7/12	市議団報告 7/12日号片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/7/19	市議団報告 7/19日号両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/7/26	市議団報告 7/26日号両面	1,720	7	3,000		15,040
	合 計					58,440

2020年 7月 31日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

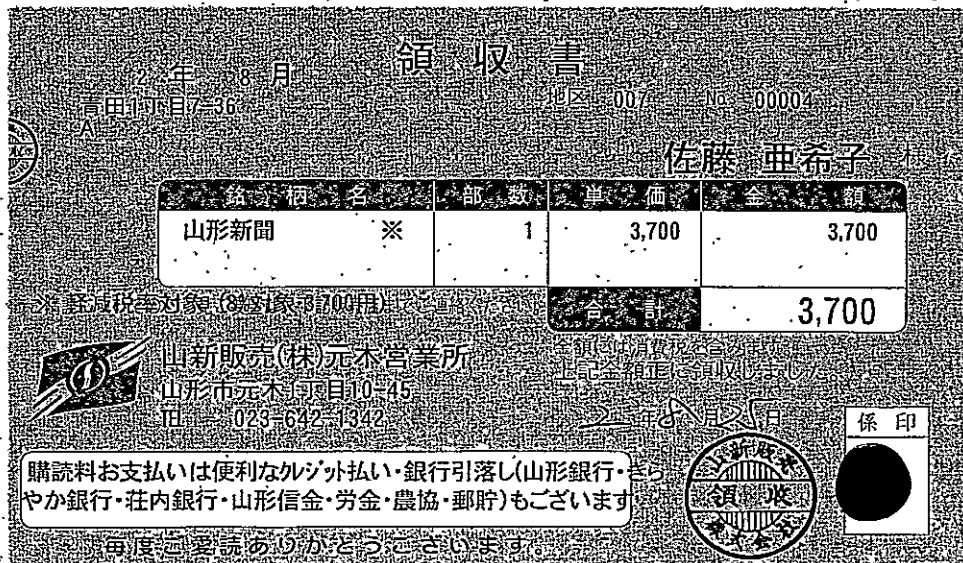
支出番号NO: 11

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年8月25日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2020年8月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 12

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年8月31日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	4	4	6	6
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容 市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年8月分 43400円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管											

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 43,400 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/8/2	市議団報告 8/2日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/8/9	市議団報告 8/9日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/8/23	市議団報告 8/23日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
	合計					¥43,400

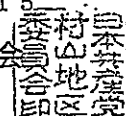
2020年 8月 31日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 13

研究・研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年9月25日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報・広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2020年9月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

20年 9月 領 収 書

青田1丁目7-36 地区 007 No. 08004


佐藤 亜希子 様

品名	単 価	単 位	数	金額
山形新聞 ※	3,700	部	1	3,700
合 計				3,700

山新販売(株)元木営業所
山形市元木1丁目10-45
TEL 023-642-1342

購読料お支払いは便利なクレジット払い・銀行引落とし(山形銀行・
やか銀行・荘内銀行・山形信金・労金・農協・郵貯)もございます

毎度ご愛読ありがとうございます。



係 印

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 14

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年9月30日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	7	4	1	8
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容 市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年9月分 52255円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管											

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 52,255 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/9/6	市議団報告 9/6日号 片面	1,710	6	3,000		13,260
2020/9/13	市議団報告 9/13日号 片面	1,710	6	3,000		13,260
2020/9/20	市議団報告 9/20日号 片面	1,710	6	3,000		13,260
2020/9/27	市議団報告 9/27日号 両面	1,710	7	3,000	-2,495	12,475
	合計					52,255

2020年 9月 30日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

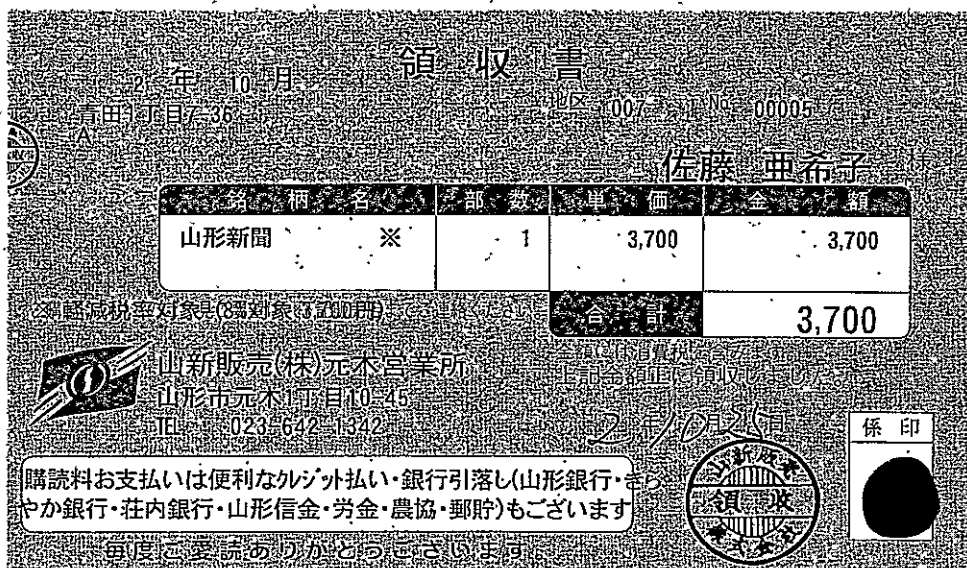
支出番号NO. 15

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年10月25日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2020年10月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 16

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年10月30日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	2	0	0	5	3
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容											
市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年10月分 60160円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管											

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 60,160 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/10/4	市議団報告 10/4日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/10/11	市議団報告 10/11日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/10/18	市議団報告 10/18日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/10/25	市議団報告 10/25日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
	合計					¥60,160

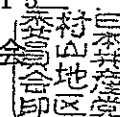
2020年 10月 30日

上記正に領収致しました。

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

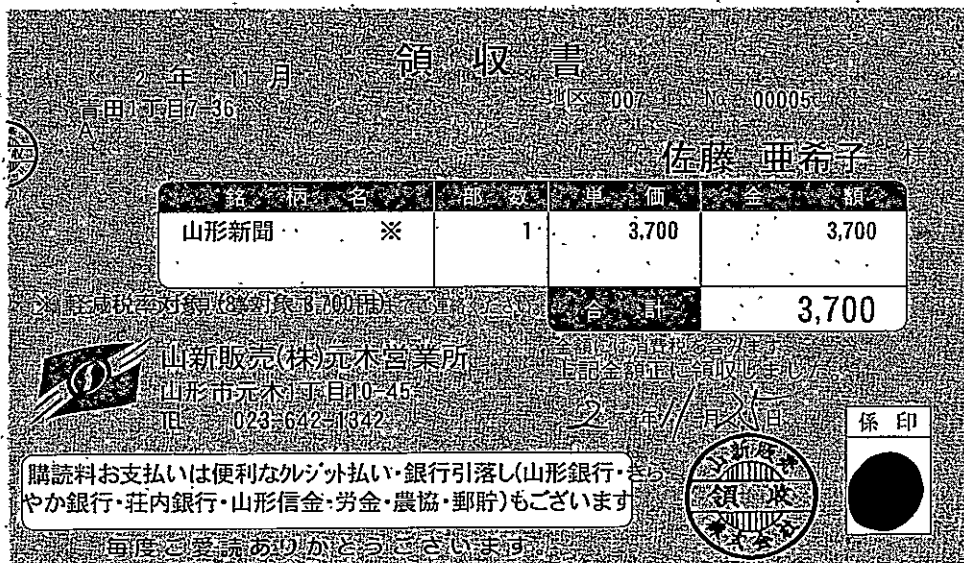
支出番号NO. 17

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年11月25日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額					3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2020年11月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 18

研究・研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年11月30日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	2	2	2	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容	<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年11月分 66600円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>										

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 66,600 円

但し、市議団報告印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/11/1	市議団報告 11/1日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/11/8	市議団報告 11/8日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/11/15	市議団報告 11/15日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/11/22	市議団報告 11/22日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/11/29	市議団報告 11/29日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
	合計					66,600

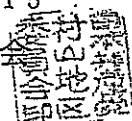
2020年 11月 30日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

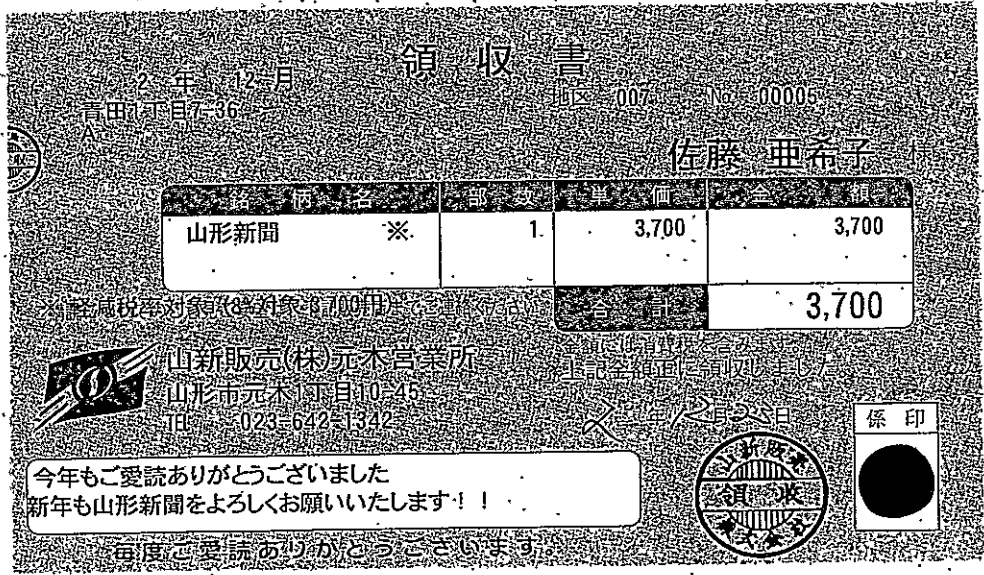
支出番号NO. 19

研究・研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年12月23日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2020年12月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 20

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年12月24日					
調査旅費	<input type="checkbox"/>							
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額	¥	3	3	0	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>							
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	株式会社 日本教育新聞社					
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>							
人件費	<input type="checkbox"/>							
事務所費	<input type="checkbox"/>							
通信・交通費	<input type="checkbox"/>							

支出内容

請求書

2020年 12月 18日

佐藤 亜希子

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 幹長

東京都港区白子 2-1-10

電話 03 (3) 633-7008

《お支払い先》

- ・振替払込
- ・銀行振込

・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	33,000 円	読者コード	36-437232	請求書番号	0004381195
-------	----------	-------	-----------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品名	部数	期間	金額	備考
前回請求額				円	
今回入金額				円	
差引繰越額				円	
今回請求額				円	
合計請求額	日本教育新聞			33,000 円	2020/05-2021/04.

ご利用明細票

お取扱日 店番 取扱番号
02-12-2485310 A93440005

取扱店 払込口座 *33,000 料金額 *0

振替受付票

払込みの証拠となるものに保存し、大切に保管して下さい。消毀料金は含まれません。 (ゆうちょ銀行)

入金額 *40,000
おつり *7,000

スマホ決済アプリ ゆうちょ Pay 可能です！
口座の残高確認も

納税申告書
付につき
印紙税
納税済

済

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 21

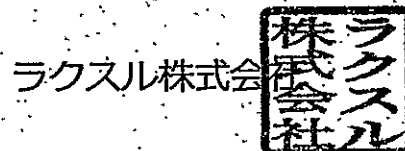
研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年12月26日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	4	4	8	8
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	ラスクル株式会社							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									
支出内容	佐藤あき子活動報告印刷代 1000枚 5985円の面積按分4分の3 資料別添									

領収書



日付: 2020年12月26日
領収書番号: R-201223125991

佐藤 亜希子 御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥5,985-

但し、商品代として
上記金額を正に受領いたしました。



ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
201223125991-01	(2021表) チラシ・フライヤー、A4、両面カラー、光沢紙(コート)、標準：90kg、折り加工：2つ折り(センター折り)	1,000部	2020年 12月26日	¥5,441

注文内容:	商品:	¥5,441
注文合計:		¥5,441
消費税:		¥544
ご請求合計金額:		¥5,985



日本共産党

山形市議会議員

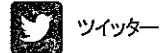
佐藤あき子

活動報告

です

2021年1月号

山形市青田1-7-36



ツイッター

@sato_akiko



フェイスブック

佐藤亜希子

今年もくらしの安心・願い実現のために活動します。以下、この間の活動をご報告します。

コロナ対策

命、くらし、営業、子どもの権利を守れ

■保健師の増員 新年度実現へ

「感染が怖い」と高齢者。「収入が激減」と業者。「リスクと向き合って疲れる」と福祉職員。大人社会に振り回される子どもたち。

集めた声をまとめ、市長に2度の要望を行いました。議会でも取り上げた保健師の増員は、「新年度から増員する」との市長回答を得ました。



2度目の市長要望を行う党市議団（左端が佐藤あき子）

■各種給付金を継続・拡大し、複数回支給を



業者のみなさんとともに交渉を行う党市議団（奥の右端が佐藤あき子）

持続化給付金や雇用調整助成金など、「必要な金額のケタが違う」「様々な支払いにあつという間に使い切った」と業者から悲鳴があがっています。給付がなければ自粛はできません。市独自策の拡大を要請してきました。同時に党として県や国にも求めています。

■医療・福祉・学校への支援と制度の改善を

受診抑制で収入が減る中、最前線で奮闘する医療現場。くらしを支え続ける介護や保育、障がい者施設。そして学校。これら現場への支援とともに、今こそ制度の見直しが必要です。

■介護報酬の改善で介護職の賃金改善を。■保育士の配置基準見直しで働きやすく。■少人数学級をさらに。■学童保育に静養室を。実現を目指して、引き続きがんばります。

2か月の休校 経済格差 子どもたちは今

昨年2月27日夜、突然の休校要請。当時、子どもを媒介とする感染は起きていませんでした。

学童保育は急な対応に追われ、山形市は5月に入って学校を午前中だけ開放しました。夏休み・冬休みも縮小されています。

子どもたちに納得のいく説明、自分の意見を言う場はあったでしょうか。「学ぶ権利」「遊ぶ権利」「意見を述べる権利」「子どもの最善の利益の追及」——子どもの権利条約の大切な原則がことごとく踏みにじられています。

親の職業によって影響が違い、経済格差が大きくなっています。家に閉じ込められる弊害もあります。

虐待に関する質問に、担当課長は「発見が困難になり、相談があったときには深刻となっているケースが増えている」と答えました。

立場の弱いものにしわ寄せがいくのを防ぐのが政治のつとめです。あらためて心に刻んでがんばります。

コロナ相談
電話番号

受診相談センター：0120-88-0006

経済対策相談：023-641-1237

023-666-8338



質問に立つ佐藤あき子市議

校則と生徒指導の見直しを

学校を居心地の良い場所へ

議場のディスプレイに市内中学校のプリントが表示されたとき、どよめきがありました。髪型、下着の色など、指導すれば人権侵害となる内容を次々に示しました。

「校則だけ変わっても、教諭の意識が変わらなければ意味がない。生徒指導担当教諭への研修会開催を」と教育長に迫りました。教育長は「現場での見直しははじまっている」と答えるにとどまりました。

●医師に長さを突いた髪型にしない。
× 2ブロック



養護教諭を増やせ

教員を増やし20人学級をめざせ

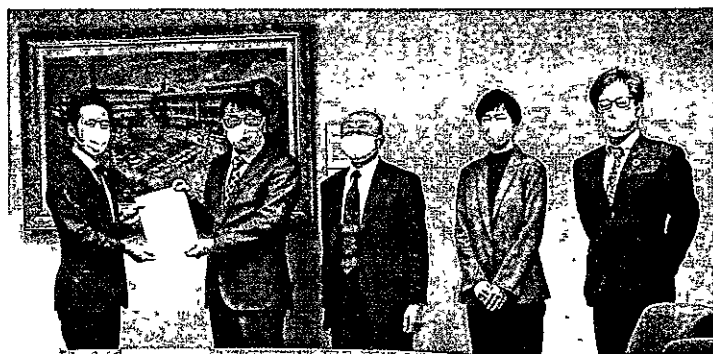
子どもたちの心と体の健康を守る課題は複雑化しています。養護教諭を増やすよう求めました。

ある保育園で「子どもたちの『密』を仕方ないとあきらめないでほしい」と聞いてハッとしました。

日本共産党は教室に余裕が持てる人数、20人を求めています。先日報道された国の方針は「小学校で35人」。山形県は33人学級で先取りしていますが、子どもたちを守るためにさらなる改善を求めます。



↑市政の課題について街頭からご報告
渡辺ゆり子県議（左）佐藤あき子市議（右）



↑「今こそ市民のくらしと福祉を守る本当の健康医療先進都市に」
2021年度予算への要望を提出。左から佐藤山形市長、稲毛
党村山地区委員長、今野市議、あき子市議、阿曾市議

核兵器禁止条約が発効へ

国連会議で採択された、核兵器禁止条約の批准国が50か国を超え、1月22日に発行します。

アメリカは昨年10月に条約への不参加を求める書簡を各国に送るなど、露骨な圧力をかけましたが、国際政治はそれをはねのけ、歴史的な結果を出しました。発効後は、核兵器保有は違法となります。

唯一の被爆国である日本が批准していないことを恥ずがしく思います。



↑太平洋戦争に日本が突入した12月8日、召集令状の赤紙を模したチラシを配布する行動が毎年行われています。母親大会実行委員会のみなさんと、核兵器禁止条約への批准を求める署名も集めました。

学術会議の任命拒否問題も、これまでは当然のことだった、「学問を戦争に利用しない」という戦争への反省を忘れたことから起きていのように思います。平和のための行動に今後もとどろくみます。

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 22

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年12月28日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額			¥	1	3	8	9	3
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									
支出内容										
市議団報告印刷・折り込み・作成料 2020年12月分 41680円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管										

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 41,680 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2020/12/6	市議団報告 12/6日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
2020/12/13	市議団報告 12/13日号 両面	1,720	7	3,000		15,040
2020/12/20	市議団報告 12/20日号 片面	1,720	6	3,000		13,320
	合計					¥41,680

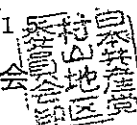
2020年 12月 28日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-1

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 23

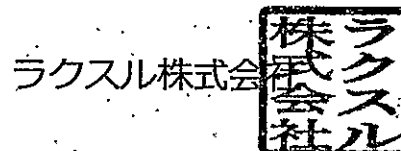
研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年1月28日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	2	4	5	9	4
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	ラスクル株式会社								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容	佐藤あき子活動報告印刷代 20000枚 32792円の面積按分4分の3 資料別添										

領収書



日付: 2021年1月28日
領収書番号: R-210126246496

佐藤 亜希子 御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksui.com

¥32,792-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。



ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
210126246496-01	(2021表) チラシ・フライヤー,A4,両面カ ラー,光沢紙(コート),標準: 90kg.	20,000部	2021年 1月28日	¥29,811

注文内容:	商品:	¥29,811
注文合計:		¥29,811
消費税:		¥2,981
ご請求合計金額:		¥32,792

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 24

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年1月25日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報・広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所							
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

山形新聞購読料 2021年1月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

3年1月 領収書
 青田1丁目7-36 地区:007 No.00005
 A 佐藤 亜希子 様

山形新聞 ※	1	3,700	3,700
合計			3,700

※軽減税率対象(8%対象)B200冊までご連絡ください。
 金額には消費税を含みます。上記金額正に領収いたしました。

山新販売(株)元木営業所
 山形市元木1丁目10-45
 TEL 023-642-1342

5年1月25日 係印

購読料お支払いは便利なクレジット払い・銀行引落し(山形銀行・きらやか銀行・荘内銀行・山形信金・労金・農協・郵貯)もございます。
 毎度ご愛読ありがとうございます。

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 25

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年1月29日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額					¥	8	8	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容	<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2021年1月分 26400円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>										

領 収 証

日本共産党山形市議団 御中

金額 26,400 円

但し、市議団報告印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2021/1/3	市議団報告 1/3日号 片面	1,700	6	3,000		13,200
2021/1/17	市議団報告 1/17日号 片面	1,700	6	3,000		13,200
	合 計					26,400

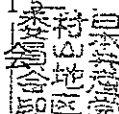
2021年 1月 29日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 26

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年2月26日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額			¥	1	3	5	7	6
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									
支出内容										

領収証

日本共産党山形市議団 御中

金額 40,730 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2021/2/7	市議団報告 2/7日号 片面	1,670	6	3,000		13,020
2021/2/14	市議団報告 2/14日号 片面	1,670	6	3,000		13,020
2021/2/21	市議団報告 2/21日号 両面	1,670	7	3,000		14,690
	合計					¥40,730

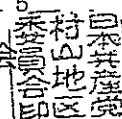
2021年 2月 26日

上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 27

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年2月27日				
調査旅費	<input type="checkbox"/>						
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額	¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>						
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所				
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>						
人件費	<input type="checkbox"/>						
事務所費	<input type="checkbox"/>						
通信・交通費	<input type="checkbox"/>						

支出内容

山形新聞購読料 2021年2月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

3年2月 領収書
青田町目7-36 地区 007 No. 00005
佐藤 亜希子

山形新聞 ※	1	3,700	3,700
		合計	3,700

山新販売(株)元木営業所
山形市元木10-45
TEL 023-642-1342

購読料お支払いは便利なクレジット払い・銀行引落とし(山形銀行・さくらやか銀行・荘内銀行・山形信金・労金・農協・郵貯)もございます。

毎度ご愛読ありがとうございます。

領収書 係印

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 28

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年3月23日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	5	7	1	0	2
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	株式会社 アオバヤ アドポス山形センター								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

佐藤あき子活動報告ポスティング料 17949枚 76138円の面積按分4分の3
資料別添

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

ご利用明細

毎度ご利用いただき、ありがとうございます。
ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。
どうぞお預めのうえお持ち帰りください。なお、裏面もあわせてご覧ください。

年月日	お取引時刻	取組店番号	種別番号	取扱番号	印紙
030323	17:06	12623		0268	
銀行番号	店番号	口座番号			
0122		現金扱い			
お取引内容		お取引金額		手数料	
お振込		¥76,138		¥	
お振込みでない場合		お取引後の残高		お振込手数料	
				¥	

おつり ¥3,422 印紙税納付

お受取人 カ.アオバヤ様
ご依頼人 サトウ アキコ様
電話番号 [REDACTED]
受付番号 0323035

請 求 書

№ 240

お客様コード№ 5251000511

990-2435

山形市青田1-7-36

佐藤亜希子

様

TEL [REDACTED]

(発行日 21年2月27日)

株式会社 アオバヤ
アドポス山形センター

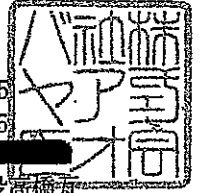
〒990-0813 山形市検町3-8-34

TEL 023-682-8075

FAX 023-682-8085

振込銀行

口座名義 株式会社アオバヤ 代表取締役高橋互



明細金額欄：金額は税抜金額です。

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。(21年2月28日締切分)

PAGE 1

前回御請求額	御入金金額	調整額	差引繰越金額	税抜御買上額	消費税額等	今回御請求額
0	0	0	0	69,217	6,921	76,138

年月日	品名	数量	単価	金額
21 2 5	210205-009-01 A4以下軒並み	17,443 枚	3.80	66,283
21 2 5	消費税			6,628
	活動報告			
	【伝票計】			< 72,911 >
21 2 5	210205-010-01 A4以下集合	506 枚	5.80	2,984
21 2 5	消費税			293
	活動報告			
	【伝票計】			< 3,227 >
	《 佐藤亜希子 様 》			< 御買上額： 76,138 > < 御入金額： 0 >
	【御買上額合計】			76,138
	内消費税額等	(課税対象額： 69,217)		(6,921)
	【御入金額合計】			0
	総御買上額			69,217
	値引・返品			0
	純御買上額			69,217

【お客さまの個人情報のお取り扱いについて】 お客様の個人情報は商品のお届け回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。お預かりした個人情報はアオバヤグループ内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施いたします。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、右記お客さま窓口まで御連絡下さい。 アオバヤお客さま窓口 0120-514-514

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 29

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年3月26日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額				¥	4	2	6	3	8
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

書籍購入費(書籍名別添)

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領収書 佐藤 亜希子 様

¥ 4 2 ; 6 3 8 -

但し、書籍代として

2021年3月26日 上記正に領収しました

内訳 別紙の通り

日本共産党村山地区委員

山形市小白川町4-1.3-1

電話 023 (631) 7103



No.	書籍名	金額 (税込み)	著者名	出版社	納品日
1	FACTFULNESS 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣	1,980	ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド／著 上杉 周作・関 美和／訳	新日本出版社	2020/7/25
2	性暴力被害の実際 被害はどのように起き、どう回復するのか	3,080	斎藤 梓・大竹 裕子／著	金剛出版	2020/9/25
3	保育白書2020年版	2,970	全国保育団体連絡会、保育研究所	ちいさいなかま社	2021/1/25
4	知っておきたい身近な電磁波被ばく 5Gで増大するリスク	1,540	大久保貞利・網代太郎、加藤やすこ・上田武智・坂部貢／著 家庭栄養研究所／編	食べもの通信社	2021/1/25
5	吠えない犬 安倍政権7年8カ月とメディア・コントロール	1,320	マーティン・ファクラー／著	双葉社	2021/1/25
6	社会保障法 権利としての社会保障の再構築に向けて	3,520	伊藤周平／著	自治体研究社	2021/2/25
7	検証 介護保険施行20年 -介護保障は達成できたのか-	2,420	芝田英昭／著	自治体研究社	2021/2/25
8	JUSTICE中国人戦後補償裁判の記録	2,750	中国人戦争被害賠償請求事件弁護団	高文研、2021	2021/2/25
9	冬の薔一ベアテ・シロタと女性の権利	1,210	樹村 みのり／著	岩波書店	2021/2/25
10	「思いやり予算」安保改定60年Ⅱ -異常な経費負担の構造-	650	「しんぶん赤旗」政治部 安保・外交班	日本共産党中央委員会出版局	2021/3/25
11	パソコン編集入門「パーソナル編集長」バージョン12対応版	2,200		日本機関紙出版センター	2021/3/25
12	暮らしに役立つ制度のあらまし2020・2021	3,850		全国生活と健康を守る会連合会	2021/3/25
13	ルポ入管:絶望の外国人収容施設	1,034	平野 雄吾／著	津曲書房、2020	2021/3/25
	季刊 自治と分権 2020年春号	1,100		大月書店	2020/4/25
	季刊 自治と分権 2020年夏号	1,100		大月書店	2020/7/25
	季刊 自治と分権 2020年秋号	1,100		大月書店	2020/10/25
	季刊 自治と分権 2021年冬号	1,100		大月書店	2021/1/25
	議会と自治体 5月号	794		日本共産党中央委員会	2020/4/25
	議会と自治体 6月号	794		日本共産党中央委員会	2020/5/25
	議会と自治体 7月号	794		日本共産党中央委員会	2020/6/25
	議会と自治体 8月号	794		日本共産党中央委員会	2020/7/25
	議会と自治体 9月号	794		日本共産党中央委員会	2020/8/25
	議会と自治体 10月号	794		日本共産党中央委員会	2020/9/25

No.	書籍名	金額 (税込み)	著者名	出版社	納品日
	議会と自治体 11月号	794		日本共産党中央委員会	2020/10/25
	議会と自治体 12月号	794		日本共産党中央委員会	2020/11/25
	議会と自治体 1月号	794		日本共産党中央委員会	2020/12/25
	議会と自治体 2月号	794		日本共産党中央委員会	2021/1/25
	議会と自治体 3月増大号	980		日本共産党中央委員会	2021/2/25
	議会と自治体 4月号	794		日本共産党中央委員会	2021/3/25
合 計		¥42,638			

2021年3月25日

日本共産党村山地区委員会 書籍部
山形市小白川町4-13-15 電話 631-7103

政務活動費支出報告書

支出番号NO. 30

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年3月31日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	1	8	5	6	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会								
資料購入費	<input type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										
支出内容											
<p>市議団報告印刷・折り込み・作成料 2021年3月分 55680円の3分の1 資料別添 領収書の原本は今野誠一議員が保管</p>											

領 収 証

日本共産党山形市議団 御中

金額 55,680 円

但し、市議団報告 印刷・折込・作成料として

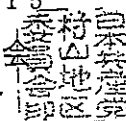
	書籍名	枚数	印刷折込単価	作成料	按分	合計
2021/3/7	市議団報告 3/7日号 片面	1,680	6	3,000		13,080
2021/3/14	市議団報告 3/14日号 両面	1,680	7	3,000		14,760
2021/3/21	市議団報告 3/21日号 両面	1,680	7	3,000		14,760
2021/3/28	市議団報告 3/28日号 片面	1,680	6	3,000		13,080
	合 計					¥55,680

2021年 3月 31日 上記正に領収致しました

山形県山形市小白川町4-13-15

日本共産党村山地区委員会

電話(023)631-7103



政務活動費支出報告書

支出番号NO. 31

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年3月31日							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額				¥	3	7	5	6
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	日本共産党村山地区委員会							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

佐藤あき子活動報告新聞折込料 1670枚 5010円の面積按分4分の3
資料別添(No.21に添付)

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 書 佐藤 亜希子 様

¥ 5, 0 1 0 -

但し、活動報告1670枚 新聞折込料として
2021年3月31日 上記正に領収しました

日本共産党村山地区委員
山形市小白川町4-13-1
電話 023(631)7003



政務活動費支出報告書

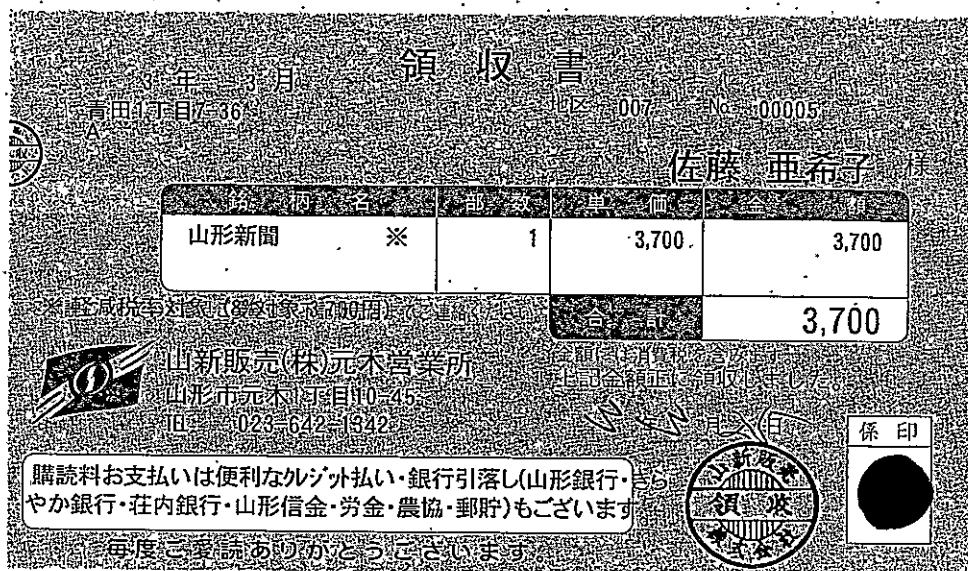
支出番号NO. 32

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年3月25日								
調査旅費	<input type="checkbox"/>										
広報・広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額					¥	3	7	0	0
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>										
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山新販売(株)元木営業所								
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>										
人件費	<input type="checkbox"/>										
事務所費	<input type="checkbox"/>										
通信・交通費	<input type="checkbox"/>										

支出内容

山形新聞購読料 2021年3月分

【領収書貼付】 ○重ならないよう貼付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。



山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

今回の相談会は、
4月10日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

コロナ感染対策 大規模検査の実施を



申し入れ書を高倉副市長に手渡す党市議団

党市議団が市長へ申入れ

3月19日、日本共産党山形市議団は、コロナ感染拡大の対策として、佐藤市長に対し、左記の申し入れを行いました。

コロナ封じ込めのための大規模検査の実施を求める申し入れ

保健所を中心とした、山形市独自のコロナ対策のとりくみに敬意を表しつつ、新たな状況を踏まえ、大規模検査の実施を求めます。

緊急事態宣言の解除が報じられておりますが、隣接する仙台市での感染再拡大は顕著であり、ワクチン接種についても供給量が明らかに不足しております。効果が表れるには一定の緊急事態宣言の解除が報じられておりますが、隣接する仙台市での感染再拡大は顕著であり、ワクチン接種についても供給量が明らかに不足しております。

政府は3月5日、基本的対処方針を変更し、高齢者施設に対する社会的検査を含む「幅広い検査等やデータ分析を実施する」と新たに明記しました。無症状者に焦点をあてたモニタリング検査の実施は、一歩前進ですが、目指す規模は1日1万件と小さく、市独自の取り組みが必要です。

下記の項目について、緊急に検討いただきませう、申し入れます。

一、高齢者施設だけでなく、医療機関や障がい者・児童福祉施設の職員、学校教職員へのPCR検査を定期的に行うとともに、福祉施設については利用者にも広げるよう、市として計画を立て、早期に実施に踏み出すこと。

一、本市が仙台市に隣接し、交流が多いことから、市内医療機関で受けられるPCR検査の対象者を無症状者にも広げ、希望者が無料で検査できるようにすること。

一、感染力が強いとされる変異株の感染事例が各地で報告されています。山形大病院とも連携し、変異株検出の検査割合を市独自に引き上げるようつとめること。

（12日、日本共産党中央委員会は、菅首相あての「緊急要請 コロナ封じ込めのための大規模検査を」を西村経済再生担当相に手渡ししました）

以上

新年度予算

厚生労働会

佐藤あき子市議

医療機関への減収補填を

一般質問への答弁で市長が「国の制度がある」と答えた医療機関への減収補填ですが、コロナ患者受け入れや空床確保した病院のほかに、感染防止設備への補助と慰労金しか支援はなく、病院経営への国の支援はありませぬ。

佐藤あき子市議は「市立病院済生館は空床確保した病院のほかに、感染防止設備への補助と慰労金しか支援はなく、病院経営への国の支援はありませぬ」と答えました。

あき子市議は「医療体制を維持するという観点から、市内の診療所への支援も含め、国に対し補填を求めるべき」と主張しました。

国保税の軽減延長を

自営業や農業、退職者など、他の健康保険に加入していない方が加入するのが国保です。質疑で加入者の約1割が営業所得者という状況を明らかにしたのち、あき子市議は「減収による国保税の軽減の締め切りが年度末となっているが、今後もコロナで営業が大変な状況が続く。軽減を延長すべき」と述べました。

担当課長は「新しい制度となれば、早急に対応する」と述べました。



日本共産党 山形市議団報告

発行
日本共産党山形市議団
山形市小川町4-13-15 田 (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
メール yamagatashigidan@gmail.com
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
次回の相談会は、
4月10日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。



佐藤あき子市議は「一般質問で保育士配置基準の上乗せを求めたが、全く逆行している。市長は『保育士不足だから』『コロナ禍で大変だから』と答弁したが、だからこそ、きちんと配置すべき。資格を持っていても保育士をしていない理由

厚生分科会

3月定例会

新年度予算

保育の専門性を無視する
国の姿勢をただす

佐藤あき子市議

園の『新子育て安心プラン』では、正規保育士1名を短時間保育士2名に置き換えることを認め、保育士資格のない保育補助者を週30時間以上勤務させても補助を出すなどしています。

として、理想の保育ができない環境の問題もある。保育の専門性を無視し、保育士資格を持たない補助者に置き換えることがないようにすべき」と述べました。



続けてあき子市議は、「園が行った3歳以上の保育の無償化は、新年度から市立保育園だけ100%市の負担となっている。これは、お金を使って民営化へ誘導する、自治権を侵害するやり方ではないか。市は計画通りに市立保育園の整備を進めるとともに、園に対し負担割合を戻すよう求めらるべき」と述べました。

また、自民党系会派の議員が一般質問に続き、県が打ち出した0・1・2歳児保育の無償化について「無償化すれば入所希望者が増え、市が50%負担することで今後の拠点整備などの事業に影響が出るのではないか」などの質疑を行いました。

また、自民党系会派の議員が一般質問に続き、県が打ち出した0・1・2歳児保育の無償化について「無償化すれば入所希望者が増え、市が50%負担することで今後の拠点整備などの事業に影響が出るのではないか」などの質疑を行いました。

総務分科会

連携中枢都市構想

構想推進で市政運営に影響は

今野誠一市議

連携中枢都市圏構想推進に要する経費として有識者懇談会（山形市推薦10名と他市町から一人づつの計23名）を年2回程度開くとの説明に対し、今野誠一市議は「人口55万人を超える圏域の構想として県との関係・連携

も考慮しなければならぬのではないかと、中枢市としてけん引役の山形市の役割・負担も大きく、市政運営に支障はないのか」質しました。担当部長からは「観光や有害鳥獣対策などでは村山総合支庁との連携も必要

情報システム構想

市職員の責任重大

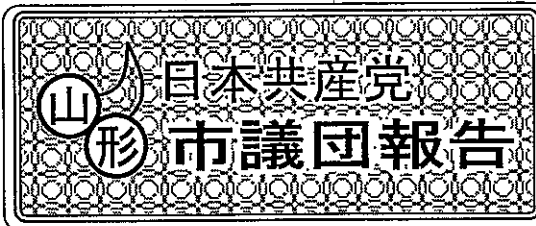
スマートシティ、デジタル化と情報システム運用が格段の進展を迫られる中で、新年度予算でも大きく計上されています。当局からは「あらゆる

分野での整備が新年度緒につく、基幹システムの整備には専門家や民間企業の意見をもとに判断・選定し、運用の委託をしていく」との説明がありました。それに対し今野市議は「民間や専門家の知見は重要だと思いが、拡大する情報の管理は公務としての市職員の姿勢・役割が最も大切ではないか。この分野での職員の研修・育成が重要であり対応しているのか」と質したのに対し、担当部長から「トラブルはヒューマンエラーがほとんどの原因となっていることからしっかりと研修・育成に取り組み、今後専門的な職員の育成に取り組みしていきたい」との答弁がありました。



それに対し今野市議は「民間や専門家の知見は重要だと思いが、拡大する情報の管理は公務としての市職員の姿勢・役割が最も大切ではないか。この分野での職員の研修・育成が重要であり対応しているのか」と質したのに対し、担当部長から「トラブルはヒューマンエラーがほとんどの原因となっていることからしっかりと研修・育成に取り組み、今後専門的な職員の育成に取り組みしていきたい」との答弁がありました。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 4月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

女性の活躍には質の高い保育と介護が必要



3月定例会 佐藤あき子市議が一般質問(その3)

女性差別について

児童生徒の自殺率とともに、女性の自殺率も増加しています。

佐藤あき子市議は「コロナ禍で日本の女性差別の体質があまりだされた」と、女性の非正規雇用の高さ、リモートワークでのストレスが女性に向けられていることなどを挙げ、オリンピックパラリンピック組織委員会での差別発言について、「政治家の差別発言が笑って許される時代は終わった」と述べました。また、安倍政権が掲げた「2020年までに指導的地位の女性の割合30%」が国連の50%達成と比べ、遅れた目標にもかかわらず実現が絶望的であった

など、日本の遅れを指摘しました。ちなみに、山形市は20%を達成し、国内の自治体では「すすんで」います。

さらにあき子市議は、会計年度任用職員は8割が女性で、正規職員は6割が男性であることから、「女性が家事・育児・介護を無償で担っているならば、活躍できないのはあたりまえだ」と主張しました。



社会保障は保険か、権利か

あき子市議は、介護保険以降、障がい者自立支援法、後期高齢者医療制度、子ども子育て支援制度など、保険主義が強化されていると指摘し、「保険主義が強まると、保険料が負担できない低所得者の排除が合理化される。『自助』自己責任が強調されているが、社会保障、福祉を受けるのは市民の権利か否か」と市長の考えを質しました。

社会保障の概念は、1948年の世界人権宣言が「人間の尊厳にふさわしい生活」を権利として定着させて以来、それぞれの国が発達させ獲得してきたものです。日本においては近年、後退し貧しくなっていると感じます。

市長は憲法25条を引

新年度予算

保健師など増員

佐藤あき子市議

厚生分科会

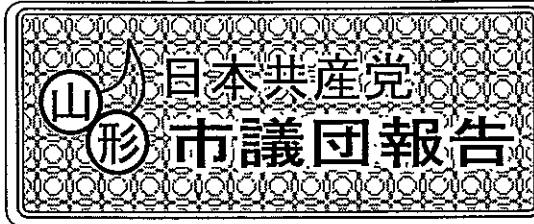
市議団として、保健師の増員をくりかえし求めてきました。新年度予算の中で、保健師は3名の増員となりました。健康医療部全体では、他に獣医師2名、薬剤師1名、農業技師1名が増員となっています。

山形市が中核市として保健所を持ち、独自に感染症対策を行ってきたことや、新年度の増員は評価できるものです。

子どものインフルエンザ おたふくかせの予防接種に助成を求める

あき子市議は「市長は『他の自治体の状況を見て検討する』と答弁してきたが、昨年4月1日段階ですでに、県内22自治体がインフルエンザに助成し、5自治体が検討中となっており、すでに実施している自治体は27自治体が助成している。おたふくかせは13市町が助成している。経済格差が健康格差にならないよう、周辺自治体を実施している助成は実施すべき」と質しました。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 田 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 4月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

3月定例会

**佐藤あき子市議一般質問 その2
 生活困窮への対応を改善せよ**



**相談窓口の
 強化を求める**

現在市社会福祉協
 議会に委託して「福
 祉まるごと相談窓口」
 「生活サポート窓口」
 を設置しています。

佐藤あき子市議は
 「相談は複雑化し増
 加している。増員に
 よる体制強化と、全
 庁が協力する権限の
 強化が必要」と主張
 しました。

**生活保護
 ケースワーカーの
 増員を求める**

山形市は生活保護
 1790世帯に対し、

標準配置数22名のと
 ころ、17名のケース
 ワーカーで対応して
 います。
 あき子市議は「80
 世帯に1人という標
 準配置自体が過酷な
 最低基準だ」と指摘
 し、適正配置を求め
 ました。

市長は「生活支援
 室を設置し、2名の
 増員をはかる」と答
 弁しましたが、それ
 では標準配置に届き
 ません。引き続き増
 員を求めます。

**扶養照会・
 医療扶助の
 改善を求める**

他に生活保護が
 「本当にセーフティ
 ネットとして頼れる
 のか」と菅首相の答
 弁を引用して指摘、
 扶養照会と医療扶助
 の移送費などについ
 て、柔軟に対応する
 よう求めました。

(次号に続きます)

学校給食を置き去りにするな

今野誠一市議は、山
 形広域炊飯施設建設事
 業が、教育委員会、
 学校給食センター
 が事業主体として
 スタートしたのに
 なせ、総務企画費
 として11億円余が
 計上されるのかを
 質しました。



今野誠一市議

企画調整部長から
 「炊飯事業として学校
 給食にだけではなく、
 幅広く公共施設などへ
 も提供できる様に、ま
 た、国からの交付金な
 どを見込むために企画
 費で計上した」との答
 弁がありました。

さらに「この事業は
 学校給食のごはんは異
 物が混入するなど、安
 全・安心が損なわれて
 いたことからスタート
 した。しかし市長の提
 案理由説明にはコメの
 消費拡大・地産地消・
 地場産業の育成などの
 課題解決を図るためと
 して、学校給食での意
 義は無視されている。
 教育委員会の立場とし
 てこの炊飯事業で安全・
 食育等、学校給食の役
 割は保証できると考え
 ているのか。建設後の
 維持管理・運営は直営
 でやることとらえて良い
 か」と質しました。

これに対し教育部長
 は「学校給食として運
 営面での役割を果たし
 ていく。業務は委託す
 ることになると思う」
 と答弁しました。

内陸8市町の学校へ
 米飯を提供するとして
 浮上した広域事業、7
 市7町による「山形連
 携中枢都市圏」の生活
 機能のサービス向上と
 して取り組まれるもの
 だが、それぞれの自治
 体の様々な「思い」が
 反映されるものになる
 か注意深く対応してい
 きたいと思えます。

雪害「手厚い補助を

補正予算

産業文教分科会
 では主に国の補正
 予算関係や事業繰
 り越しにかかわる
 補正を審議し採択
 しました。



阿曾隆市議

主なものは、小中学
 校の感染症対策に必要
 な保健衛生用品の購入
 費や教職員の研修費に
 5760万円。西山形
 小学校校舎改築は前倒
 して5億1400万円。
 観光元氣回復事業の延
 長経費に1200万円。
 公設卸売市場の事業者
 緊急支援に1100万
 円。農業用施設雪害対

策に720万円。蔵王
 温泉の整備事業に70
 0万円です。

また来年度に工事を
 予定する広域炊飯施設
 の債務負担行為で1億
 円を計上しました。

農業用施設の雪害復
 旧補助では、この冬の
 被害としてパイプハウ
 スの倒壊など28件、果
 樹棚一棟への支援策だ
 と報告がありました。

今回、県の補助金につ
 いた形の支援ですが、通

*裏面もあります

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

次回の相談会は、

4月10日(土)です。

事務所までお申し込みください。

・定例日 第2土曜日

緊急の場合はいつでもご連絡ください。

市独自に保育・介護の改善を

介護保険料・利用料軽減、保育士配置基準に上乗せを求める

3月定例会 佐藤あき子市議が一般質問(その2)



**市独自の
処遇改善を**

介護保険の市独自の充実を

佐藤あき子市議は、ヘルパー2級取得者の85%が介護の仕事についていない実態をあげ、「処遇改善なしに人材不足は解決しない。介護報酬は2009年の改定以外、上げられておらず、『介護報酬が上がらなければ処遇改善できない』と言っていたら、いつまでも改善できない。市独自に一般会計から支援すべき」と主張しました。

市長は「市独自の効果的な取り組みを検討する」としつつ、「離職理由では人間関係や事業所の理念が収入に関することを上回って

いる」として、総合的な取り組みをすすめる」と述べました。

保険料・利用料の軽減を求める

2000年の介護保険スタート時、標準月額2616円だった介護保険料は、新年度の改定で5800円に2倍に膨れ上がっています。

あき子市議は、消費税増税時に一般会計からの繰り入れで保険料の軽減をはかったことを指摘し、市独自の軽減を行うよう求めました。市長は「一般会計で保険料の減免を行わないよう国から求められている」としつつ、

「別表」のとおり、日本の配置基準は世界最低基準です。あき子市議は「4歳児30人を保育士1人で安全に散歩させられるのか」と質し、民間保育園が平均で基準の1・8倍を独自に配置していること、さらに11時間の職員配置を」という保育

保育士の配置基準に上乗せを求める

表) 各国の保育職員配置

アメリカ・ニューヨーク州	6週~1歳6か月未満児 4:1	1歳6か月~3歳児未満 5:1	3歳児 7:1	4歳児 8:1	5歳児 9:1
イングランド	2歳未満児 3:1	2歳児 4:1	3歳以上児 13:1		
フランス	歩けない乳幼児 5:1	歩ける乳幼児 8:1	3歳以上児 15:1		
ドイツ・ザクセン州	3歳未満児 6:1		3歳以上児 13:1		
スウェーデン	1~3歳児 1クラス上限14人に職員3人		4~5歳児 上限18人に3人		
ニュージーランド	2歳未満児 5:1	2歳以上児 1~6人:1, 7~20人:2, 21~30人:3, 31~40人:4			
日本	0歳児 3:1	1~2歳児 6:1	3歳児 20:1	4歳児以上 30:1	
京都市	0歳児 3:1	1歳7か月未満 4:1	1歳7か月以上 5:1	2歳児 6:1	3歳児 15:1
				4歳児 20:1	5歳児 25:1

「子どもたちの声を聞ける環境で働きたい」「子どもの密を仕方ないと云わず、対応できる職員配置を」という保育

士（別表）のとおり、日本の配置基準は世界最低基準です。あき子市議は「4歳児30人を保育士1人で安全に散歩させられるのか」と質し、民間保育園が平均で基準の1・8倍を独自に配置していること、さらに11時間の職員配置を」という保育

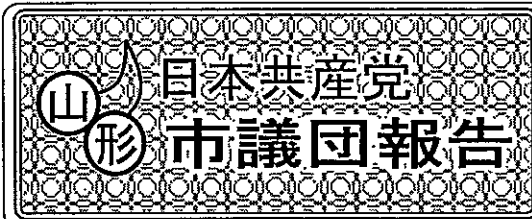
士（別表）のとおり、日本の配置基準は世界最低基準です。あき子市議は「4歳児30人を保育士1人で安全に散歩させられるのか」と質し、民間保育園が平均で基準の1・8倍を独自に配置していること、さらに11時間の職員配置を」という保育

**国保税
インフルエンザ
給食費の助成など**

他にも子どもたちの施策として、①国保税の子どもの均等割りを免除することについて、②インフルエンザの予防接種に助成することについて、③県内26市町が実施している給食費への助成について、④就学援助の改善について、⑤少人数学級について、⑥不登校への対応について、それぞれ質問しましたが、前進はありませんでした。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 租 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 3月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

社会保障を受けることは市民の権利

3月定例会 佐藤あき子市議が一般質問 (その1)



以上のように、福祉全般の充実に
 実について質問しました。
 「社会保障を受けることは市民の権利かどうか」と市長の姿勢を質し、市長が「憲法25条で保障されている」とこたえる場面もありました。
 詳細は次号に掲載します。

- 2日、佐藤あき子市議が、日本共産党山形市議団を代表して一般質問を行いました。
- 質問項目
- 1) 「住民の福祉を増進する」体制の強化について
 - A 生活福祉の体制強化を求める
 - B 福祉に関する窓口の強化について
 - C 生活保護ケースワーカーの適切な配置について
 - D 生活保護の運用について柔軟な対応を求める
 - E 扶養照会について
 - F 医療補助について
 - G 市民の利益を守る対応を
 - 2) 介護保険制度について
 - A 介護職員の独自の処遇改善を求める
 - B 保険料・利用料の軽減を求める
 - 3) 民間医療機関の減収補填について
 - A 子どもたちの環境整備について
 - 4) 保育士配置基準の市独自の乗せを求める
 - 5) 国保子ども均等割の全額免除について
 - 6) 子どものインフルエンザ予防接種への助成について
 - 7) 給食費の軽減および就学援助の拡充について
 - A 給食費の軽減および給食時間の確保について
 - B 就学援助の拡充について
 - 8) 少人数学級について
 - 9) 専門家と連携した不登校対応を
 - 10) 女性差別の解消をめざして

2日、佐藤あき子市議が、日本共産党山形市議団を代表して一般質問を行いました。



国民健康保険について審議する
 国保運営協議会が2月25日開かれ、
 来年度の事業計画案や予算案につ
 いて協議、委員に選出されている
 阿曾隆市議が出席しました。
 来年度の国保は、加入者の減少
 や新型コロナウイルスの影響により税収は
 約2億1000万円の減収が見込

市国保運営協議会

阿曾隆市議

来年度国保は税率維持
 コロナ禍のもと
 税滞納者への懲罰はやめよ

まれるものの、基金を取り崩すな
 どして現行の保険税率を維持しま
 す。基金残高は5億7300万円
 余りになる見込みです。阿曾市
 議は国保加入市民の新型コロナウイルスの
 影響について質問や意見を述べま
 した。

阿曾市議 「コロナ禍
 のもと2億1000
 万円の減収見込みだ
 が、算定の根拠は？
 また税の減免状況は
 どうか」
 国保課長 「目営業者
 で20%、農業者5・
 2%の所得減を想定
 した。税の減免は1
 月31日現在で申請が

山形市の短期保険証
 は前年度の税を2分の
 1滞納した場合、有効
 期限を6ヶ月に限定す
 るもの、資格証明書は
 保険が使えず医療窓口
 で全額自己負担になり
 ます。
 答弁では8月1日現
 在で短期保険証発行が
 1028世帯の206
 4人、資格証明書が51
 世帯の95人に発行され
 ているとしました。
 阿曾市議は「滞納世
 帯は払いたくとも払え
 ない困窮した市民とみ
 るべき。コロナ禍の元
 で懲罰的な取扱はおか
 しいし、社会保障の原
 則に反する」として重
 ねて要望しました。

山形市議団報告

日本共産党

発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
メール yamagatashigidan@gmail.com
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
今回の相談会は、
3月13日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。



7月豪雨の七ツ松の崩落現場に
阿曾隆市議が高橋ちづ子衆院議員と視察

昨年西
部地区は
7月28日
の大雨で、
道路、河
川、農地
などに大
きな被害
がでまし
たが、復
旧事業が
終わって
いないと
ころもた

また今年度市に行っ
た要望に対する回答に
ついて検討し、来年度
の課題について話し合
いました。

また今年度市に行っ
た要望に対する回答に
ついて検討し、来年度
の課題について話し合
いました。

また今年度市に行っ
た要望に対する回答に
ついて検討し、来年度
の課題について話し合
いました。

大曾根・村木沢・西
山形・本沢の4地区振
興会をつくる協議会が
15日開かれ、地域の課
題や来年度の運動にむ
けて協議しました。地
区の議員として阿曾隆
市議、立憲民主党の石
沢秀夫市議が参加し意
見交換しました。

また今年度市に行っ
た要望に対する回答に
ついて検討し、来年度
の課題について話し合
いました。



くさんあります。
とくに被害をくり返
す本沢川や西山形の富
神川の復旧は急がれま
す。管理責任者の県に
たいしても対応を求め
ていくと話し合いまし
た。

須川西部4地区振興会協議会

災害復旧・防災、少子化問題など 地域課題を協議



憲法改悪反対山形平
和集会が11日開かれま
した。主催は実行委員
会。

コロナ禍の元で初の
リモート参加による集
会となり、京都大学の
芦名定道氏が、学術会
議任命拒否問題で講演
しました。会場には約
100人が集まったほ
か、リモート配信を受
けて参加した人も約30
人ありました。

芦名氏は管内閣によっ
て拒否された6人の1
人。当事者の立場で任
命拒否問題をどうみる

集会は「民主主義・
立憲主義・平和主義を
とりもつて、11アピ
ル」を採択。阿曾隆市
議が閉会あいさつし、
「安保法、共謀罪、秘
密保護法など憲法違反
の現状をこのままにし
てはおけない。総選挙
で憲法を守り発展させ
る勢力が多数になるよ

2・11憲法改悪反対山形平和集会

日本学術会議の任命拒否問題 当事者の立場で

う力をあわせましょつ
とよびかけました。

か、「日本学術会議問
題から日本をみるー平
和・憲法・市民運動」
と題して講演しました。

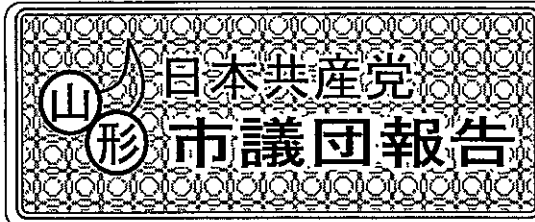
講師プロフィール

芦名 定道
京都大学大学院
文学研究科教授
(キリスト教)

芦名氏は学術会議問
題の本質は、6人に対
する攻撃ではなく、軍
事目的の科学研究を否
定する学術会議そのも
のが標的だと指摘しま
した。さらに戦争する
国をめざす日本の流れ
を歴史的に俯瞰しなが
ら、平和運動や市民運
動を草の根で再構築し
ていくことの重要性を
訴えました。

山形県新庄市出身。
著書に、「現代神学
の冒険：新しい海図
を求めて」（新教出
版社）など
2020年10月、日
本学術会議が新会員
として推薦した10
5人のうち菅良英首
相が正当な理由なき
拒否により任命しな
かった6人のおひと
り。この任命拒否問
題は、国内のみなら
ず海外の研究者や学
界からも批判が続い
ている。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 3月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

新年度予算内示会

福祉の充実をさらに

12日、新年度予算の内示会が行われました。25日に開会予定の3月定例会で審議が行われます。

一般会計の予算規模は966億4200万円、前年度比1.4%増です。

歳入では、コロナの影響で市税5.5%減を見込み、中でも法人市民税は31.9%減とされています。市債(特に臨時財政対策債)や地方消費税交付金などの増で対応しています。

歳出では、374億6533万円の民生費が最大ですが、南部遊戯施設も含まれる中、増加は0.5%に抑えられています。土木費109億5657万円は、事業の前倒しなどで7.1%減となっています。

感染症対策と経済対策が次々に打ち出されてきましたが、くらしを支える福祉の役割も大きくなっています。小中学校のタブレット導入をはじめとしてAIやロボットの活用などICTの活用がすすめられようとしています。現場が求めている施策なのかどうか、疑問です。

子ども家庭総合支援拠点の設置や子どもの居場所づくり支援センターの開設など、相談体制の強化、免許証返納者へのタクシー券の増額など、とりあげてきた課題の予算も見受けられます。

党市議団はくらし・福祉を守る立場で予算審議に臨みます。ぜひみなさんのご意見をお寄せください。

3月定例会日程

- 2月25日(木) 本会議・開会☆
- 3月 2日(火) 本会議・一般質問☆
- 4日(木) 本会議・一般質問☆
- 5日(金) 予算委員会☆
- 8日(月) 予算分科会
- 10日(水) 予算委員会☆
- 本会議☆
- 11日(木) 予算分科会
- 12日(金) 予算分科会
- 17日(水) 常任委員会
- 19日(金) 予算委員会☆
- 全員協議会☆
- 23日(火) 本会議☆

※☆印はインターネット中継あり

建設事業から住民の生活保全の向上へ

山形広域環境事務組合2月定例会が開かれ、令和3年度の予算が提案され、全議案が可決されました。

立谷川・川口エネルギー回収施設が新設され、順調な稼働が続けられ、大事業の最終段階として半郷清掃工場の解体撤去工事も約一年後に完了する予定になっています。



半郷清掃工場

こうした状況の中で建設費が大幅に減額となる一方、事業での地方債の返還が据え置き期間を経て、元金償還となる公債費が大きく計上されました。

「令和5年から13年にかけて最大年間12億になるとみており、負担金が増える」との答弁がありました。

半郷の旧工場解体・撤去については、昨年秋より有害物質(内部のダイオキシン類、外壁材のアスベスト)除去工事が進められており、その後焼却炉等の



今野誠一市議

今野誠一市議が「予算総額の約4分の1となる公債費(約9億円)のピークはいつ、どの位となる見通しなのか、それは二市二町の負担金に関わってくるのか」と質したのに対し、

また、13日の地震については、震度5〜6での自動運転停止事態には至らなかったものの、クレーン位置のずれや、自家発電装置の稼働などの発生があったこと、さらに避難所機能が設定されているものの、避難者はいなかった事なども報告されました。

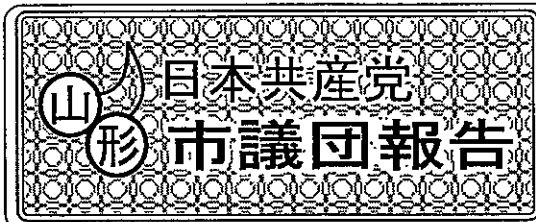
*裏面もあります



佐藤あき子市議
 が一般質問
 3月2日(火)
 または 4日(木)

詳しい日程は、後日決まります。お問い合わせください。

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お気軽にお寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 3月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

新型コロナワクチン接種 場所や方法は？

厚生委員会勉強会と臨時議会 佐藤あき子市議

2月
臨時議会



佐藤あき子市議は、勉強会と臨時議会の中で①医療機関の負担について、②予約がとれない事態が起きないか、③1人暮らしの高齢者を視野に入れた計画に

山形市では、病院やかかりつけ医を中心に接種を行い、保健所など4か所の集団接種も併用してすすめる計画です。

個人別に接種券が届きます。およそ6月までに医療従事者、65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方、9月までに他の方の接種完了をめざします。(別表)

新型コロナワクチンは、接種費用は国が負担し、1人2回接種となります。

2月5日、新型コロナワクチンについて厚生委員会で勉強会が行われ、8日の臨時議会で補正予算が可決されました。

表) 接種の対象者と接種を受けられる時期 (想定人数は、令和3年1月1日の住基人口より算出)

優先順位	対象者	想定人数	接種券発送の見込	接種開始の見込
1	医療従事者 (山形県が調整)	7,311人		3月
2	高齢者(65歳以上)※	72,353人	3月中旬	4月
3	基礎疾患を有する方(高齢者以外)や高齢者施設等の従事者	15,353人	4月以降	未定
		3,656人		
4	1から3以外の方	145,011人		

※令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方

することなどについて質問しました。他の委員からも、対策の体制についてや、ワクチンの輸送についてなど多くの質問があり、20回線のコールセンターを設けること、予約はかかりつけ医と予約システムを併用するなどの回答がありました。



今野誠一市議

予算委員会
 地までの農道の積雪が多く、被害の確認すら出来ない状況がある。農

早急に農道除排雪を―被害把握を急げ

不足が見込まれる道路の除排雪経費の増額について今野市議は「大雪による農業関係の被害も大きい。特に果樹の樹木の枝折れなどは、園地までの農道の積雪が多く、被害の確認すら出来ない状況がある。農道除排雪の進行も支障すべきではないか」と質しました。

農林部長からは「豪雪対策本部が設置された(12月20日)ことにより、幹線農道などへの助成が拡充された。申込状況については集計中」との答弁がありました。現場では年数の経過した成木の桃、ラ・フランス、サクランボなど被害が大きいとされていますが、調査に入れない園地もあり、早期に農道を除排雪し、

通行可能にする必要があります。県では被害対策で施設・苗木・融雪剤の復旧・購入への支援を決めており、市も3月議会での予算化を決めています。また、事前着工も可能であるとされており、農協など実施主体への周知も重要かと思われ、さらに多面的機能・中山間地域等支払い交付金での共同活動での活用も可能とされています。

住民の安心・安全確保への提言

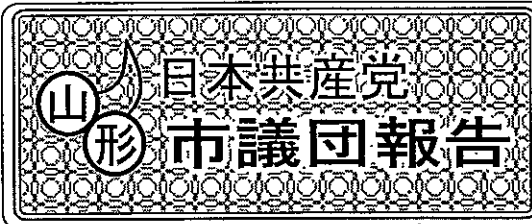
第42回 山形県消防職員意見発表会開催

山形市東部公民館で「第42回山形県消防職員意見発表会」が開かれ、今野誠一市議も参観しました。

県内各地の消防本部でおこなわれた予選から選ばれる代表により毎年開催されるもので、12名の若い消防職員が職務を通して得た技術・知見などから、さらなる向上を目指し、救援・救命など住民の安心・安全確保への提言を発表するものです。

それぞれ、熱中症・山岳遭難・水害・火災などへの現場出勤、観光者・ハンディキャップのある方など、見逃されやすい分野での対応など、幅広い深みのある発表内容で、防災・予防を考える上で大変参考になりました。インバウンド、観光振興の中で、国外・県外の来訪者が不測の事態になった時、防災訓練などで今後何が求められているのか、重要な視点の内容は注目すべきものでした。そして発表のいずれもが、被災者の立場からの目線であったことが伝わり、住民の期待に応えられる活動へ発展するものと確信しました。

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お気軽にお寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 2月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

**産業文教
委員**

**新校舎建設進む山商
新学科に改訂 単位制も**

山形市立商業高校は、令和4年4月の新校舎供用開始にむけ建設工事がすすんでいます。1日に開かれた産業文教委員の勉強会で、新校舎供用にあわせて、学科の変更や単位制の導入などの教育課程の改訂を行う方向であることがわかりました。

現在の「総合ビジネス科」「国際コミュニケーション科」「経済科」のうち、国際コミュニケーション科がなくなり、新たに「情報科」を創設する案が示されました。

情報科ではこれまでの簿記、会計学習に加えプログラミングの活用など

現在の「総合ビジネス科」「国際コミュニケーション科」「経済科」の場合に教職員の増員が必要となります。法律上最大18人増まで可能ですが、県と市で教諭・講師あわせて9人を増やす見込みであると報告がありました。

ICT教育 研修・活用はじまる

国の「GIGAスクール構想」にのっとり、山形市ではタブレットを使うICT教育を導入するため、今年度中の1人1台タブレット配備をすすめており、教員への研修や各学校で活用が始まっています。

1月27日、産業文教委員が大曾根小学校を視察し、阿曾隆市議が6年生の授業を参観しました。授業は理科で、電気の

働きについて、タブレット端末やアプリ、基板のキットなどを使って学ぶ内容でした。

電気を効率よく使用するために、センサーをつかった簡単な回路を、プログラミングアプリをつかって考え、実際に基板上で動かしてみます。児童がつまづいた時には、教諭とともにICT支援員が手助けしています。

子どもたちが手際よくタブレット端末を操作していることに軽い驚きを感じるとともに、主体的に学ぼうとする姿に感心しました。

同時に大曾根小6年生

は現在4人のクラス。教諭のきめ細やかな指導と援助は少人数だからこそ可能であり、大人数クラスでは逆に画一的な授業のツールとなってしまうのか懸念を感じました。

ICT教育の良い部分を全ての子どもが享受できるようにするには、教員増と少人数学級の実現が求められます。

タブレット端末は、検査ツールとして、動画や写真の撮影、文書作成やプレゼンソフトの活用、ドリルソフトなど他の教科でも活用が始まっています。



阿曾隆市議

1月22日 核兵器禁止条約が発効

知事選が大詰めを迎えていた1月22日、世界中が注目する中で核兵器禁止条約が発効しました。コロナ対策で右往左往している国政の騒然とした中で見逃された感もありましたが、明るいニュースが心を癒してくれました。

核兵器が違法であることが国際的に認められたことになり、地球上、唯一原爆が投下された広島・長崎の被爆関係者はじめ、核廃絶に取り組んできた多くの地球上の人々の胸中は感慨深いものがあると思われまふ。グテレス国連事務総長が「核兵器のない世界にむけた重要な一歩だ。市民社会が有益な役割を果たした」と歓迎のメッセージを発表したと報じられました。

超えようとする批准国により、締約国会議が開かれ、核兵器廃絶に向けた具体的な議論が始まるが、条約の署名も批准にもかたくなに目を背け続ける日本政府の姿勢・理由はどうあれ、国民の7割が参加を求める世論を形成しています。国民・現場感覚欠如政府の象徴でもあります。

山形市議会でも2018年6月議会に提出された「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の提出に関することについて」の請願が採択されました。残念ながら

全会一致とはなりませんでした。半数近くの反対があり、困惑した記憶があります。

市議会では、1984年(昭和59年)県内初の「平和都市宣言」が議決され、翌年から平和都市宣言事業が予算化され、現在も「平和劇場」「平和コンサート」「原爆資料展」などが継続されています。

平和都市宣言は、37年後の今にまさしく心ざわしい先見性と格調の高さを誇る宣言文です。改めて全文を掲載します。

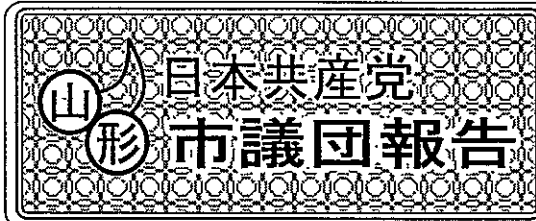
今野 誠一

山形市平和都市宣言



世界の恒久平和は、人類共通の念願である。しかるに、核兵器拡大競争は依然として行われており、人類の生存に深刻な脅威を与えている。我が国は、唯一の被爆国として、率先してあらゆる機会を通じて、核兵器廃絶を訴えなければならぬ。

ここに、山形市は、非核三原則の堅持とすべての国の核兵器廃絶を求め、人類の恒久平和を希求し平和都市の宣言をする。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 2月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

1月臨時議会

感染拡大による影響に対応

1月市議会臨時議会が6日開かれ、一般会計補正予算が上程され、総額4億1260万円余の新型「コロナ」感染予防・経済活動両立支援(第6弾)として実施される市独自支援をおこなうものです。

自対策が全会一致で承認されました。全国的な感染拡大による自粛などで、年末年始において打撃を受けている業界等に対して早急な支援をおこなうものです。

産業文教委員会

飲食・観光に追加補正

産業文教委員会では、飲食や観光に関連する補正予算が追加されました。

かき入れ時の年末年始に外食の自粛ムードが広がったなどで、飲食店に大きな影響を与えています。

当局から、市内のある商店会で加盟200店のうち、昨年春以降に1割に当たる20店舗が倒産・廃業し今後増える見込みであると報告がありました。



1月追加補正の主なものは次の通りです。

◇ 感染予防・経済活動両立支援 第6弾

▽雇用調整助成金申請支援補助金
 国の雇用調整助成金の申請に係る社会保険労務士費用などを1社あたり40万円まで補助。申請数が12月31日までに511事業者となり、前回補正予算の見込みを大幅に上回っているため。

▽昨年10・12月の月売り上げが前年同月比で20%以上減少している飲食業1451者を想定し、一事業者あたり20万円を支給(県も30%以上の酒類提供の飲食業・運転代行業への給付金を受付中)

▽同様の条件で130の宿泊業者を想定し20~40万円を支給

▽蔵王ロープウェイなど索道事業者に40万円(上限)

▽旅行代理店支援に一律40万円(対象18者)



今野誠一市議

総務分科会

路線バスの赤字補填を

提案されている「新型コロナウイルス感染予防・経済活動両立支援(第6弾)」で、今野誠一市議が「市独自の対策で財源となる国の地方創生臨時交付金ほどの位活用されたのか」と質したのに対し、財政課長は「国の一次・二次で活用可能な26億8700万円は今回の4億1千万円でほぼ一杯となる。これからはこれまでの実績を集計し、不用額(残金)を活用し、使い切る考えである」と答弁しました。

また今回の対策であるタクシーと運転代行業者への支援給付金に関して今野市議が「自粛によって公共路線バスの赤字補填額も大きくなるのでは」と質したのに対して、企画調整課長は「バス会社へは前年の実績をもとにすでに前払いを実施させてもらっているが、さらに今年度の状況が厳しいと予想されており、今後補正予算で対

「第3波の感染拡大が大きく広がってからも『広報やまがた』での『コロナ感染予防など市民に協力や情報を発信する扱いが小さいのではないかと。行政からのメッセージがもっと強く伝わるようにすべきだ。県民のあゆみ(県の広報紙)は最初の記事として扱っているし、編集のタイミングが間に合わない場合は折込の方法もあるのでは」と市の考え方を質しました。

総務委員会

広報紙の活用を

これに対し総務部長は「一般新聞への折込や、広報紙以外での情報発信もっており、特にこだわって避けている訳ではない」と市の考え方を述べました。

市内全家庭に配布される広報紙の活用をもっと考えるべき、と思っ

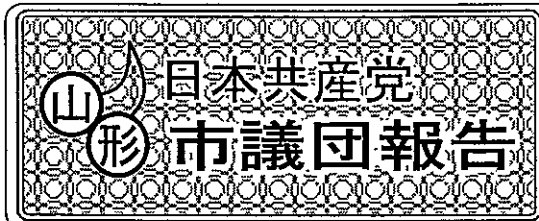
問合せ先：山形市役所
 電話：641-1212

飲食業への支援
 山形ブランド推進課：
 内線409

観光業への支援
 観光戦略課：内線423

交通事業への支援
 企画調整課：内線223

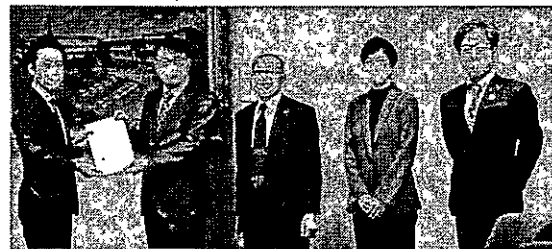
*詳しくは、山形市ホームページを閲覧、または市役所へお問い合わせください。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 1月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

今年もがんばります



来年度から保健師を増員 一市長回答 子どもインフルワクチンへの助成を 党市議団が市長へ70項目の予算要望

12月18日、党市議団と党村山地区委員会は市長に、70項目の予算要望を行いました。

稲毛地区委員長が、「昨年の予算要望の際には、消費税10%の引き上げを機に営業と暮らしに深刻な影響が出たと申し上げた。今年も、新型コロナウイルスの影響が計り知れない。市でも、大規模なPCR検査やさらなる独自の事業者支援の検討を」と求めました。

要望項目の「保健師の増員」について市長は、「来年度増員する計画」と回答しました。主な要望項目は以下の通りです。

- 重点要望**
- ▽保健師の増員。
 - ▽医療・介護・障がい・保育・学校などエッセンシャルワーカーへの支援の継続。少人数学級や保育士の配置見直しを国に求めること。

▽現場の声を重視した市独自対策の充実。

財源を国に求めること。

医療・福祉

▽子どものインフルエENZAワクチン接種への助成。

組織改正と人員確保

▽コロナ禍でも、余裕をもった調査・起案・実施ができるような職員の配置・養成・確保。

分野別

一、医療、福祉
 △国民健康保険税
 子どもの均等割りの減額。増税をおこなわない。

▽介護保険について
 ・保険料のこれ以上の負担増にしない。
 ・介護事業所支援と職員処遇改善。

・特養夜勤手当増額への助成、住宅手当への補助、研修費用の市独自の助成。
 △保育士の処遇改善。
 二、農業

▽農地の利用・集積、耕作放棄地の解消について話し合いのた

市民会館建て替え

多くの市民の声を取り入れて

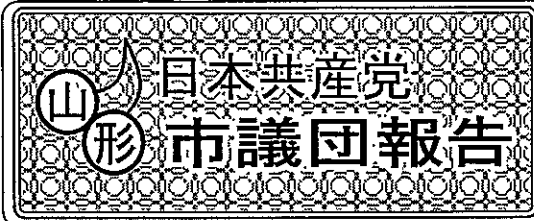
旧山形県市民会館跡地をめぐっては、山形市が市民会館を整備する方針(2月発表)で協議が進められてきました。その基本構想についての報告がありまして、まず、県より譲渡を受ける跡地については、県で建物を解体し、更地にした上で市に引き渡すとの共通認識で、契約内容・時期についてはさらに協議が必要としています。整備の基本構想については、策定に向け、利用者、地元町内会・商店街等へのアンケートの予算措置を。青年農業者の掘り出し、研修・教育の制度確立。三、くらし、環境
 △市営住宅の風呂釜の改修を15年を目途にすすめる。
 四、教育
 △学校給食の無料化。
 △スクールカウンセラー、

ト調査や、市民会館の指定管理者へのヒアリングをおこない、課題を整理し、さらに調査・分析し「山形市民会館整備検討懇話会」を設置し、検討・策定をすすめています。
 今年度中に懇話会(第4回)の最終報告で基本構想が正式にスタートすることになり、整備手法(PFI導入可能性調査)の検討に入り、令和10年(2028年)度開館を目指します。
 市民会館は昭和48年(1973年)竣工の47年経過の中で、施設・スクールソーシャルワーカーなどの増員。▽過労死ラインを越えて働く教員の解消に向けて、計画の策定。

設備の老朽化や、新機能の設備がないため、市民・文化団体より、建て替えの要望もあり、「山形市発展計画2025」にも主要事業として位置づけられました。
 新市民会館の整備については、旧市民会館の跡地利用が大きな引き金になったことは否めないものがあり、北側県道の整備計画による敷地面積の減少、交通事情や周辺施設の動向など街づくりとの調和も求められ、「どのような市民会館にするか」は多くの課題があります。市民の多様な意見・要望が反映されるようパブリックコメントの活用も必要かと考えます。

*分野別要望については、後日文書で回答をもらうことになっていきます。

山形市の木 ナナカマド
 花ごとは、慎重・怠りのない心 賢明・用心



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 1月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

**12月定例会
閉会**

**教員の変形労働時間制に反対する請願
電子投票で可否同数 議長が否決**

また、「誹謗中傷等をなくし共に支えあうことにより新型コロナウイルス又感染症の克服を目指す決議」が議会運営委員会として提出され、可決されました。

11日、12月定例市議会が閉会しました。
 27件の議案が可決され、3件の請願のうち、「消費税5%以下への引き下げを求める意見書の提出を求めることについて」(山形民主商工会)と「再審法の改正を求める意見書の提出を求めることについて」(国民救援会山形県本部)は継続審査となりました。「公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対することについて」(県教組山形地区支部)は電子投票で採決が行われ、16対16の同数となりましたが、議長採決により否決とされました。



阿曾隆市議

日本共産党市議団は、連携中枢都市圏にかかわる条例に反対しましたが、賛成多数で可決されています。

再審法・請願
 継続中の請願「再審法の改正」は先日
 の勉強会で紹介議員
 の阿曾市議が説明。
 なお研究が必要とする委員が多く継続となりました。今野市議は「戦後、法の整備が進まぬ中、人権を無視した捜査での判決は人道上問題。法改正すべき」と妥当を主張しました。
 「消費税5%以下への引き下げ」では、

山形市の国民健康保険について審議する国民健康保険協議会が10日開かれ、委員の阿曾隆市議が出席、意見を述べました。国保協議会は市の国保運営に対し、住民団体の代表や医師会代表などが

山形民商佐藤弘会長が陳述。今野市議は「コロナ禍の影響がいつまで続くか不明な中、GOTOなど消費喚起に税金を使うより、個人・家計消費に対する減税が経済回復に役に立つ。生活不安にも対処できる」と採択を主張しました。他にも妥当とする意見と「軽減税率」「社会保障の財源」の現状を訴え、不採択を主張する委員、「減税の期限があるのか」と問う委員もあり、委員長が「陳述者に質す必要があった。」

山形民商佐藤弘会長が陳述。今野市議は「コロナ禍の影響がいつまで続くか不明な中、GOTOなど消費喚起に税金を使うより、個人・家計消費に対する減税が経済回復に役に立つ。生活不安にも対処できる」と採択を主張しました。他にも妥当とする意見と「軽減税率」「社会保障の財源」の現状を訴え、不採択を主張する委員、「減税の期限があるのか」と問う委員もあり、委員長が「陳述者に質す必要があった。」

主たる生計維持者の収入減少による国保税の減免状況は、11月末の令和2年度分で申請が3,077件、減免決定が2,455件、審査中が24件で減免決定額は約4,980万円です。

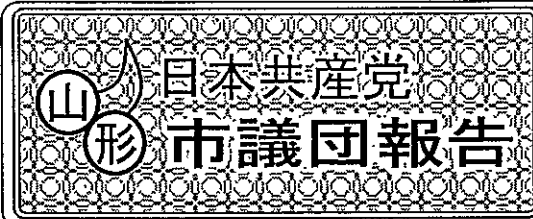
山形市独自の対象に認められるよう要望、「フリーランスには有給休暇がなく労務につけないなど」は申請件数、支給件数とも1件で、支給額は5万4,616円でした。特例は来年3月末まで延長されています。

連携中枢都市構想
 これまで六市六町による連携中枢都市圏の連携協定に新たに尾花沢市と大石田町が加わり、協定の締結についての条例が提出されました。今野市議は「道州制に向けた自治体の広域化・IT化につながるもの。コロナ対策では、各自自治体がそれぞれの特性・現場に合わせたきめ細かな対策で対

阿曾市議は前回の協議会に引き続き、国が傷病手当金の対象者に個人事業主やフリーランスを含めていないことを批判し、

山形市独自に対象に認めるよう要望、「フリーランスには有給休暇がなく労務につけないなど」は申請件数、支給件数とも1件で、支給額は5万4,616円でした。特例は来年3月末まで延長されています。

山形市の木 ナナカマド
 花ことは 慎重・怠りのない心 賢明・用心
 応じている。広域連携は一部事務組合などで成果をあげており、山形市が中枢都市としてこれ以上負担を抱えこむのは問題だ」として反対しました。七市七町の人口は52万人で、山形県の約半分。協定のビジョンには新たに仮称・広域炊飯施設建設(学校給食向け)等も入り、33項目が取り組まれています。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 1月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

12月定例会

**コロナ禍のもと
 学校の人的充実に予算増を**

産業文教委員会

阿曾隆 市議

産業文教委員会で、教育関係の補正予算では、1中、8中など4校のトイレ改修の前倒し整備費、コロナ対策で小中学校トイレの手洗い蛇口を回転式からレバー式に変更する工事費などが計上されました。

阿曾市議 「授業の遅れについてはどういう考えで対応しているのか」

学校教育課長 「年間授業数の1割程度は削減はやむを得ず、教科によって重点の軽重を認めていく。各種大会の中止などの時間を授業に振り替えるなどにより、12月は通常のペースに戻りつつある」

阿曾市議 「全国的にコロナのもとで不登校数が増え、子どもの自殺は昨年の2倍に増えている。授業の遅れから詰め込み教育になったり、命を大切に教育・教材が削減されてないか心配だ」

学校教育課長 「不登校は昨年比で小中学校で10人増、中学校は30人減である。コロナ禍のもとでドリルなどよりも学校だからこそできることに力を置き、全校で運動会も実施した」

阿曾市議 「コロナ禍のもとでこそ教員の負担軽減やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの増員配置など人的充実のために予算を考えてほしい」

阿曾市議 「全国的にコロナのもとで不登校数が増え、子どもの自殺は昨年の2倍に増えている。授業の遅れから詰め込み教育になったり、命を大切に教育・教材が削減されてないか心配だ」

学校教育課長 「不登校は昨年比で小中学校で10人増、中学校は30人減である。コロナ禍のもとでドリルなどよりも学校だからこそできることに力を置き、全校で運動会も実施した」

阿曾市議 「コロナ禍のもとでこそ教員の負担軽減やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの増員配置など人的充実のために予算を考えてほしい」

阿曾市議 「全国的にコロナのもとで不登校数が増え、子どもの自殺は昨年の2倍に増えている。授業の遅れから詰め込み教育になったり、命を大切に教育・教材が削減されてないか心配だ」

阿曾市議 「全国的にコロナのもとで不登校数が増え、子どもの自殺は昨年の2倍に増えている。授業の遅れから詰め込み教育になったり、命を大切に教育・教材が削減されてないか心配だ」



阿曾市議 「全国的にコロナのもとで不登校数が増え、子どもの自殺は昨年の2倍に増えている。授業の遅れから詰め込み教育になったり、命を大切に教育・教材が削減されてないか心配だ」

**インフルエンザ予防接種助成
 子どもにも広げて**

子どもにも広げて

高年齢者と妊婦のインフルエンザ予防接種の助成について厚生分科会で審議され、佐藤あき子市議は「予防という点では、種にも助成すべきではないか」と質問。担当課長は、「ワクチンの確保など課題があることから、今年が高年齢者と妊婦としたと答えました。」

高年齢者と妊婦のインフルエンザ予防接種の助成について厚生分科会で審議され、佐藤あき子市議は「予防という点では、種にも助成すべきではないか」と質問。担当課長は、「ワクチンの確保など課題があることから、今年が高年齢者と妊婦としたと答えました。」

高年齢者と妊婦のインフルエンザ予防接種の助成について厚生分科会で審議され、佐藤あき子市議は「予防という点では、種にも助成すべきではないか」と質問。担当課長は、「ワクチンの確保など課題があることから、今年が高年齢者と妊婦としたと答えました。」

**休日夜間診療所
 安心して行けるよう感染対策を**

安心して行けるよう感染対策を

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思



休日夜間診療所の受診者数が3・4月は平年の2割、現在は4割程度となっており、感染対策をしっかりと行っていること、補正予算が計上されていること、あき子市議は「感染をおそれて受診を控えていると思

厚生委員会

佐藤あき子 市議

包括支援センターの充実に

厚生委員会に中間報告された高齢者保健福祉計画について、あき子市議は「包括支援センターを分割する基準は圏域の高齢者が8000人となっており、次期計画の推計では分割に該当するところがな

厚生委員会に中間報告された高齢者保健福祉計画について、あき子市議は「包括支援センターを分割する基準は圏域の高齢者が8000人となっており、次期計画の推計では分割に

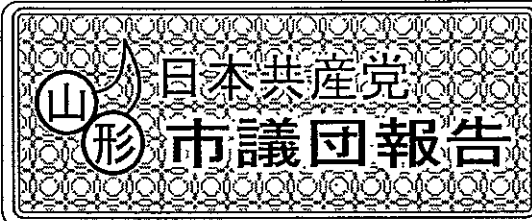
厚生委員会に中間報告された高齢者保健福祉計画について、あき子市議は「包括支援センターを分割する基準は圏域の高齢者が8000人となっており、次期計画の推計では分割に

厚生委員会に中間報告された高齢者保健福祉計画について、あき子市議は「包括支援センターを分割する基準は圏域の高齢者が8000人となっており、次期計画の推計では分割に

厚生委員会に中間報告された高齢者保健福祉計画について、あき子市議は「包括支援センターを分割する基準は圏域の高齢者が8000人となっており、次期計画の推計では分割に

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 田 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 1月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

農地の集積 有害鳥獣・災害の要因となる 耕作放棄地を放置するな

災害復旧の農家負担へ支援を 生活保護ケースワーカーの増員・配置基準数確保を

12月定例会 今野誠一市議が一般質問 (その2)



今野誠一市議

農地の集積と耕作放棄地

今野市議 「農業従事者の減少で、経営農地面積が減少している。農地の集積の一方で、条件不利地は耕作放棄地となり、荒廃地になっているのではないか。山形市の進捗状況と耕作放棄地の現状は。耕作放棄地は、病害虫の発生、有害鳥獣や土砂流出・土砂災害の原因になる。放置しておけない。対策はどうなっているか」

市長 「農業委員会の調査で遊休農地面積は約30ヘクタールで推移。中山間地域の農地の有効利用や、新たに農地を借り受ける農業者への市独自の補助金制度など、小規模農家支援



を行っている。戦略本部で中山間地向けの戦略農産物を決定し耕作放棄地にならないよう取り組む」

災害復旧 中山間地の農家支援の検討を

今野市議 「7月の豪雨災害では、中山間地でも多くの被害が報告されている。国の激甚災害指定を除けば、自然災害の復旧に対する農家への補助は最大7割。農家負担3割は今の農業情勢の中では厳しい。特に中山間地では「耕作放棄」「廃業・離農」「転居」などさらなる国土荒廃へつながることが懸念される。総合的な見地から農家負担

を最小限に抑える支援策・補助制度の検討を

市長 「7月豪雨による農林業関係の被害は、約200件。今後は大規模災害が多発することが想定される。国や県、他市町村の動向をとらえながら、農家負担軽減に向けて、補助や支援のあり方を検討する」

市民サービスの充実を

今野市議 「新型コロナは生活弱者への影響が大きいため、福祉部門をもっと手厚くしなければならぬ。生活保護ケースワーカーの増員・配置基準数確保や、福祉窓口へのコンシェルジュ配置(再任用などを活用)など、市民サービスに関わる人員の充実を」

山形市の木 ナナカマド

花ことは 慎重・怠りのない心 賢明・用心

今野市議 「生活支援室は資格のあるケースワーカーを配置を」と求めました。

世帯に対し、ケースワーカー22名の標準配置数のところ、現在17名の配置。体制強化策として、社会福祉士の資格を持つ面接相談員などの会計年度任用職員を6名配置。令和3年度より、生活福祉課内に新たに(仮称)生活支援室を設置し、ケースワーカーの増員によるさらなる体制の強化を検討。窓口の福祉コンシェルジュは、配置の必要性も含め、調査研究する」

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。

*裏面もあります

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 電話(642)4313
 今野 誠一 船町161 (684)9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641)8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645)2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 12月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

PCR検査 医療機関などの定期的な社会的検査を
定期的な検査は「現在必要ない」と市長
学校給食の主食をオール地元産に



今野誠一市議

12月定例会 今野誠一市議が一般質問 (その1)

新型コロナウイルス対策

1日、今野誠一市議が、日本共産党山形市議団を代表して一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策、農業の振興、機構再編と人員配置について質問しました。

新型コロナウイルス対策

連日、「過去最多」の新型コロナウイルス感染者の報道。インフルエンザとの同時流行も懸念され、年末年始で人の移動も多くなる時期。全国的に無症状者や軽症者がクラスターを生んでいることから、PCR検査の抜本的拡充が必要、と訴えました。

PCR検査の抜本的拡充を

今野市議 「感染拡大を未然に防ぐために、『リスクの大きい場所や事業所での面的な検査は、今の状況では必要ない。定期的な検査は、今の状況では必要ない。』『マスク・手洗い・3密を避ける』をやれば、感染拡大にはつながらない」

市独自対策

今野市議 「市独自の

対策は、感染防止というより経済活動に予算。持続化給付金から外れた場合の応援金など、周知されていない」

発展計画の見直し

今野市議 「新年度予算編成は、税収減など財源確保が難しい。事業の縮小や先送りもある中で、市民サービスは責を負うべき」

PCR検査の抜本的拡充を

市長 「感染者が出た場合、なるべく幅広く検査。保健師が検査に協力できる様、職員配置する。定期的な検査は、今の状況では必要ない。定期的な検査は、今の状況では必要ない。』『マスク・手洗い・3密を避ける』をやれば、感染拡大にはつながらない」

市独自対策

今野市議 「市独自の

農業の振興 米価下落

新型コロナウイルスの影響による外食自粛等で米の需要が落ちている。新米も一俵千円ほど下落。米が30万トンの減産を目安にし、県の協議会の決定で、市は77haの作付面積の削減になる。前年は目標を下回る作付で余裕はあるが、戦略本部で水田転作の考え方の見直しを、と訴えました。

転作の本作化 市産小麦を学校給食に

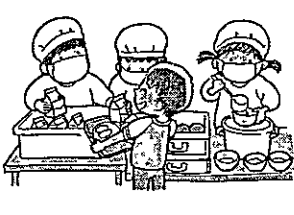
今野市議 「山形市の転作物は主に大豆、麦、そば。特に小麦は、水田からの転作は県内で山形市のみ。取り組む生産団体は減少している。学校給食用のパン・麺への積極的な利用など、地産地消の推進で、本作化につながるの

転作の本作化 市産小麦を学校給食に

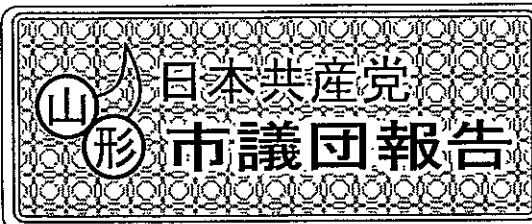
市長 「小麦の生産を大規模にするには、乾燥施設の問題がある。関係機関と連携して検討が必要」

市独自対策

今野市議 「市独自の



みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 12月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

12月定例会開会

コロナ対策、福祉灯油など審議

12月定例会は、11月26日開会、
 12月11日閉会予定です。
 補正予算はコロナ対策や福祉灯
 油などを含む9件の議案です。指
 定管理者の指定や連携中枢都市圏
 の締結に関する協議についてなど
 事件議案が12件、スポーツ振興を
 教育委員会から企画調整部へ移行
 することや、副市長を複数人制に
 するなど条例が6件の議案となっ
 ています。
 請願では、新たに「国に対し消
 費税5%以下への引き下げを求め
 る意見書の提出を求めることにつ
 いて」が山形民主商工会から提出
 されています。ほかに、継続中の
 請願は、「国に対し再審査の改正
 を求める意見書の提出を求めるこ
 とについて」「日本国民救済会山形
 県本部から、「公立学校に1年単
 位の変形労働時間制を導入するた
 めの条例制定に反対することにつ
 いて」「山形県教職員組合山形地区
 支部からの2件があります。党市
 議団はそれぞれ紹介議員になって
 おり、採択に全力を尽くします。

山形市高齢者保健福祉計画案について 待遇改善抜ぎに人材確保はない

第8期介護保険事業
 計画を含む、山形市高
 齢者保健福祉計画の案
 について、厚生委員会
 で2度目の勉強会が行
 われました。
 佐藤あき子市議は、
 説明の中で「人材確保
 が喫緊の課題」としつ
 つ、計画の中では「介
 護現場の革新」として
 外国人材の受け入れや
 雇用のマッチング、口
 ボットやAIの活用な
 どが並んでいて、待遇
 改善が抜けていること
 を指摘。「待遇改善抜
 きには人材確保も、仕
 事に誇りを持つことも
 難しい。市として待遇
 改善を盛り込めないか」
 と主張しました。担当
 課長は「介護報酬の改
 善を国に求めることと
 述べました。」

みなさんのご意見、お困りのことなど、お気軽にお寄せ下さい

この間、市議団に寄
 せられた声の一部です。
 ☆社会保険労務士さん
 から「給付金の申請
 ができない、というつ
 しやる方がたくさん
 いる。もっと自分で
 できるように手続き
 を簡単に」
 ☆GOTOトラベルで、
 行け行けというのは
 おかしい。
 ☆テレビで「もみじ公
 園が綺麗と言ったた
 ので見に行ったら、
 県外ナンバーがいつ
 ぱい。マスコミも考
 えて報道してほしい」

☆伝統工芸の職人さん
 から「コロナでイバ
 ントをやるにも不安
 な中での開催。でも
 開催がなければ収入
 がゼロ。個人事業な
 ので学校への出前授
 業が有料だと助かる」



12月定例会 今野誠一市議が一般質問

12月1日(火)
 午後1時15分から

市役所 議会棟4階 ぜひ傍聴にお越しください
 質問項目

1. 新型コロナ対策
 - (1) 新局面(冬期・年末年始・第3波)を前に感染拡大防止対策
 - (2) 市独自対策(第1~第4弾)の結果・進捗状況、今後の方針等
 - (3) 発展計画2025の見直しと新年度予算の考え方
2. 農業の振興
 - (1) 米価下落と時期生産目標への取り組み
 - (2) 転作の本作化への具体策
 - (3) 耕作放棄地の現状と対策
 - (4) 自然災害被害の復旧
3. 機構再編と
 人員配置について

山形市議団報告

発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 電話(642)4313
今野誠一 船町161 (684)9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641)8640
阿曾隆 柏倉917 (645)2911
メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 12月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



少人数学級をすすめる県民学習交流集会

少人数学級をすすめる県民学習交流集会
 「誰もが尊重され、可能性を發揮し、安心して生きていけるように変えていく」ためにも教育の変革を」と訴えました。
 集会ではさらに現場の教員など4人が壇上から報告。山形県は全国に先駆けて多人数学

級の学級定数40人を抜本的に見直すよう求め、全国的に運動が広がりつつあります。
 東京大学の本田由紀教授が「コロナ危機の中で学ぶ子どもたちに少人数学級を」と題して講義。序列化・画一化がかつてなく進んでいる日本の教育の特徴を解説し、「少人数でひとり一人に行き届いた教育は、コロナのもとで喫緊の課題であると同時に、この社会を」
 集会では、「少人数学級を求める会」を地域につくり、賛同署名を有権者1割を目標にとり組むこと、来年の3月に全市町村に議会請願を提出することなどの運動提起がなされました。

有権者1割の署名運動を提起 県民学習交流集会開催

少人数学級の実現を目指す県民学習交流集会が15日山形市内で開かれました。(主催)少人数学級をすすめる県民の会、教育のついで実行委員会)阿曾隆市議が参加しました。
 コロナ禍のなかで困難な状況にある子どもと学校の現状から、全国的に見直すよう求め、全国的に運動が広がりつつあります。
 東京大学の本田由紀教授が「コロナ危機の中で学ぶ子どもたちに少人数学級を」と題して講義。序列化・画一化がかつてなく進んでいる日本の教育の特徴を解説し、「少人数でひとり一人に行き届いた教育は、コロナのもとで喫緊の課題であると同時に、この社会を」



デモに出発するトラック



署名を受け取る高橋会長(右)

高橋嘉一郎食健連会長が「家族農業を守り、食料自給率向上を求める請願」などの団体署名を受け取り、岡崎組合長が連帯のあいさつと激励をのべました。
 加盟団体の共立社生協の伊藤薫議長、山形地方農民連吉田吉弘会長が現状をのべ、食料と健康を守る活動への決意をのべました。また、県農協からも栗田委員長はじめ6名の役員が激励に参加し、紹介されました。その後、集會参加者に拍手で見送られながら先導車に続き、9台の軽トラックにのぼり旗を立てた農民連合会が市内をデモ行進し、「食料自給率の向上」「日米FTA反対」を、街行く人々に訴えました。
 世界中が「コロナ禍」の中で、生命・健康が脅かされている中「安全な食料の提供・確保」の活動に力を注ぐ重要性を改めて確認する日となりました。

山形食健連秋のグリーンウエーブ(食糧の波)2020集会在17日JAやまがた駐車場で開催され、今野・阿曾両

市議が参加しました。JAやまがたとJA山形市の協力・後援で継続されており、晴天に恵まれたこの日も、JAやまがたは、岡崎輝明組合長はじめ、役員十数名が参加、食糧連加盟団体の参加者を含め、約50名の集會となりました。
 と健康を守る活動への決意をのべました。また、県農協からも栗田委員長はじめ6名の役員が激励に参加し、紹介されました。その後、集會参加者に拍手で見送られながら先導車に続き、9台の軽トラックにのぼり旗を立てた農民連合会が市内をデモ行進し、「食料自給率の向上」「日米FTA反対」を、街行く人々に訴えました。

今の時代に「米を自給率を安全を」守ろう

12月定例会日程

11月	26日(木) 本会議・開会☆
12月	1日(木) 本会議・一般質問☆
	2日(木) 本会議・一般質問☆
	3日(木) 予算委員会☆
	4日(金) 予算分科会
	7日(月) 常任委員会
	9日(水) 予算委員会☆
	全員協議会☆
	11日(金) 本会議・閉会☆

☆☆印はネット中継あり

12月議会は党市議団を代表して、今野誠一市議が一般質問を行います。

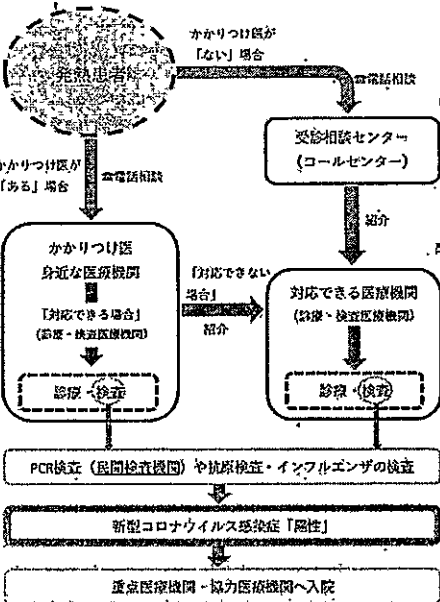
みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

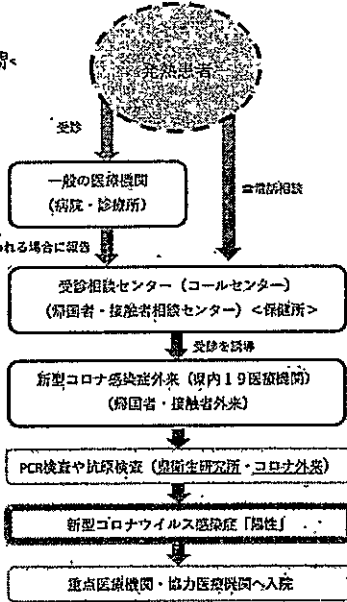
発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話(642)4313
 今野 誠一 船町161 (684)9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641)8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645)2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 12月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

【令和2年11月から】



【令和2年10月まで】



(図表) 発熱時の受診の流れ

厚生委員会

インフルエンザ流行とコロナ対策

PCR検査 79 医療機関 最大1000件に

厚生委員会の勉強会が10日に開催され、インフルエンザ流行に備えた、新型コロナウイルス検査体制の拡充について、報告がありました。

同時流行に備え、市内の協力医療機関79か所(病院8か所、診療所71か所)で最大1日1000件の検査ができる体制となったことが報告されました。

発熱などの症状がある方は、電話でかかりつけ医に相談したのち、その医療機関の指示で指定時間などを確認して受診します。検査は民間検査機関へ依頼するため、結果判明は翌日以降となります。(図表) 検査費用は保険と行政の負担となり、本人負担はありませんが、インフルエンザ検査の自己負担分はかかりつけ医、協力医療機関について、担当課から「風評被害を防ぎ、協力者を増やすため、現時点では公表しない」と報告があり、あき子市議は「79もの医療機関に協力していたたけの心強いし、当初は風評被害の心配もあったかも知れないが、これだけ協力機関も増え、状況も変わる中で、公表に同意される医師も増えるのではないかと。市民としては検査に同意できる病院を知りたい。公表の同意を取り付けられるよう努力してほしい」と述べました。他の委員からも「風評というより、むしろ尊敬されるべき」などの意見がありました。協力医療機関の検査についても、保健所に報告され、公表されるシステムになっていることや、医療機関の負担に対する国の補助があることなども明らかにされました。

12月定例会の請願締切は11月16日(月)

第4次環境基本計画とゼロカーボンシティ

自動車依存の解消は公共交通の充実で



佐藤あき子市議

環境審議会

環境審議会が4日に開かれ、ゼロカーボンシティの表明についての報告と、第4次山形市環境基本計画の素案について審議が行われました。佐藤あき子議員が委員として出席しました。

ゼロカーボンシティとは、「2050年までに温室効果ガスまたは二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らまたは自治体として表明した地方自治体」で、環境省が公表しており、11月2日現在で168自治体となっています。山形市は10月19日に市長が表明を行いました。

素案の策定後の表

環境基本計画をめぐっては、他にも自然との共生や生活環境の保全など幅広い課題があり、各委員から活発な意見が交わられました。

明ですが、素案には「脱炭素社会」が施策の1番に掲げられ、目標値も挙げられています。

温室効果ガス排出割合は運輸29%、家庭29%、業務25%、産業12%となっており、計画素案では「10年後のめざす姿」として自動車依存の解消をうたっています。

具体的な取り組み例として公共交通網の整備とともに次世代型自動車の普及啓発などがあげられている点について、あき子市議は「市民一いつからいっても、自治体としては公共交通の充実に抜本的に力を入れるべき」と主張しました。

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
今回の相談会は、
11月14日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

少子高齢化、地域活性化の要望6項目 地域の共通課題で市長に要望

須川西部4地区振興協議会 阿曾市議が同席



要望を訴える須川西部4地区振興会会長・副会長ら 奥左から2番目が阿曾市議

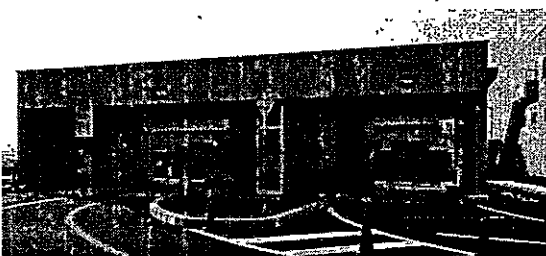
本沢・西山形・村木沢・大曾根の振興会会長・副会長らが4日市役所を訪れ、4地区振興会協議会としての要望書を佐藤孝弘市長に提出しました。

これには地元議員として阿曾隆市議と石沢秀夫市議が同席しました。

4地区共同で毎年行っている要望ですが、今年には7月豪雨の対策についての緊急要望があったので振興協議会としての要望は2回目となります。

要請項目は▽西部地域の少子化対策▽山形PAスマートインターチェンジ設置に伴う要望▽大曾根小学校の複式学級解消▽野生獣被害対策▽国道458線の安全対策▽西部工業団地内の公園整備についての6項目です。

市長からは、▽定住対策の規制緩和について、この3年間で43戸が着工し、内23戸が地区外からの定住であり、引き続き首都圏からの移住対策などを強める▽西公園の拡充、スマートインターチェンジについては、今年度芋煮広場などの拡張、来年度売店やカフェなどを想定した整備方針をたてる▽大曾根、西山形の複式学級について、アシスタントティーチャアの配置を継続する▽有害鳥獣駆除についてイノシシは今年すでに400頭を駆除、さらに



立谷川エネルギー回収施設搬入口

山形広域環境事務組合議会の議員協議会が10月28日立谷川エネルギー回収施設で開かれ、

利用しやすく意識向上に役立つ施設へ

同施設の二期工事の進捗状況について説明を受けることも現場を視察しました。

エネルギー回収施設として、ロードヒーティングの排湯利用・電気自動車用急速充電設備などに活用しています。

焼却施設が完成し稼働した後、昨年末より令和3年3月末までの工期で、3つのステップに分け、計量から退場までの搬入・出路の整備などが進められ、全体では約80パーセントが完成し、計量棟・ロードヒーティング・駐車場など、第一ステップが10月19日より運用が開始された部分もあります。

今後、仮施設・進入路の解体・撤去や屋根付き歩道・緩衝緑地帯の整備など、第二・第三のステップの工事が進められます。

旧施設での搬入入口に戻った形ですが、正面入口のわきに稼働状況(排出成分など)のモニターが外部からも知ることができるようになりました。

民の実施拡大をすすめるなどの回答がありました。

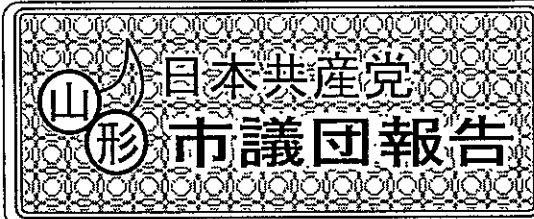
参加者からは、西部地域が顕著に少子化、高齢化が進んでいることへの危機感が出され、住宅整備、高齢者福祉の充実、魅力ある学校づくりなどについて特に強く要望が出されました。

交差点の交通問題など地域の要望について交渉

滝山地区 佐藤あき子市議が参加

10月26日、滝山地区の要望について、在住議員3人が担当者と交渉を行い、佐藤あき子市議が参加しました。毎年、地区の要望に基づいて行っているものですが、今年度地区から出ている要望は、交差点の交通問題や、道路の拡幅、治水問題などです。それぞれ解決策がすぐみつかるものではありませんが、今後粘り強くとりくみたいと思います。

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 11月14日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



市政・県政報告会を開催

新型コロナ、鳥獣被害、学校給食など

写真：正面左から佐藤市議、報告する今野市議、
渡辺県議、阿曾市議

霞城公民館で10月25日、党市議団と渡辺ゆり子県議の市政・県政報告会を行いました。

それぞれの議員が議会報告を行ったのち、参加者との意見交換が行われました。

渡辺ゆり子県議からは新型コロナウイルス感染症対策について、少人数学級について、東海大山形をめぐる問題を見るポイントについて報告があり、今野誠一市議団長は財政的な

視点から、佐藤あき子市議は子どもの権利を守る視点から、阿曾隆市議は主に教育をめぐる問題について、それぞれ報告を行いました。

質疑では、コロナウイルスの感染者の公表の仕方について、有害鳥獣被害の実態と農家への支援策について、学校給食などについて意見が交わされました。今後の活動に活かしたいと思います。

森林産業活性化推進山形市議員連盟(林活議連)の役員一行は23日、寒河江市にある山形森林管理署を訪れ要望書を提出、中野亨署長らと懇談しました。これには林活議連役員として阿曾隆市議が出席しました。

森林産業活性化推進議員連盟 営林署に要請と市有林視察



伐採木の選定に立ち合う阿曾市議

近年蔵王のアオモリトドマツに深刻な被害を与えている害虫被害の解決、千歳山松林の保全対策、山形市の山林の約4割を占める国有林の森林整備・治山事業の3つを要望しました。



営林署の前で阿曾市議

仙台市秋保町にある市有林(39・48ヘクタール)の視察を行いました。

西山形地区山王集落では、地域の里山を整備し、住環境を改善しようという取り組みが進んでいきます。県の緑環境税を活用した市の里山景観整備事業で、今年で3年計画の2年目。このほど集落代表の山王地区は少年自然の家に向かう県道17号線沿いの山の北側に位置し、かつては山の上から下ってくるバスの姿が見上げることができたと言いますが、長年人手の入らなくなった民有林は陽の入らない暗い森となつていきます。冬期間は風を過ぎると日景になり、大きくなった雑木も住宅に倒れるのではという不安もありました。

西山形山王地区住民の相談を受けた阿曾隆市議、市の森林整備課、森林組合、そして地権者の協力など力を重ねて事業が実現しました。この事業では住民による下刈り作業などが条件になっていきます。昨年度は0・1ヘクタールで杉を中心に38本を伐採、2年目の今年も10月末の入札を経て12月18日まで0・12ヘクタールで雑木も含め116本を伐採する予定です。整備済みの里山は見違えるほど明るくなり、車を道を通る人も清々しい気持ちになると評判です。

暮らしの環境よくする里山整備

事業の延長を求めて住民らと阿曾市議

西山形山王地区

コロナ対策 振り手不足 発達障害支援 私立幼稚園協会が要望書

振興議連の阿曾市議も同席

私立幼稚園・認定こども園協会(佐々木僚会長)の役員らが21日、市役所を訪れ、佐藤孝弘市長に要望書を提出しました。これには振興議員連盟の役員として阿曾隆市議が同席しました。

要望は10項目。前年からの継続要望に加え、新たに新型コロナウイルス対策や、教諭や保育士のなり手不足の中で協会が実施する就職ガイダンスへの経費補助などを盛り込みました。

また市長との懇談では、子どもの発達障害などに悩む保護者に、十分対応できる支援体制をと、県医療療育センターへの受診同行への支援や、市立の発達障害者支援センターの設置などを求めました。



みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

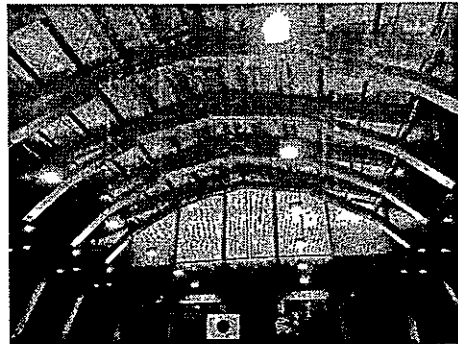
発行

日本共産党山形市議団

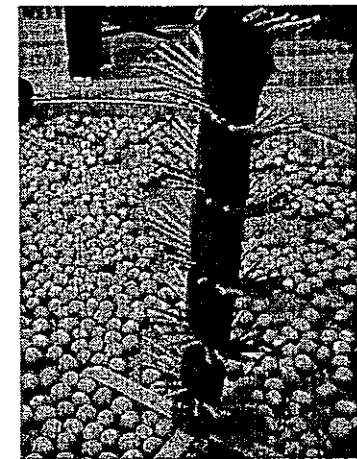
山形市小白川町4-13-15 Ⅷ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 11月14日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



白鷹町の複合施設



高島町の屋内遊戯場の木材の遊具

白鷹町の複合施設は役場庁舎・図書館・交流施設などの機能を持ち、構造材から仕上げまで、町内産の木材使用量が約75%と高く、設計から町民の声を取り入れ、町内企業が参加する「木材乾燥センター(株)の設立」「パイオマスボイラー導入」など本格的な森林保全と木材の利活用に取り組み姿勢を感じました。

高島町では、町立図書館と屋内遊戯場の木材活用施設を見学し、あらためて「木のぬくもり」が感じられ、その特質を十分に發揮できる様、計画されている施設でした。図書館の内装は、書棚のあたたかさ、落ち着きのある空間をつくり、屋内遊戯場の間取り、木材の遊具などは年齢

層、親子のふれあいにも満足度が高まるものと感じました。また、両施設とも女性の目線が多く取り入れられている箇所もあり、町の特色も反映されていると思われま

す。今回は両町の「本気度」とそれに関わる役場内外を含めた多くの部署、関係者の「総意」を積み上げていくシステムの重要性、強さを印象づけられた研修でした。

なお視察後、白鷹町の施設が「2020年度木材利用優良施設コンクールで内閣総理大臣賞受賞」の報道がありました。

住民・行政が一体となった木材活用

森林・産業活性化推進議員連盟の視察研修

市政・県政報告会

9月議会を中心に、日本共産党山形市議団、渡辺ゆり子県議が報告します

10月25日(日)

午後1時30分から

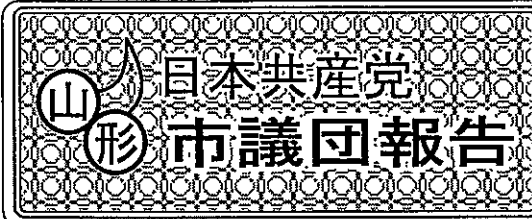
霞城公民館 2階 研修室2 (和室)

どなたでもご参加いただけます。ぜひおいでください。ご意見・ご要望、お寄せ下さい。

*マスクの着用をお願いします。

*裏面もあります

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 11月14日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



土砂崩れ現場を視察 左から高橋衆院議員、阿曾市議

7月 豪雨災害

復旧なかば 地域の維持に支援措置拡大を

阿曾 隆市議

9月補正予算で、今年7月28日の豪雨災害復旧関連予算約3億1400万円が執行されました。

本沢地区のブドウハウス倒壊被害(672万円)をはじめ、農地農業用施設復旧に2820万円、林道災害7560万円、河川、橋梁、道路関係で2億3500万円です。

現在も多くのところで復旧事業は半ばの状況です。

高齡化や農業所得の減少のもとで、災害による田んぼや水路の復旧は農家にとって大きな負担です。特に条件の厳しい中山間地では、「復旧するか離農、廃業するか」と悩む農家の声が聞かれました。

日本の農業生産は約4割を中山間地が担っています。しかし過疎や高齡化で生産条件ばかりが生活条件まで悪化が進んでいます。住み続けられる地域の維持のためにはこれまでの支援措置を思い切って拡充することが必要です。

中山間地農業 地域を守れ

7月28日の豪雨では、特に市の西部地域で大きな被害がありました。河川や道路被害をはじめ、農地や農道、農業施設など、高齡化した農村地域に入きなダメージです。

EUでは 当たり前

中山間地の耕作放棄地の発生を防止する目的で20年前にはじまった「中山間地直接支払制度」も、山形市で当初20集落が利用していましたが、今年は12集落、約200人に減少しています。協定に5年間の縛りがあることなどが高齡化した実態にあわなくなっており、要件緩和や手続きの簡素化、高齡化率の高い地域への補償のかさ上げなど改善が必要です。

豪雨災害で、改めて農村地域の多面的な役割・機能(農道や水路の整備や環境維持、畔の草刈、地域の環境や祭り、文化の継承)が浮き彫りになりました。EU諸国では、こうした役割を正當に評価し、条件不利地の農家所得に手厚い補助で保護することがあたりまえになっています。

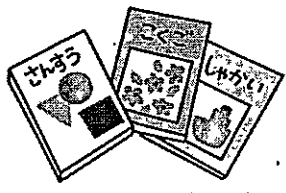
教育研究合同集会 子どもと先生にゆとりと笑顔を

第70次山形地区教育研究合同集会が9日、10日の両日開かれました。

9日は東ソーアリーナを会場に松元ヒロさんのライブ。10日は第1中学校を会場に分科会がありました。分科会は教科の実践や学級づくりなど9つのテーマで、阿曾隆市議が特別分科会「学校の抱える教育課題を考える」に参加しました。

学校の多忙が常態化しているなかで、教科や生活指導さえも効率や小手先のテクニックに陥りがちな実態。教師同士が教育について話し合う機会も奪われている

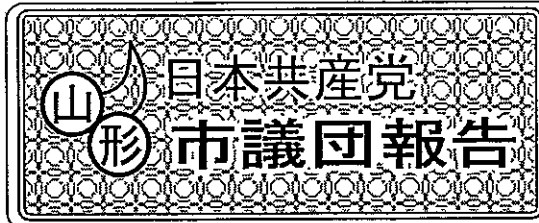
のが現状です。学校の課題解決と教員の人的なつながりを取り戻していくことは一体のものだと感じました。



3時間の分科会で、学力テスト、部活動のあり方、教員研修制度、コロナ禍のもとでの課題など、多岐にわたる現場の先生方の声が聞けてたいへん有意義なものでした。

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 11月14日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

学校歯科健診のあり方

子どもの貧困と口腔状態



9月定例会 阿曾隆市議が一般質問 (その4)

阿曾議員 「口腔崩壊の子どもをうまないためには、子どもの歯と健康の問題を自己責任とせず、行政や地域全体で取り組んでいく課題だ。学校歯科健診は成長期の健康異常を早期発見・治療し、健全な

状態と、学校歯科健診で異常が指摘された子どもがきちんと治療に結びついているのかどうか、再検査の受診率について質問しました。

山形市の子どもたちの口腔健康に影響しています。家庭の貧困が子どもたちの健康に影響しています。

子どもの貧困が深刻な社会問題となつていきます。虫歯が10本以上とか、根っこしかない歯がいくつもあり噛むことが困難な子ども「口腔崩壊児童」の存在が注目されています。

荒澤教育長 「健診の結果、要受診となつた子どもは小学校18・80%、中学校7・7%。そのうち未受診の割合は小学校35・5%、中学校47・1%である。受診しない理由としては、児童生徒・保護者の健康への理解不足、塾やスポーツなどの多忙も一因であり、歯と健康の重要性について機会を捉えて周知していく」

私学も完全無償化を

第43回県私学フェスティバル開催

山形県私学フェスティバルが3日、霞城セントラルで開催され、阿曾隆市議が来賓として出席しました。

私学助成の拡大、公私間格差の解消などをかけて生徒、教師、保護者で毎年開催してきたもので今年で43回

目。山本学園高校書道部のパフォーマンスをはじめ、リモートでの演奏などコロナ禍のもとでの工夫を凝らした催しでした。

健康遊具の設置祝う

西山形・礪石集落

西山形礪石集落の児童公園に、健康遊具が設置され、9日落成式が行われました。

阿曾隆市議が来賓参加し、住民らとともに祝いました。セレモニーには佐藤市長、斎藤議長も列席しました。

阿曾市議は「人生100年時代を健康に過ごすために、大いに活用し、地域のコミュニティにも活かしていただきたい」とあいさつしました。



「なかなか力いるな」設置された健康遊具を使ってみる近所の皆さん

市政・県政報告会

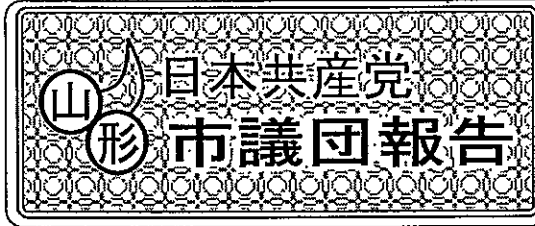
10月25日(日) 午後1時30分から
 霞城公民館 2階 研修室2 (和室)

日本共産党山形市議団、渡辺ゆり子県議が報告します。ご意見・ご要望、お寄せ下さい。

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

*裏面もあります

どなたでも参加いただけます。
 みなさん、お越しく下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 田 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 11月14日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

高齢者保健福祉計画 (第8期介護保険計画含む) 骨子

市民のくらしの質を守る計画に

厚生委員会 佐藤あき子市議



厚生委員会が9日に開かれ、令和3～5年度の第8期介護保険事業計画を含む山形市高齢者保健福祉計画の骨子が示されました。

佐藤あき子市議は第7期の取り組みの成果として、認定率と給付費が計画より削減されていることを強調している点などから、「介護保険の経営という視点が強まっているように感じる。大切なのはサービスを利用することで市民のくらしの質が守られることだ。認定率や給付費の削減だけを強調されると、それが介護予防の結果としてなのか、単に経営の成果として挙げているのか、どの視点であげたのかがわからない」と述べ、介護給付の適正化の部分で、国が示しているケアプランの点検についても、経営的な視点での抑制とならないよう求めました。

この計画は12月議会で中間報告が行われ、3月議会で介護保険料を含め条例改正が行われます。福祉に関して、国の制度が細かく変わ

り、市民生活に大きく関わる介護保険料などの内容が、年度末ぎりぎりに示されるのが常態となっています。それ自体が、地方自治や市民の主体性を削る行為ではないでしょうか。



報告事項として、令和3年度に向けた組織改正の検討状況について説明がありました。

保健所設置や感染症地対策、コロナ禍への対応なども考慮しての検討とされています。企画調整部には「交通政策の機能拡充のため(仮称)交通政策室を設置」。教育委員



9月定例会

厚生分科会

児童家庭の相談

児童家庭の相談について、相談件数730件、

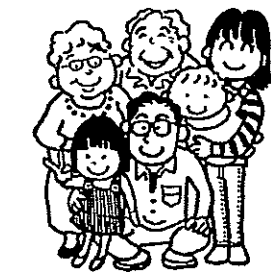
虐待に関する相談95件という報告に対し、あき子市議は「相談件数が増えているが、中核市では児童相談所を持つことができず、まず児童心理司や児童福祉司を配置すべき」と主張し、件数の推移などを質しました。家庭支援課長は虐待と認定され

た数は、2017年度4件、2018年度4件、2019年度23件と増えている実態を示し、令和4年にむけて総合支援拠点をめざしていること、担当相談員を増やすことを明らかにしました。

総務委員会 今野誠一市議

会より「文化財保護業務を文化振興課に移管し、さらに文化施設整備室を設置」。スポーツ推進・体育施設管理等に関する業務を(仮称)スポーツ振興課として立ち上げ、(仮称)スポーツ施設整備推進室を設置するとしています。これにより教育委員会のスポーツ保健課はなくなり、

設置」を設置するとしています。「コロナ禍で業務が拡大している商工関係は従来のままで対応が十分なのか」との質問に対しては「第二波の影響等がどうなるか状況をみて検討することになる」との答弁がありました。



文化振興と文化財保護の業務が、企画調整部と文科省との関係で教育委員会に分担されていたことについては、これまで何度も疑問を投げかけてきましたし、スポーツ振興に關してもかつて「特別委員会」が設置された際に「生涯スポーツと施設整備」の観点から、教育委員会との関係の整理を要望してきました。

生活保護施策の機能拡充のため(仮称)生活支援室の設置が検討されていますが、同時に不十分なケースワーカーなどの人的配置、窓口対応の充実などへの対応も求められています。

*裏面もあります

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

次回の相談会は、
 11月14日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

9月定例会

厚生分科会



**山形市子ども貧困対策計画
 児童相談所設置を見据えた
 相談機能体制の強化を**

佐藤あき子市議

厚生委員会に、子どもの貧困対策計画の策定について報告が行われました。

これまで佐藤あき子議員は、中核市は児童相談所を持つことがで

けるのだから、児童福祉司や児童心理司など専門職を配置して体制を整えていくべき、と主張してきました。今回の計画の中で、令和4年度をめぐり「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、専門職を配置するとの報告がありました。

あき子市議は質疑の中で相談専門の担当者6名配置することや、課内に設置することを

明らかにしたうえで、「他の自治体の深刻化したケースを見ると、児童相談所、学校、自治体で連携がとれていない。連絡調整機能を強化してほしい。また、相談直後のトリアージが適切に行われるためには経験年数が必要と言われている。専門職が長く関わられるよう、人事異動でも配慮が必要だ」と強調しました。

**妊婦へのPCR検査
 ケアワーカーなどへの拡充を求める**

国の2次補正により、おおむね分娩予定日2週間前の妊婦に対し、PCR検査が行われることになりました。分娩予定の医療機関が検体採取し、外部検査所と委託契約を結んで検査するもので

対象者が「感染を疑う症状がない方」とされていることから、あき子市議は「PCR検査を広く実施することは歓迎するが、症状のない妊婦が受けたいのはむしろ抗体検査ではないのか。保育士や教職員など、接触が必須なケアワーカーにPCR検査を広げるべき」と主張しました。

健康医療部長は「エッセンシャルワーカーや対面講義の始まった大学生など、PCR検査の必要性について論議が行われており、その行方を注視しつつ、予防活動に力をいれたい」と答弁しました。

総務分科会

今野誠一市議

**消防団の適正維持を
 決算分科会**

消防団員報酬に不用額が出たことについて、今野誠一市議が、「分団や班が適正に活動する体制が維持されていないと危険するが」と質したのに対し、「定数は1762名。当

初予算では1740名を見込んだが、実際は1647名であった。重要な課題で苦慮しているが様々な機会で団員確保に向けて取り組んでいく」との答弁がありました。

これに対し「多様な職場・働き方が、入団へのためらいとなつて

いる。身分保障など制約もあると思うが、協力できる部分で活動できる場を拡げ、消防団への理解を深め、地区の特性を生かした団員確保に取り組みたい」と要望しました。

駅西口にバス停車場の一部を

予算分科会(補正予算)

感染予防・経済活動再開対策として、国の地方創生臨時交付金を活用し、山形駅西口にバスベイ(全長約400m・路線バス2台、貸切バス1台)を設置する計画が、令和4年4月1日、供用開始を目指す事業に約1千万円弱が計上されました。現在のJR東口は路線バス、都市間バス、「ミニシティバス」、さらに貸切バスの発着など、バス待ち客が密になっており、また、安全上の課題もありました。今回路線バス660便のうち、110便と貸切バス全部を駅西口へ移行しようとするものです。

今野誠一市議は、「移行する路線バスのコースを慎重に選択するとともに、貸切バスのバスプールとなることでは、これまで東口

方面に目が注がれていた日本一の観光案内所は、利便性の点でも西口方面に整備という考えがあってもいいのではないかと質しました。これに対し当局より「観光振興とバスなどの交通との連携は重要な視点と考える。観光案内所の設置場所については、総合的に検討する必要があるものと考えている」との答弁がありました。観光振興の目玉のひとつとして「日本一の観光案内所設置」は具体的な構想も示されましたが、不適とされ、撤回されたままとなっています。



新型コロナウイルス対策をめぐっては、市民に最も近い自治体が、真に必要な施策は何なのかを議論する能力が問われているのではないだろうか。

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

*裏面もあります

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

次回の相談会は、11月14日(土)です。事務所までお申し込みください。

・定例日 第2土曜日

緊急の場合はいつでもご連絡ください。

市営住宅を安心の住まいに 住宅福祉政策の中核

市民・入居者の立場で改善求める



9月定例会 阿曾隆市議が一般質問 (その3)

家賃の減免制度を広げよう

市営住宅は高齢化がすすんでおり、加えて母子世帯、低所得世帯が大きな比率を占めています。

こうした市民にとって市営住宅が安心の住まいになるよう、適切な家賃の減額や猶予のための制度拡充が必要と訴えました。

阿曾議員 「市の減免制度は生活保護基準以下で申請に基づくものとして定めている。他市では月額所得に応じて10%から30%を減額し、さらに高齢者世帯、母子父子家庭、障がい者世帯にも減額するなど、わかりやすい制

度で経済的に困難な入居者に対し、家賃負担の軽減をはかることもある。また家賃滞納などの入居者は困難に陥った市民ととらえ、収入等の状況や事情を十分に把握した上で民生部局と連携し、家賃減免猶予等の適切な対応を行うこと。これを市の条例上明確にすべきと考える」

佐藤市長 「市営住宅は近隣の民間住宅より比較的家賃が安い。滞納などについては福祉部門と連携し減免制度の周知をはかっていく」

連帯保証人の規程を見直せ

民法改正をうけ国は自治体などにむけ、自治体条例の保証人規定を削除することなどを示した通達をだしています。

住宅のセーフティーネットである市営住宅で、連帯保証人が確保できずに入居をあきらめるなどはあってはならない事態です。

市の保証人規程は、家賃滞納の弁済や住宅や施設を損壊した時の賠償責任など、ハードルが高く、実際に質

問に対して佐藤市長は、こうした例が年間数件あったと答弁しました。

阿曾議員 「住居の確保は、高齢であっても、だれであつても地域で生活していくためになくてはならない生活基盤。保証人規程は明確に削除すべきである」

佐藤市長 「連帯保証人確保が難しい人のため家賃保証法人による機関保証の準備をすすめている。また免除規定もあつて」

畳、ふすま、シャワーヘッド 住宅の修繕費用 入居者負担を見直せ

2017年の民法改正で、修繕と原状回復義務について、自然劣化の修繕費は貸し主の負担であるとされています。

阿曾議員 「山形市の賃貸住宅の契約に関して、「賃貸住宅標準契約書」改定し、借り主が負担とされてきた修繕内容を見直しました。UR賃貸住宅では入居者負担であった81項目の約8割を都市機構の負担とするよう変更

佐藤市長 「都市機構の修繕区分の見直しも踏まえ、修繕負担の見直しを検討していく」

四半世紀も使用している ガス風呂釜は放置できない

阿曾市議は平成26年に、市営住宅のバラン

半世紀以上も使用している現状は早急に改善すべき。もし事故が起こったら自己責任といえるのか、市の設置者責任についてどう考えるのか。15年を超えるものについては古い順から順次交換すべきではないのか」

その後、市の対応は設置後11年を超えるものについては販売業者による安全点検を行い、不具合や危険性のあるものは交換しています。

阿曾議員 「事故の未然防止の観点から四

佐藤市長 「新たな入居者が決まり、15年以上経過しているものは交換を検討する」

*裏面もあります

みなさまのご意見、お困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

次回の相談会は、10月10日(土)です。事務所までお申し込みください。

・定例日 第2土曜日

緊急の場合はいつでもご連絡ください。

9月定例会

医療・福祉予算を削減しようとする 国の制度改悪と対決を

佐藤あき子市議



医療・福祉予算を削減しようとする。国の制度改悪と対決を。佐藤あき子市議

険制度の維持のためには国が抜本的に国庫負担を行うしかない。強く働きかけてほしいがどうか」と質問。

国保課長は「おっしゃる通りであり、市長会などを通じ働きかけていきたい」と答弁しました。

国は自治体間を競わせ採点することで地方自治を軽んじる前に、制度を改善すべきです。

立たなくなることもある」と丁寧な対応を求めるとともに、「ケースワーカーの担当世帯数が国基準の80世帯を超えて、予算の時点でも100世帯超となっている。増員とともに、社会福祉士、児童福祉司などの専門家を配置してほしい」と主張しました。さらにコロナ対策の中で社会福祉協議会の窓口も、2名増員しても大変な状況であることを指摘し、機敏な対応を求めました。

運営がきびしいのは、と質問しました。障がい福祉課長は「全国平均1万6千円の工賃が山形は1万1千円でワースト1位の状況。県としても改善の計画を立てているところだが、コンサルタントの派遣やインターネットでの受注などの工夫、役務の収入が大きいく評価も高いことを伝えるなどの工夫をしていく」と答弁しました。

国保税 国庫負担の引き上げを

2018年度からは、都道府県化から国が導入した、医療費削減を国が採点し予算に傾斜をつける「保険者努力支援制度」について、2019年度金額が大きく伸びている点について質したところ、「山形県は高い加算となっている」との答弁があり、佐藤あき子市議は「保険者の努力があつて、加入者の国保税負担が限界という状況を見れば、皆保

生活保護費については、2018年度から3段階で引き下げの中にあつて、母子加算や3歳以下の児童養育加算が引き下げられており、特に小さな子どもが多い世帯で減額となっていることを指摘。「ぎりぎりの生活の中ではわずかな引き下げでも生活が成り

障がい者事業所の報酬のしくみについて、2018年から、工賃を7段階に分け、高いほど報酬が上がるとは、山形県の工賃は低く、事業所の

生活保護費

障がい者事業所報酬

厚生分科会

「ぎりぎりの生活の真実は低く、事業所の

保健所設置は大きな力 新発展計画は見直しを

本会議 提案説明で質疑 今野誠 市議



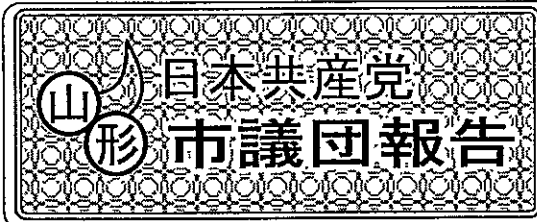
市長は「様々な形で大きな影響があるものと予想しており、スピーディに対応しなければならぬ。保健所が大きな力を発揮している一方、マンパワーが削られるなど一部影響が出ており、中止となるイベントなど大きな事業では、最大限何ができるか対策を考えながら、感染症に強い山形市づくりに取り組んでいきたい。このため今年度中に発展計画の見直しを行っていく」と答弁しました。

中核市への移行、山形市発展計画の最終年度と大きな課題があった令和元年度決算認定にあたり、今野誠一市議は「チャレンジ精神とスピード感」を進めるとしたが、計画通りの成果となつたのか、市長の総合的な考えを質しました。

市長は「保健所設置、ふるさと納税などで大きな成果となっており、健康医療先進都市へのさらなる飛躍への基盤となつた」と評価しました。次に「結果を検証しながらスタートする新発展計画へ引き継ぐとした成果が、コロナ禍の状況下、大きな環境変化や制約が続くと思われる中での見直し、取り組む心構え、さらに発展計画の見直しなどあり得るのか」と質しました。

元年度決算での自主財源率の低下、市債残高の増など、軽視できない財政課題、PFI事業など民間活力の利用の行方、人の流れの変化による観光事業への不安などに対しては「被害の度合いがそれぞれ違うのをしっかりとらえ、地元の見極めながら取り組んでいく」との答弁がありました。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 10月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

先生が忙しすぎる

教員の長時間勤務の解消を



9月定例会

阿曾隆市議が一般質問 (その2)

「市は教員の变形労働時間制は導入しない」 教育長答弁

昨年12月、安倍政権は教職員や各界の強い反対の声を押し切って、公立学校の教員に「一年単位の变形労働時間制」の導入を可能とする、改正教育職員給与特別措置法を成立させました。労働は一日8時間という大原則を崩す労働法の大改悪です。

阿曾議員 「そもそも教員の勤務に繁忙期はあっても、閑散期などはありません。過労死ラインを大きく超える働き方をさせておいて、その疲れやストレスをあとでまとめてこれというの、人間の生理を無視し、働く人の健康と生活をむしばむことでもない話です。いま社会がむきあうべきは平日で12時間という異常な長時間労働をどう解決していくのか、そしてさまざま問題をか

かえる学校現場で、ゆっくりと子どもに向き合いたい、学習や生活指導にとりくめる条件を教師に保証していくことだと考えます」

荒澤教育長 「ご指摘の通り、導入すれば超過勤務が常態化することが懸念される。現在山形市では導入することはありません。導入は考えていません。導入よりも働き方改革を着実に進めていく」

教員の働き方改革 多忙化解消

山形県教委の一昨年の調査でも、月の残業が100時間を超える教員が11・9%。6・7%の教員が年間720時間を超えています。教員の長時間労働は労働条件の問題であると同時に子どもの教育条件です。改善の要は教員の抜本的な定数増であり国の責任です。しかし同時に教員の身分は市職員であり、過労死を生みかねない現状やその元で学び子どもたちを、

このままにしておけないと迫りました。

阿曾議員 「給特法の改正で『勤務時間の上限に関する指針』が今年4月に施行され、労働時間短縮の具体的な数値として残業時間は月45時間以下、年間360時間以下、省令では週40時間、年間320時間以内をすべきとされました。山形市の教員で、この指針の上限を

インを超えて勤務している教員の割合はどれくらいいるのか、また過労死ラインとされる月80時間を超える残業をしている割合は？」

荒澤教育長 「今年7月で、40時間を超える残業をした教員は48・7%。80時間超は4・6%で明らかに過剰労働である。業務量削減につとめる」

ツリーシャル スクール ワーカーの配置を

貧困と格差の広がりが家庭にさまざまな困難を抱える子どもも増えており、不登校、別室登校不安や悩みを抱える子どもや保護者への対応など、学校と教職員に求められる役割は大きくなっています。しかしこうした対応が現在の教員の多忙化の状況では非常に荷が重くなっています。

阿曾議員 「別室登校などへの人的配置、とくに各学校に専門職によるスクールソーシャルワーカーを配置し、教員の負担軽減と、すべての子どもに学びを保障できる学校にしたい」

荒澤教育長 「市教委にスクールソーシャルワーカー1名、学校にスクールソーシャルワーカーを3名配置している。増員は国の動向を注視していく」

長時間勤務実態の正確な把握を

教員の異常な長時間労働をなくしていく上で、正確な勤務状況を把握することは大前提です。ところが山形市では教員が自分の超過勤務などの実態を報告する自己申告制で、客観的な勤務状況把握のシステムがありません。

阿曾議員 「働き方改革をすすめるうえで、実態を客観的に正しく反映した勤務時間管理の構築が急がれる。高額なシステムでなくともICカードやパソコンのログイン・ログアウトから把握するなど、簡易なシステムで可能だ」

荒澤教育長 「正確な勤務時間の把握は学校や行政にとって義務であり、現在の状況が不十分であることは重々承知している。出退勤システムをふくめた校務支援ソフト導入を目指していく」

*裏面もあります

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 10月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

休校 自衛隊への名簿提出 マイナンバーカード 子どもの権利がないがしろに



9月定例会 厚生分科会 佐藤あき子市議

決算の厚生分科会1
 日目、保健衛生費に関
 して、佐藤あき子市議
 は「現在は県の検査施
 設を頼っているが、コ
 ロナ対策も考えれば早
 急に市の検査施設を立
 ち上げるべき」と述べ
 ました。担当課長は
 「3年をめどに市の検
 査施設を予定している」
 と述べ、あき子市議は
 再度「市としてPCR
 検査をできるようにす
 べき」と主張しました。
 また、2月の休校の
 判断について「子ども
 たちはもちろん、学童
 家庭や職場と、影響が
 大きい判断だった。コ
 ロナ対策本部としての
 判断だったのか、教育
 長の判断だったのか。
 子どもの利益を守る決
 断だったのかどうか、
 教育委員会は開かれた
 のか、検証すべき」と

休校しなかった自治体
 や教育委員会で議論が
 あった自治体の例をあ
 げて質しました。健康
 医療部長から「県教育
 委員会の判断を受け、
 教育委員に連絡をとっ
 て、全国より1日遅ら
 せて休校した」と経過
 が報告されました。実
 際に教育委員会が開か
 れたのは休校が始まっ
 た3月3日であり、ほ
 かの方法がなかったの
 か、十分な検証が必要
 だと思えます。

また、総務費の中で
 自衛隊募集への協力と
 して、高校3年生の名
 簿4項目を紙媒体で自
 衛隊に提供している件
 について、あき子市議
 は「一方で個人情報
 あつかいを大切にと言
 いながら、一方で本人
 の許可もなく高校3年
 生の名簿を自衛隊に提
 出するなど認められな
 い」と主張しました。
 市民課長は「自衛隊法
 に基づく法定受託事務
 であり、個人情報取
 り扱いのうち、『法に
 定めるもの』に該当す

る」と述べました。こ
 の名簿の提出については
 全国的に行われており、
 法の改正を求める運動
 が必要です。
 さらにあき子市議は
 マイナンバーについて
 「政府のCMで、
 『家族4人で2万円』
 という宣伝をしている
 が、子どものカードを
 親が作り、そのポイン
 トを使っていることが
 」と質問。市民課長は
 「子どもの分のポイン
 トを親の口座にひもつ
 けられる」と説明。あ
 き子市議は「子どもの
 権利から見て問題があ
 る」と指摘しました。
 子どもが成長して『カ
 ードをつくるべきではな
 い』と考えたとしたら
 どうでしょうか。
 休校にしろ、自衛隊
 への名簿の提出にしろ、
 マイナンバーカードに
 しろ、子どもの権利が
 あまりにも軽く扱われ
 ています。その一方で
 子どもに未来への希望
 を見ようとするのは理
 不尽です。

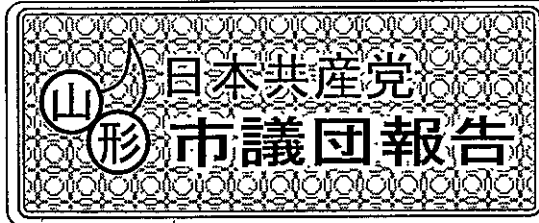
市民の願い実現に全力 党市議団が街頭で訴え



今野誠一市議団長、佐藤あき子市議、阿曾隆市議は、渡辺ゆり
 子県議とともに、市内の各地で街頭宣伝を行っています。「10
 月に消費税が上がって、生活がますます大変になった」など、道
 行く方から声が寄せられます。
 20日は、高橋ちづ子衆院議員が山形駅前に。「安倍政権の継
 承ではくらしはよくなる。来るべき総選挙では、市民と野党
 の共闘と共産党の躍進で、コロナ危機の体験を踏まえて『ケアに
 手厚い社会』『人間らしく働ける労働のルールを』『少人数学級
 の実現』『PCR検査の拡充』『文化・芸術を大切にす国』
 『ジェンダー平等』など、新しい政治への転換を」と訴えました。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話(642)4313
 今野 誠一 船町161 (684)9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641)8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645)2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 10月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例会 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

就学援助制度の充実を

9月定例会 阿曾隆市議が一般質問(その1)



子どもの貧困の広がりやコロナ禍で生活が困窮する世帯が増えていきます。こうしたなかで児童生徒の学びや生活を支える就学援助の拡充を求めました。

**東日本大震災
避難者への支援を
継続せよ**

東日本大震災から9年、山形市には今もなお多くの避難者が暮らしています。これまで避難者全員に適用してきた就学援助を国は被災3県に限定、これを行う山形市もこの春から対象児童生徒の8割を対象外にしました。

阿曾議員 「機械的で冷たい仕打ちだ。二重生活などの実態をよく聞いていないにに対応したのか。住宅支援をはじめ支援が次々と打ち切られている中、せめて子どもたちの生活の困難や学びへの支援は継続すべきだ」。

荒澤教育長 「通常の収入基準を満たす方を対象にしている。機械的ではなく、個別の事情に寄り添いながら対応していく。被災した自治体で対応ができる」

**より多くの児童生徒が
制度を
利用できるように**

山形市の就学援助利用は数でも率でも全国でも最下位のグループです。生活保護基準の1・3倍未満という認定基準を引き上げるよう求めました。

阿曾議員 「貧困と格差が広がる中で利用対象を広げるべきだ。生活保護基準の1・3倍といっても、住民税や所得税、社会保険などを控除すれば、生活実態は生活保護以下の世帯もある。この矛盾は放置できない。当面1・5に引き上げるべき」

荒澤教育長 「中核市の8割が基準1・3以下を占めており、山形市の認定基準も適正だと考える」

入学準備金の 引き上げを

この間、新入学での準備金や学用品費は、金額の引き上げや、入学前の前倒し

支給など大きく改善が図られてきました。しかし、貧困世帯の学びを支えるという目的では同じはずの生活保護世帯と比べて、小学校で7000円、中学校で24000円も低くなっています。

阿曾議員 「生保世帯でも就学援助世帯でも入学にかかるお金は同じであり、この差額をつめる意味でも入学準備金の引き上げが必要だ」

荒澤教育長 「文部科学省の基準や、他の自治体の動向も注視し検討している」

一斉休校中の 給食費は 今からでも支給を

荒澤教育長 「文部科学省の基準や、他の自治体の動向も注視し検討している」

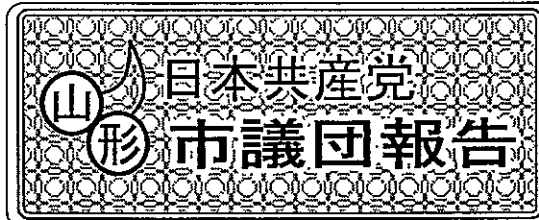
いつせいい休校によって給食がなくなったことから、生活保護世帯の児童にはその食を保障するために給食費相当額が支給されました。しかし就学援助の必要保護児童には手当がされず、低所得で子どもが多い家庭ほど食費の負担が重くのしかかりました。

阿曾議員 「朝日新聞によると全国の県庁所在地都市、政令市、東京23区、併せて74市区のうち3割が就学援助世帯児童に給食の代わりに昼食代を支給したという。また確実に子どもの食事を援助するとして神戸市などはコメやレトルト食品などの現物支給をおこなった。コロナ禍で学校から子ども姿が見えなくなる中で、子どもの食を何とか支えようという自治体の苦心が見て取れる。山形市もこうした対応ができたはずだ。予算化されているのだから、さかのぼって今から支給することも問題ないと考える」

荒澤教育長 「給食費は実食した分を支給する考え方だ。今後、臨時休校については他自治体の動向をみて検討。夏休みの短縮で、給食提供日が大きくは変わらない見込みのため、さかのぼって支給はしない」

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 10月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

7月豪雨災害

河川整備、農業被害支援、私有地への対応等

西部4地区振興会協議会が対策求め緊急要望 阿曾隆市議が参加



宮部西山形振興会会長が要望書を副市長へ
 右から2番目が阿曾市議

を聞いて、それぞれの地区の被害状況や防災の課題を話し合っ
 た。市に緊急要望を出し、協議して対策を求めた。阿曾市議は、被災者の苦しみや不安を代弁し、具体的な課題について陳情しました。

西山形では、小学校前のとがみ川護岸の崩落、七つ松地区の崖崩れが特に大きな被害で、住民に不安を与えていること。安心して暮らせるように対策を求めました。

本沢地区は、本沢川の対策と、農業被害ではブドウ農家の被害の実態を訴え、村木沢、大曾根からも須川のはん盗による農地被害、避難所運営などについて実情が訴えられました。

高倉副市長は、「伺った個別の問題にもできるだけ対応していきたい」と話しました。

本沢、西山形、村木沢、大曾根の須川西部4地区振興会協議会は9日、7月28日の豪雨災害の被害対策について、緊急要望を行いました。

4地区の振興会会長が市役所を訪れ、高倉副市長と面談、要望書を手渡しました。これには阿曾隆市議、石沢秀夫市議が参加しました。

7月豪雨ではとくに西部4地区に大きな被害をもたらしました。4地区内を流れる5つの河川をはじめ、農地や林道、山林など至る所で水害や土砂災害に見舞われ、復旧工事は緒に就いたばかりです。

振興協議会は8月28日に会議

要請書は▽くり返し被害の生
 まれている本沢川で、本沢橋の
 掛け替え工事を含めた河川整備
 計画を県と協力して示してほし
 い▽農業被害では災害を機に離
 農廃業などにならないよう支援
 策を▽補助制度の対象にならない
 個人の宅地や崖などの被害に
 も何らかの対応を▽避難所にパ
 ーティション、消毒液、体温計な
 どの装備を配備してほしいなど。

西山形振興会長の宮部保夫会
 長が要望書を手渡し、懇談しま
 した。

懇談では、それぞれの会長が
 具体的課題について陳情しまし
 た。

教員の変形労働時間制は導入しない 教育長が答弁

9月定例会 阿曾隆市議が一般質問 (主な質問内容)

▽就学援助制度について
 東日本大震災被災者・原発避難者
 世帯への支援継続、認定基準の拡大、
 入学準備金の準要保護世帯への増額
 を求めました。

▽子どもの貧困と健康格差―学校歯
 科検診の実施状況と口腔崩壊児童の
 把握状況を質しました。

▽教員の働き方改革、多忙化解消
 教職員の時間外労働・授業時数の
 編成実態を質し、スクールソーシャル
 ワーカーの配置を求め、勤務時間
 管理のシステムがないことを指摘し、
 変形労働時間制を導入しないよう求
 めました。

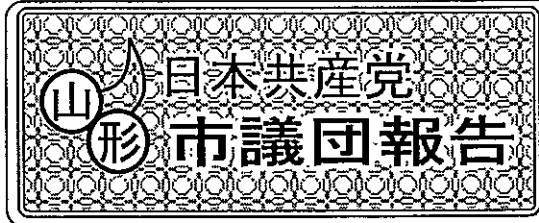
▽市営住宅について
 低所得者の住居確保の障害になっ
 ている保証人規程の削除、家賃の減
 額免除制度の拡充、入居者の負担軽
 減のため修繕区分の見直し、ガス風
 呂の修繕・交換での安全対策を求め
 ました。

*詳細は次回報告します。



9月16日、阿曾隆市
 議が、日本共産党山形
 市議団を代表して、一
 般質問を行いました。

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 10月10日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

9月定例会日程

10日	本会議・開会☆
15日	本会議・一般質問☆
16日	本会議・一般質問☆
17日	決算・予算委員会☆
18日	決算分科会
23日	決算分科会
25日	予算分科会
28日	常任委員会
30日	決算・予算委員会☆
	全員協議会☆
10月2日	本会議・閉会☆

※☆印はネット中継あり

9月定例会開会 令和元年度決算 コロナ対策、豪雨対応含む補正予算を審議

9月定例会は、9月10日開会、10月2日閉会の予定で、令和元年度決算4議案、補正予算2議案、事件・条例3議案が提出され審議されます。

令和元年度決算は、小中学校のエアコン設置や就学援助の入学準備金の入学前支給の実現など市民の要望が反映した内容を含み、3歳以上児の保育料無償化やGIGAスクール構想など国の大きな事業もあり、歳入総額1010億5000万円、歳出総額982億2400万円となっています。

補正予算では、市独自のコロナ対策第4弾としての、特別定額給付金の基準日以降に生まれた子の母に対し10万円を支給する事業、山形駅西口にバスベイを整備する設計委託料、県の補正予算による、保育士や学童支援員への慰労金、7月豪雨の復旧関連予算などが計上されています。


他に除雪車の購入、道路橋整備工事の2件と、コロナ対策としての防疫手当特別について審議されます。ぜひみなさんのご意見をお寄せください。

阿曾隆市議が一般質問 16日(水)

午後2時頃から
 前の質問者の終了時間によって開始が早まる場合があります。

質問内容

- ・教員の多忙化解消
- ・就学援助制度
- ・市営住宅について
- ・その他



済生館ボランティアの感染について

厚生委員会

厚生委員会が7日に開かれ、市立病院済生館のボランティアの感染について報告が行われました。

感染者の70代男性は8月24日夕方から発熱、24日、26日、27日とボランティアに従事し27日に医療機関を受診、PCR検査で陽性が確認されています。

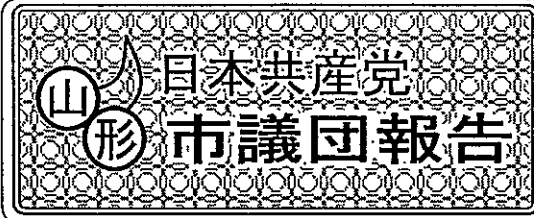
済生館では485件の相談のうち、111人について無料でPCR検査を実施(民間の検査機関へ委託)7日現在で判明している76人は全員陰性でした。これまで院内での聞き取りシートで対応してきたものを玄閣でのサーモグラフィによる検温に変更したと報告されました。

委員会では多くの委員から、これまで玄閣での検温をしてこなかったことが追及され、あき子議員も「体制の見直しの内容が、『院内において測定』『出勤前検温』『入館前検温』とバラバラだが、職員でも業者でも何となく入れる状況ではダメ。他の機関では、入り口で検温して、どこから来たかや要件を聞かれるところもある。他の医療機関のとりくみは参考にしたいのか。また、中核市として市独自の検査体制を早急にととのえるべき」と発言しました。済生館管理課長は「5か所の医療機関のとりくみを参考にしたい」と答えました。

質疑の中で、ボランティアは現在23名で週1回程度、希望の曜日の午前中に3時間程度とりくんでおり、今回感染された方は週2回だったが、休めない状況ではなかったとの答弁もありました。

佐藤あき子市議

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症・水害でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話(642)4313
 今野 誠一 船町161 (684)9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641)8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645)2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 9月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

学校給食用炊飯施設 令和4年稼働開始

9市町が参加を検討 4市町は参加せず

8月26日の産業文教委員会、山形市が整備をすすめる(仮称)学校給食用炊飯施設建設事業の進捗状況について報告がありました。

同事業は沼木の学校給食センター駐車場に、学校給食の米飯を常時3万食、最大4万食提供可能な施設を建設し、山形市をはじめ東南村山、北村山地区までの10市町に配送するというもの。来年度には建設工事にはいり令和4年4月に稼働開始を見込んでいます。

これまで7、8月にかけて、参加を呼びかけた13市町に意向を確認した結果、4市町は自校炊飯のため参加せず、9市町(上山、寒河江、天童、東根、村山、河北、中山、山辺、大石田)が協議に参加すると表明があったといい、8月7日と27日にそれぞれの関係市町部課長会議などを開催したといいます。

今後、来年度予算にむけ各市町において合意調整をはかるというスケジュールを示しました。建設費は約10億円。コスト計算もされていないという批判をうけ、今回建設費用、運用費用の20年分を試算し、自校炊飯には一校ごとの水光熱費や2人分の人件費がかかるため、20年間でみると約2倍のコストになると報告しました。

これに対して阿曾隆市議は、①災害時に学校にコメと炊飯設備が備わっていることは有用だと思いがあくまでコスト優先という考えなのか、②構想が、どこでどういうプロセスで決められたのかわからない。給食利用者である子どもや保護者の意見を聞いていない、③地産地消も進んでいない。保護者、生産者もふくめて山形市の学校給食のありかたをきちんと協議していく仕組みをつくるべき、などと質疑しました。

他の委員からは、基本構想が実は6月にできていたにもかかわらず、8月末まで委員会に示されなかったことに対し、「議案を軽視するようなやりかたには問題がある」と批判が出されました。

本沢、西山形、村山、大曾根の4地区でつくる須川西部4地区振興会協議会が28日開催され、西部地域の課題について協議しました。これには阿曾隆市議と石沢秀夫市議が出席しました。

最初に、東北中央自動車道山形パーキングエリアに設置が決まったスマートインターチェンジの概要について、市の関係部署、NEXCO東日本から説明をうけました。

スマートインターには、市道西部工業団地、村木沢線から接続道路をつくって連結します。話し合いの結果をまと約し、11月4日の市長要望にむけて要望書を提出します。

豪雨災害
スマートインター
有害鳥獣対策
少年高齢化

11月市長要望へ要求出し合う

須川西部4地区振興会協議会

子高齢化や有害鳥獣対策などそれぞれの地域課題と、7月28日の豪雨災害での被害状況、避難所の問題や危険箇所対策などを出し合いました。

避難所の問題や危険箇所対策などを出し合いました。

話し合いの結果をまと約し、11月4日の市長要望にむけて要望書を提出します。

9月定例会

9月10日開会
 10月2日閉会

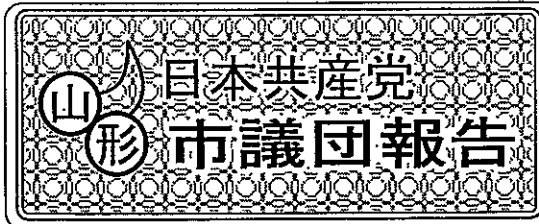
阿曾隆市議が一般質問



15日(火)
 または
 16日(水)

詳しい日程は、後日決まります。お問い合わせください。

- 質問内容
- ・教員の多忙化解消
 - ・就学援助制度
 - ・市営住宅について
 - ・その他



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 9月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

7月豪雨の爪あとにまだに 西山形 七ツ松地区 暮らしの安心へ 国・県・市での公的支援を



阿曾隆市議、高橋衆院議員と現地視察

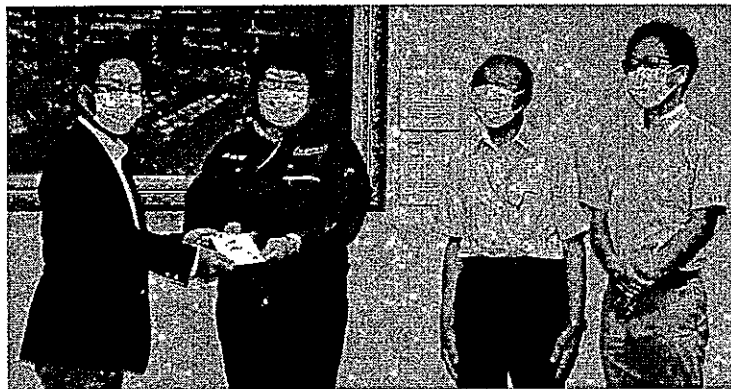
7月28日の豪雨災害で市西部の県道17号沿いに大きな被害が出ました。
 西山形七ツ松の土砂崩れ現場では、二次災害を防ぐためのブルーシートや土のうが積み重ねられ、滑落した車庫など痛々しい状態のままです。
 8月12日、日本共産党の高橋千鶴子衆院議員(国土交通委員)が現場を訪れ、阿曾隆市議、渡辺ゆり子県議と共に現場を視察し、住民の要望を聞きまし

た。前日も強い雨が降り、市道をふさいでいる土砂はさらに1メートルほど押し出されています。住民からは「土砂崩れ現場の下の方にはさらに住家があり、安心して暮らせる対応をお願いしたい。個人や集落の力ではなんともならない」と訴えがありました。
 高橋衆院議員は被災へのお見舞いをのべるとともに、「公共事業としてやれるように、どんな対策がとれるのか、国が県や市にきち

土砂崩れ現場を視察 左から高橋衆院議員、阿曾市議

んと示せるように国に働きかけていく」とはなしました。阿曾隆市議は、その後市当局に現状を伝えながら協議。市道部分に流出している土砂と小屋の撤去、土砂を止める応急工事を先行してやるように求めました。

山形市へ豪雨災害義援金



義援金の目録を手渡し 右から阿曾市議、今野市議、高橋衆院議員

12日、党市議団は、「2020年豪雨災害」への党中央委員に寄せられた救援募金から、山形市への義援金を高倉副市長に手渡しました。七ツ松の災害現場を視察に来ていた高橋ちづ子衆院議員も同席し、懇談しました。

高橋衆院議員は「水害は、九州もそうだが、被害が日増しに明らかになる。住民が気がついて指摘している。国へ要望を出してほしい」と述べました。
 また、新型コロナウイルス感染症の対応で高倉副市長は「保健所の設置に市の負担を心配する声もあったが、保健所があったおかげで、市で対策を決めることができた。中核市になって、一番良かった点。感染症に強いまちづくりをしていきたい」と語りました。
 以前、国の政策で県内の保健所が減らされた際、共産党は、保健所を減らすなと訴えてきました。
 党市議団は、災害復旧、保健所の充実に、力を尽くします。

9月定例会日程

- 10日(木) 本会議・開会☆
 - 15日(火) 本会議・一般質問☆
 - 16日(水) 本会議・一般質問☆
 - 17日(木) 決算・予算委員会☆
 - 18日(金) 決算分科会
 - 23日(水) 決算分科会
 - 25日(金) 予算分科会
 - 28日(月) 常任委員会
 - 30日(水) 決算・予算委員会☆
 - 全員協議会☆
 - 10月2日(金) 本会議・閉会☆
- ※☆印はネット中継あり

党市議団からは、阿曾市議が一般質問を行います。

9月定例会の請願締切は、8月31日(月)

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

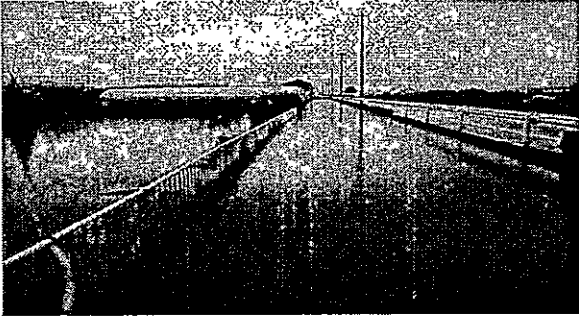
無料法律生活相談

次回の相談会は、
9月12日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

豪雨被害 内水被害への対策を 金井・大郷地区



冠水した畑



水路の溢水で冠水した農地とハウス

7月28日の大雨による山形市内の被害では、1日の降水量が155.5ミリ(緑町・气象台)と

29日朝から船洗に住む本間党県委員長と被災者、町内を見舞うとともに、要望を聞き対応を市に求めました。床上浸水宅の住居の確保、災害ゴミの回収、床下の消毒、庭先や道路の泥の片づけ、側溝へ堆積した泥の流し出しなど早い段階での解決に到りました。

金井地区の船洗・志戸田地区では、須川の水位が住宅側に逆流する高さを超え、水門を閉じることによる内水の水位が増し、床上・床下浸水、道路や畑の冠水が、地元の人によると「今まで経験したことのない」状況になりました。

いう中で、幸いにも人的被害はなかったものの、市西部の降水が激しく、道路・河川・農林関係の破壊と須川下流での内水被害による浸水被害が大きくなりました。

29日朝から船洗に住む本間党県委員長と被災者、町内を見舞うとともに、要望を聞き対応を市に求めました。床上浸水宅の住居の確保、災害ゴミの回収、床下の消毒、庭先や道路の泥の片づけ、側溝へ堆積した泥の流し出しなど早い段階での解決に到りました。

この件は下流の大郷地区でも、長年地区の要望として出されておりましたが、31日に行われた大郷地区の市長交渉の席でも、今野誠一市議は「今回の実情を検証し、排水ポンプ場・ポンプ車の配備を国にさらに要望してほしい」と求めました。

中でも須川沿いの住民から長年要望されている常設の排水ポンプ配備について「今回も排水ポンプ車の稼働となったが、来るのが遅く、また能力も限られている様で不安だった」との声があり、国交省へのさらなる要望を求められました。

脱プラスチックとサーマルリサイクル (焼却熱利用)



立谷川エネルギー回収施設

山形広域環境事務組合7月定例会が31日開催され、令和元年度決算認定と工事請負契約2件を全会一致で承認しました。

成果報告でペットボトルの搬出量や可燃ごみが年々増加していることに對し、今野市議は「国際的な海洋プラスチックごみ問題で脱プラスチックへの動きがあり、政府も2022年度以降市町村にプラスチック資源としての一括回収を要請する方向を出している。新清掃工場はエネルギー回収施設として、サーマルリサイクルで、分別後のプラスチックを助燃材として焼却し、

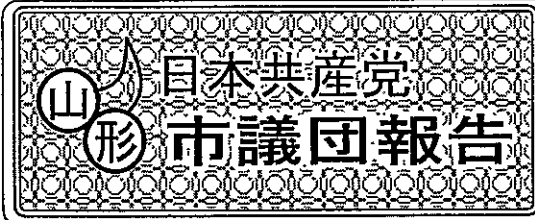
立谷川エネルギー回収施設

さらに「それぞれの自治体でプラスチックごみの減量化に取り組みことになると思うが、焼却炉の負担を減少させるということでは、広域組合として、何らかの取り組みをしてもよいのでは」と質したのに対しては「広域としては何ができるのか検討してみたい」と述べました。

工事請負契約では、半郷清掃工場解体・撤去工事は約8億8900万円、千歳建設・愛和建设工事共同企業体が令和4年3月までの工期で落札し、締結することに決しました。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 9月12日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

記録的大雨で 浸水、土砂災害が広範に 避難指示

29地区に避難勧告・指示



七つ松崖崩れについて対策を要請する
 阿曾市議(左)と渡辺県議=3日、県村山総合支庁

「7月豪雨」では、
 西山形、本沢、村木沢
 など西部地区など5地
 区で避難指示が発令さ
 れ、不安な一夜を過こ
 しました。
 一夜あけると大きな
 被害が明らかに。本沢
 川、とかみ川はじめ河

県・市に要望とどける 西部地区は被害が甚大

7月28日の大雨は、土砂災害や低い土地への浸水、河川のはん濫など山形市でも大きな被害がありました。警戒レベルは4で避難勧告が24地区、避難指示が5地区に発令されましたが、幸いに人的被害はありませんでした。8月3日時点で判明している被害は、住家や施設の浸水等138件、土砂崩れ15件、道路、河川の土木被害89件、農業

川の護岸被害、はん濫や土砂崩れが多数でま
 した。
 裏山から宅地に土砂
 が流入、テラウエアの
 ハウスが土砂で倒壊
 (漆房)、湯田橋周辺
 で床上浸水、本沢橋の
 橋脚崩壊(長谷堂)、
 農業用水路の崩落など
 (こけ沼、宮堰、水方
 土地改良区)、林道に
 田沢線、キワダ線の崩
 落、飲料井戸被害(芳
 沢)、須川沿いの畑地
 冠水(西山形、村木沢、
 反田)、その他果樹園、
 農道、林道被害、個人
 の畑地など。
 阿曾隆市議は市当局
 との橋渡しとして、現
 場を走り回り連日奮闘
 しています。

富神川、本沢川 七つ松崖崩れ

県の河川課、道路課に対応を要請

被害133件となつていま
 す。とりわけ農林関係の被害は広範にわたり、まだ全容は明らかでありませ
 ん。党市議団は被害状況の確認や被災者への見舞い、災害復旧への対応など奮闘しています。

阿曾隆市議は2日、
 渡辺ゆり子県議とともに
 本沢川、富神川の崩
 落現場と西山形七つ松
 地区の崖崩れ現場を視
 察し、3日には県総合
 支庁に対応を要請しま
 した。
 本沢川、富神川につ
 いて災害応急復旧の現



床上浸水の水位を示し被害を訴える被災者
 29日、本沢・長谷堂

状を聞いたうえで、富
 神川では県が把握して
 いない護岸の崩れ2カ
 所について再調査を要
 請。西山形の大川橋上
 流では護岸の下がえぐ
 られた状態。また、富
 神川に並行する宮堰の
 取水口崩落について、
 県の河川復旧事業で対
 応するよう強く求めま
 した。

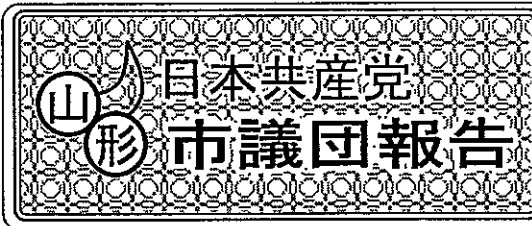


七つ松の崩落現場を視察する阿曾市議
 真ん中にあるのは土砂で滑り落ちた小屋

七つ松では県道下の
 崖が崩れ、車庫と小屋
 が民地や下の市道に滑
 り落ちていきます。
 大雨で県道からあふ
 れ出た水によって崩落
 したものとみられ、県
 道の安全維持や下の七
 つ松集落の安全のため
 に再発防止工事をする
 よう求めました。

県道路課では当初、
 「県道部分の被害では
 ないので県で対応はで
 きない」との対応でし
 たが、「今後の雨でさら
 らに崩れば県道に影響
 する」との指摘に、
 「今日指摘も受けたの
 で、もう一度現場に行っ
 て検証したい」と回答
 しました。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 8月8日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

「感染予防・経済活動両立支援」の第3弾の財源と対応

経済状況さらに深刻 新たな対策の財源確保も

総務分科会 今野 誠一 市議



今野誠一市議は、7月臨時会へ提案された「感染予防・経済活動両立支援」の第3弾の財源、国や県の対策との関連、今後の対応などについて質しました。

これに対して当局から「県の6月補正の内容は事前におおまかに示されており、市の6月追加補正や、今議会ですでに取り組んでいる事業もあり、これから実施すべきかどうかは財源のあて方も含めて判断していく」とし、9月議会に向け、検討していくとの回答がありました。また、これまでの支援策の

市民への周知や活用
 の進捗状況、7月以降のイベントの中止に伴う予算の減額については「経済対策については広報課と連携をとり、また庁舎入口への掲示などで利用を促している。また、予算の執行状況については、期限や上限のあるものなど実績をみながら調整していく。また、これからの大きなイベントの中止や、代替なども出てきており、9月議会に減額補正していくことになる」との回答がありました。

国からの地方創生臨時交付金の活用もあり方や、今後の計画については、「一次と二次の補正で合わせて約26億8700万円が配分されており、7月末までに約21億9400万円を計上している。まだ4億9300万円

が未計上となっているが、使い道が認められている対策に活用し、使い切りたいと考えている」との回答がありました。

感染拡大の不安も広がる中、経済状況はさらに深刻さを増している現実があり、新たな対策にも財源の確保がいよいよ重要になってきています。

また、市民生活にも影響が及んでいる中で、さらに「相談や申請などで、庁内の窓口が混み合っており、職員の対応が雑になっているとの市民の声もある。特に福祉関係の窓口は深刻・複雑な相談もあり、対策をとってほしい」と要望しました。



感染震源地(エピセンター)の徹底検査を

日本共産党は28日、「新型コロナウイルスの感染急拡大は、きわめて憂慮すべき事態となっている。(これを)抑止するには、PCR等検査を文字通り大規模に実施し、陽性者を隔離・保護する取り組みを行う以外ない」として、次の4点を政府に要請しました。

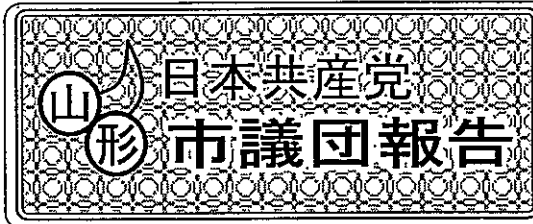
- (1)感染震源地(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対してPCR等検査を実施すること。
- (2)地域ごとの感染状況の情報を住民に開示すること。
- (3)医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を行うこと。
- (4)検査によって明らかになった陽性者を隔離・保護・治療する体制を緊急につくり上げること。

日本共産党
 新型コロナ関連
 特集ページ



*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 8月8日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例会、第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

7月臨時議会補正予算

経済効果高い さらに拡充をもとめる

市産材建築補助事業を追加補正

産業文教分科会 阿曾 隆 市議



山形市でも4、5月の住宅建築申請は前年比で41%も減少。木材加工のプレカットシステムでも6月で4割減、7月は半減

山形市で産出された木材を一定量つかって建築された住宅などに補助金を出す「市産材利用拡大促進事業費」が550万円追加されました。

補正予算では、山形市で産出された木材を一定量つかって建築された住宅などに補助金を出す「市産材利用拡大促進事業費」が550万円追加されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、4、5月の住宅建築申請は前年比で41%も減少。木材加工のプレカットシステムでも6月で4割減、7月は半減

山形市でも4、5月の住宅建築申請は前年比で41%も減少。木材加工のプレカットシステムでも6月で4割減、7月は半減

新型コロナウイルス感染症の影響で、4、5月の住宅建築申請は前年比で41%も減少。木材加工のプレカットシステムでも6月で4割減、7月は半減

新型コロナウイルス感染症の影響で、4、5月の住宅建築申請は前年比で41%も減少。木材加工のプレカットシステムでも6月で4割減、7月は半減

障がい・介護事業所の業務継続への支援

クラスター発生を防ぐ対策を

厚生分科会 佐藤 あき子 市議



臨時議会の予算分科会で、障がい福祉施設、介護保険事業所で感染者が発生した際、利用者受け入れに係る人員確保への補助が審議されました。事業所へのアンケートでは、480事業所のうち312事業所から回答があり、(利用者の受け入れなどの)連携の予定がない事業所が184施設で59%になっている実態があらわになりました。

臨時議会の予算分科会で、障がい福祉施設、介護保険事業所で感染者が発生した際、利用者受け入れに係る人員確保への補助が審議されました。事業所へのアンケートでは、480事業所のうち312事業所から回答があり、(利用者の受け入れなどの)連携の予定がない事業所が184施設で59%になっている実態があらわになりました。

臨時議会の予算分科会で、障がい福祉施設、介護保険事業所で感染者が発生した際、利用者受け入れに係る人員確保への補助が審議されました。事業所へのアンケートでは、480事業所のうち312事業所から回答があり、(利用者の受け入れなどの)連携の予定がない事業所が184施設で59%になっている実態があらわになりました。

臨時議会の予算分科会で、障がい福祉施設、介護保険事業所で感染者が発生した際、利用者受け入れに係る人員確保への補助が審議されました。事業所へのアンケートでは、480事業所のうち312事業所から回答があり、(利用者の受け入れなどの)連携の予定がない事業所が184施設で59%になっている実態があらわになりました。

佐藤あき子市議は「感染者が発生した場合の業務継続」という補助内容に納得できないと述べ、

「生活介助では密着せざるを得ず、ワンケアごとの消毒など実際にはできない。感染者や濃厚接触者が出たら閉鎖の判断を適切に行ってほしい」と職員の声がある」と実態を紹介し、クラスターの発生を防ぐ対策を求めました。

担当課長から児童市など他の自治体のクラスター発生事例について説明があり、「必要な対策を検討する」との答弁がありました。普段から人員不足で待機者も多い福祉施設の現状から、入所施設の閉鎖や利用者の分散などができず、クラスター発生につながっている様子があるが、福祉の脆弱な実態があらわにされ、それを前提にした国の補助内容に怒りを感じます。

担当課長から児童市など他の自治体のクラスター発生事例について説明があり、「必要な対策を検討する」との答弁がありました。普段から人員不足で待機者も多い福祉施設の現状から、入所施設の閉鎖や利用者の分散などができず、クラスター発生につながっている様子があるが、福祉の脆弱な実態があらわにされ、それを前提にした国の補助内容に怒りを感じます。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

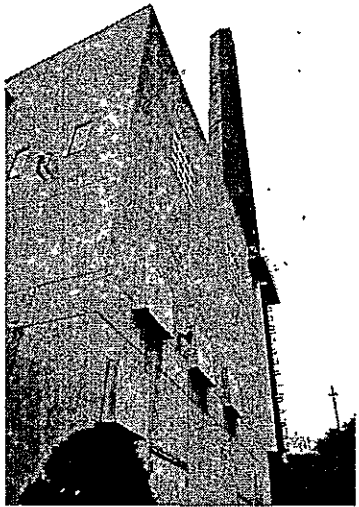
山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A、(641) 8640
 阿普 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 8月8日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例会 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

半郷清掃工場解体へ

山形広域環境事務組合



半郷清掃工場

山形広域環境事務組合定例会(7月31日)に向けての議員協議会が17日行われ、終了後、解体工事を予定している半郷清掃工場と、改修工事を計画している山形広域クリーンセンター(沼木)を視察しました。

半郷清掃工場は、昨年末に稼働を停止しており、令和4年3月までの工期で解体・撤去する予定です。

定例会で施工業者が決定されます。予算は約9億円で、組合債を財源とし、山形市の負担割合は約85%です。元来、山形市の施設・設備を平成27年から事務組合が譲り受けていたため、建物周辺の土地調査を行いましたが、一部で鉛の含有が認められたものの、ダイオキシン類はすべての箇所ですべての箇所で基準値未満でした。解体工事では建物に当時は使用されていた(昭和53年竣工)アスベストの除去に約2億円必要とされているとのことでした。

解体後の跡地利用は、所有者である山形市が行います。隣設する焼却残渣などを埋め立てたグラウンド(廃棄物処理法で県指定)は過去に地元住民からの不安に対し、党市議団が政務調査として、下流の水や水田の土壌のダイオキシン検査を研究施設に依頼し、基準値未満を確認した経過もあります。

山形広域クリーンセンターは、設備の老朽化や下水道の普及などにより、し尿の搬入量が減少(処理能力の約30%)しているため、将来的に約25%の施設としてこれまでの河川放流としていた処理水を、村山広域下水道(天童市成生)への放流(接続)とする方式に変更するための改修工事で汚泥の脱水化をすすめる、川口・立谷川のエネルギー回収施設の焼却炉の助燃剤に利用するとしています。

この大規模改修は、令和3年7月から工事を始め、令和6年4月の供用開始を目指すとしています。

山形市新型コロナ対策相談ダイヤル

経済対策相談ダイヤル

TEL:023-641-1237・TEL:023-666-8338 (受付時間:平日午前9時~午後5時)

事業主の皆さんへ雇用や資金繰りについて支援に関する相談を受け付けます

新型コロナウイルス感染症の相談窓口

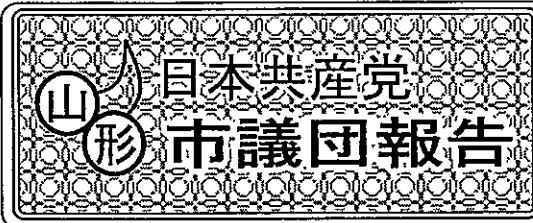
感染が心配なとき: 受診相談センター TEL:0120-88-0006 (24時間対応)

不安に思うとき: 一般相談センター TEL:0120-56-7383 (受付時間:午前8時30分~午後6時)

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

メールアドレス: 0236424313@ams.odn.ne.jp は、8月から使えなくなります。現在のアドレスは上記です。ご了承ください。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 8月8日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

1人1台のタブレット支給のGIGAスクール構想 コロナ禍で前倒し

公教育の画一化のおそれ



産業文教委員会

阿曾 隆市議

産業文教委員会で、阿曾隆市議は懸念される点について意見を述べました。主な質疑の要旨は次のとおりです。

阿曾：タブレットPCを使っただけの個別学習中心になると、集団の中で豊かな人格の形成をめざすというこれまでの教育の形が変わってしまうのではないかと懸念される点について意見を述べました。主な質疑の要旨は次のとおりです。

教育長：個別化する教育と集団的学びは並行して大切にしていく。タブレットは学びを深めるツールとして活用し、学校以外の「居場所」でも学習を支援できるようになる。
 教員が子どもに向き合う時間少ない、業務量が多いのはそのとおり。

阿曾：PCをつかった教育になじまない子どももいる。PCを使う使わないという教員の裁量はあるのか、勤務評価などのペナルティの対象になるのか。

学校教育課長：PCが苦手という子どもがいるのは事実。ペナルティは考えていない。

阿曾：クラウドに蓄積したこどもの教育データ（学習ログ）の取扱いをどうするのか明確でない。個人情報である学習データは卒業時に削除すべき。

学校教育課長：大きな問題だと考えている。タブレットの中のデータは当面卒業で削除するが、学習情報データはクラウドのなかに残される。個人情報保護法に則ってしっかり対応していきたい。
 国は幼少時から成人になるまでデータを蓄積していく方向だとしているので、取扱いは今後の検討が必要だ。

国がすすめる「GIGAスクール構想」は、情報通信技術（ICT）や先端技術をつかい、ひとり一人の学習傾向やスポーツ・文化活動などのデータを分析して、それぞれの子どもに「最適化された教育」を提供するというものです。「学習データを企業も活用できるように」「人材スキルを育成し経済成長」などと、財界や経済産

業省の提言が強く反映。公教育への企業参加がさらにすすめられ、集団的な学びがおろそかになり、教育が画一化するおそれがあると指摘されています。
 「個別最適化された学び」のために、1人1台のタブレット端末を児童生徒1人に1台ずつ整備します。

山形市では今年から5カ年計画で整備予定でしたが、コロナ感染症による一斉休校などをうけ、前倒して今年度中に全ての子どもに1台ずつ配備する計画です。
 ICTをいかした教育も必要ですが、教師の充実した指導やそのための条件整備を抜きにしては豊かな学びは実現できません。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

今回の相談会は、
8月8日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

新型コロナで家計が急変した世帯へ 就学援助制度の対象拡大

さらなる制度の改善を求める

産業文教委員会

阿曾 隆 市議



新型コロナウイルス感染症による突然の一斉休業では、子どもたちの学びや成長をどう守っていくのかが大きな課題でした。

**利用しやすい
制度に**

経済的に困難な世帯の義務教育に係る学用品や給食などの費用を援助する就学援助制度もそのひとつ。新型コロナの影響で家計が急変し、新たに就学援助の対象になった世帯が17世帯(6月19日時点)だったことが6月22日の産業文教委員会で報告がありました。

通常は前年度の収入などをもとに認定を判断するものですが、前年所得の多い方でも新型コロナの影響をうけ直近の収入

が激減した世帯を対象に加えるもので、柔軟な対応をするよう阿曾隆市議も求めているものです。

ただ、もともと認定の基準は大変厳しく、申請にもさまざまハードルがあるため、必要な人が十分に利用できていない状況とはいえません。

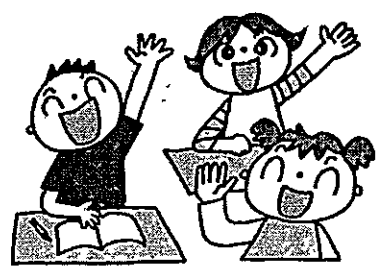
今回も相談は105件、申請は30件ですが認定は17件にとどまっています。

阿曾市議は「認定基準が複雑で周知がわかりにくい。そのため、労力と時間をかけて申請しても結局却下となる人もいます。また学校をとおして周知や申請をつけるというやり方もコロナ禍のなかでは時間もかかるし合理的でない。コロナは長期戦なのでさらなる制度改善を」と求めました。

食の支援

さらに阿曾市議は、経済的に困難な児童生徒への食の支援はどうだったのか検討の経過と対応を質しました。

長期の休校で給食がなくなり、十分な栄養がと



べていないのだから支給しなくてもよいということでない。見直してほしい」と要望。休校中、市では、生活保護世帯の児童生徒には食費として支給されていたが、生活実態があまり変わらない就学援助の児童生徒には支給されなかった、このような差があつていいのかが改善を求めました。

学校教育課長は「いろいろな自治体に尋ねたが、特別なケアをしていない自治体が多かったため今回は見送ったが、今後の課題だ」と答弁。阿曾市議は、全国県庁所在都市、23区、政令市の3割でとり組んでいるとする報道を示し、「学校から目が届かなくなった子どもたちの食を支えたいという思いの表れだ。給食を食

就学援助制度とは・・・

経済的に大変な家庭の家庭の小中学生に、学校生活に必要な費用を援助する制度。

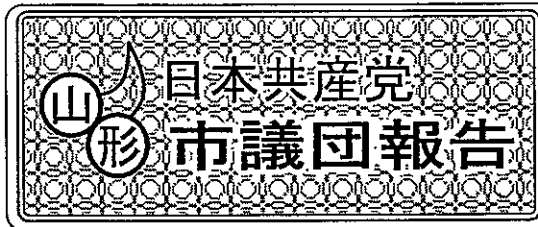
山形市の援助の主なもの

- ・新入学児童生徒学用品費 (小・50,600円、中・57,400円)
- ・給食費(保護者負担分)
- ・修学旅行費(上限額 小・21,670円、中・60,300円)

その他、学用品、体育実技用具費などがあります。

*生活保護などを基準にした所得基準があります。

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール yamagatashigidan@gmail.com (新アドレス)
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 8月8日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

感染予防の徹底を

(「ミニミニマイセンタ―の場合」)

「東京由来」の感染拡大がじわりじわり迫っている中で、日常活動の再開、経済活動の拡大が進められています。しかし、感染予防が前提であり、しっかりと対策をとらなければなりません。市民活動活性化に大きな役割を果たしている地区のコミュニケーションセンターも、使用許可にあたって、感染拡大予防の取り組みをエックリストで確認しています。その中で「咳やくしゃみ、発熱など感冒の症状がある人」は利用しないようにしています。その際、使用団体が利用者事前の検温を求めたり、入館前の検温等の対応をとっています。

そこで非接触型体温計が必要となりますが、コミセンでの対応はそれぞれとなっており、心配の声が出されています。



ます。人数が多い団体などは、広報課を通して保健センターより貸し出しを受けたりしていますが、コミセンに配備してほしいとの声が多くあります。コミセンによっては、市からの運営委託費の中から備品として買い求め準備しているところもあります。

6月議会で予算化された避難所となるコミセン(防災支部)への配備(8月導入)は、「避難所」となった時点で利用できませんが、平時の利用は不可としています。コミセンの取り組みで8月1日以降の利用は、使用人数の上限や、時間などで緩和の傾向にあります。拡大予防の取り組みはさらに徹底する必要があると、体温計が複数あってもよいのではないかと考えます。

利用者同士が安心して活発な活動ができるよう体制を整えるべきと考えます。なお8月1日以降のチェックリストでは、参加者の名簿の提出には「ご記入いただいた個人情報については、新型コロナウイルス感染拡大防止以外の目的には利用しません」の個人情報保護に基づき一文が明示されました。

困りごと何でもご相談ください 無料法律相談会

毎月原則第2土曜日に開催。日本共産党山形市議と弁護士が応じます。お気軽にご相談ください。

次回相談日 **8月 8日(土)**
9月12日(土) **10月10日(土)**
 時 間 **午前10時から**
 会 場 **日本共産党村山地区委員会事務所2階**
 山形市小白川町4-13-15 電話 642-4313

※ お急ぎで相談日が待てない場合、お気軽に上記電話番号へご連絡ください。

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

メールアドレス: 0236424313@ams.odn.ne.jp は、8月から使えなくなります。現在のアドレスは上記です。ご了承ください。

山形市議団報告

日本共産党

発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 8月8日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

6月定例会 請願審査結果

先生を増やしてほしい 豊かな学びや学校の働き方改革への願い 教員組合の請願 議長裁決で 不採択

6月26日閉会した市議会6月定例会の最終日本会議で、県教職員組合山形地区支部から出されていた「教職員定数の改善と義務教育費国庫負担を2分の1へ還元」を求める請願が採決されました。投票は反対賛成が同数となり、斎藤武弘議長は議長権限で否決としました。

いじめや不登校の問題、コロナ対策など問題が山積するなかで、国庫負担を3分の1から2分の1に戻し、国の責任で教員定数を増やすことが求められています。請願否決は豊かな子どもの学びを願う学校現場の願いに背を向けるものです。これに先立つ22日に請願を審査した産業文教委員会、阿曾隆市議は「学校の一番の問題は教職員

の多忙であり、いじめや不登校などの問題にも対応しきれない実態がある。さらにコロナ禍のなかで子どもたちの学習や生活状況にしっかりと目を向けていくためにも、極めて妥当な願いであり採択すべきである」と主張。市民連合、緑政会の委員も願意は妥当と賛成の意見を述べました。

自民新翔会の委員からは「教員定数の改善はされている。政府も努力している」などの意見が出され、請願に反対しました。委員会では採決の結果賛成4反対3で請願は採択されませんが、本会議で覆った形です。

そのほか、教職員組合からは「全国学力学習状況調査を抽式に改めること」「公立学校に1年単位の变形労働時間制を導入するための条例制定に反対すること」の2本の請願が、だされていきますが、いずれも委員会では継続審査となりました。



阿曾隆市議
 阿曾隆市議は、願意は妥当と賛成の意見を述べました。

総務委員会 西山形コミセン 工事着工へ

消防署の高規格救急自動車の更新一台にあたり、なせ入れではなく、一社のみの見積もり合わせになったのか質したのに対し、「三者による指名競争入札を予定していたが、二者が自動車の仕様を満たす製造業者の確保が出来ず、入札参加を辞退したため、一者との随意契約となった」との説明があり予定価格の99・97%で落札され、来年3月1

が決定価格となりました。特殊な装備が必要な車輛等の購入については、事前の十分な調査などで適切な入札が行われる必要があります。

西山形コミュニティセンターの建設工事請負契約については8共同企業体が一般競争入札に参加し、予定価格の90・61%（約2億700万円余）で落札され、来年3月1

日までの工期で着工されます。内部は、西部児童館が廃止されるのに伴い、その機能を引き継ぐ「こども部屋」が市内コミセンでは唯一設置されることになりました。西山形小が隣設されることから「放課後児童クラブ」としても活用が予定されています。

冤罪からの被害者救済のため 迅速な再審開始求める請願 継続審査

国に対し「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の採択・提出を求めることについては、総務委員会が今野誠一市議が「国家による人権侵害である冤罪から被害者を救済するための再審開始には高いハードルがあり、決定までには多くの時間がかかり、無罪となる判決への救済も進まない現状がある。その再審手続に制度の改正をもって迅速に開始されるよう法改正を求める願意は妥当で採択すべし」と主張しました。

これに対し、要旨にある「検察の不服申し立て（上訴）の禁止」は問題があり、不採択にすべきという意見がある中、請願者である、日本国民救

援会山形県本部と、日弁連・県弁護士会との関係や、再審法についてさらに研究が必要であり、継続すべし、の意見が出され、採決した結果、継続審査となりました。

また、「免税経由制度の継続を求める」と「台湾のWTO総会へのオプザーバー参加を求める」の意見書の提出については全会一致で採択し、委員会提出議案となり、本会議で採択されました。



今野 誠一 市議
 今野誠一市議は、願意は妥当と賛成の意見を述べました。

山形市議団報告

日本共産党

発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 電 (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 袖倉917 (645) 2911
メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
今回の相談会は、
7月11日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。



今野 誠一 市議

市独自の対策では、
国の持続化給付金の対
す。
6千万円となっていま
す。
0万円となり、国の二
次補正、県の6月補正
への対応では、約1億
6千万円となっていま
す。

総務分科会

最終日提案さ
れた、新型コロナ
ナ感染予防・経
済活動両立支援
(第2弾)に對
応する財源とし
ての地方創生臨
時交付金は第一
次分の6億4800万
円と合わせ、20億38
00万円が交付される
との説明があり、今回
市独自では約11億円が
活用され、前回までと
合わせ、約16億800
0万円となり、国の二
次補正、県の6月補正
への対応では、約1億
6千万円となっていま
す。

避難所での感染対策 県外在住学生支援事業

コロナ対策への補正予算

象とならない事業者へ
の応援給付金として、
約8億5500万円、
市内飲食店を支援する
プレミアムクーポン券
に約1億1700万円
が予算化され、約88%
を占めています。

各避難所担当の指名職
員を通して、十分対応
していくとの答弁が
ありました。
また、県の支援策へ
の対応では「県外在住
学生支援事業」で、
「ひとり暮らしで留守
が多い学生に、市の特
産品(食品)を確実に
届けられるのか」質し
たのに対し「見込みの
1550人には市内の
家族からの協力も得な
がら申請してもらい、
確実に受け取ってもら
えるよう進めていきた
い」との答弁がありま
した。

「今回は国のガイドラ
インを参考にしたもの
で、今後は状況をみな
がら検討・計画してい
く。管理については、

なお、県議会でも、
大型の補正予算がくま
れていることから、山
形市も7月臨時議会を
22日に予定しており、
対応されるものと思わ
れます。



佐藤あき子市議

国の法律改定により、
保育ママや小規模保育
は、3歳以降の受け入
れなどを行う「連携施
設」を確保することが
義務付けられています
が、これが不要とさ
れました。山形市で

は現在、市立保育園で
引き受けることも含め
すべての施設が連携施
設を確保しています。
あき子市議は「3歳
で再度入所先を探すの
は大変な負担だ。連携
を維持し、利用調整
で入れるようにして
ほしい」と主張しま
した。

新たなコロナ対策でも
明らかのように、保育
は中断できない就労支
援であるとともに、子
どもの命と発達を預か
る施設です。保育集団
が小さくなる保育ママ
や小規模保育の連携施
設をなくすのは、いざ
というときの対応を考
えても問題です。

連携施設必要ない？

保育ママ・小規模保育
担当課長は「生活保護
する「食の支援事業」

あるようだが、山形市
では現在連携がとれて
いるため、当面このま
ま運営したい」と答え
ました。

厚生分科会

追加補正予算
の中で、社会福
祉協議会に窓口
がある生活困窮
者自立相談は、
4月・5月に
けて例年の約10
倍の新規相談件
数があり、相談員2名
の増員が可決されてい
ます。また、県産米を
生活福祉資金の特例貸
付を受けた世帯に支給
する「食の支援事業」

は、市内の対象世帯が
6月20日段階で444
世帯にのぼることも明
らかとなりました。
あき子市議は「貸付
の返済がはじまった段
階で、地域経済が回復
していなければ、生活
保護の相談が増えるこ
とも予想される。社協
だけでなく、市の本庁
舎の窓口も強化すべき
ではないか」と主張。
担当課長は「生活保護

また、食の支援事業
が1世帯60キロの「は
えぬき」現物支給であ
ることについて、「県
の制度だとは分かって
いるが、世帯の状況に
合わないことなど、検
討したのか」と質問し、
課長は「業務用米の消
費拡大の側面もある」
と答えました。

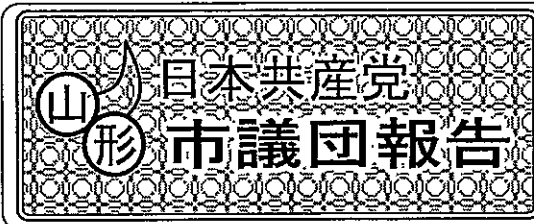
市の窓口も強化を

生活困窮者自立相談支援事業および食の支援事業 相談急増

が急が増えるとは考え
ていない」と答えまし
た。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 7月11日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

コロナ対策への補正予算 コロナ災害支援 6月定例会閉会

自営業者 農家など 事業継続給付金20万円が実現

党山形市議団の提案実る

市議会6月定例会は26日、17億8900万円の新型コロナウイルス支援策など補正予算を全会一致で議決し閉会しました。このなかで、国の持続化給付金の対象にならない事業者に20万円の給付金を支援（8億5500万円）、さくらんぼ緊急価格安定対策事業（1400万円）などが盛り込まれました。また保育施設職員への慰労金3万円や、児童扶養手当受給世帯などへの臨時給付金などが実現しました。

事業継続給付金は、国の持続化給付金が「売上げ前年比50%減」などの条件があり、対象にならない事業者への支援策が求められていたもので、党市議団が要請し、山形民商などからも強く要望が出されていたものです。今年3月～5月のいずれかの月の売り上げが、前年同月比で20～50%の範囲で減少した事業者に20万円を支給するもので、農家も対象になります。約4000事業者への給付を見込んでいます。申請の受付は7月中旬からです。

6月補正予算で実現した主なもの

- ▽事業継続応援給付金 8億5500万円
 - ・国の持続化給付金の対象外の事業者に20万円
受付は7月中旬から9月末まで
- ▽保育士等慰労金事業 7236万円 ・民間保育士2166人に3万円の報償費支給
- ▽ひとり親世帯臨時特別給付金 1億9000万円
 - ・児童扶養手当受給世帯、第1子に5万円、第2子以降3万円支給
 - ・児童扶養手当受給世帯でコロナ感染の影響で、家計が急変した世帯に5万円の追加給付
- ▽家庭学習のための通信機器整備支援 1600万円
 - ・全児童生徒へのタブレット支給に伴い、wi-fi環境の整備を支援
 - ・低所得世帯とコロナ感染で家計急変の家庭への貸し出し用モバイルルーター整備
- ▽さくらんぼ緊急価格安定対策 1400万円
 - ・JAなどが行う保証基準価格を下回った場合の再生産対策に市が上乗せ補助
- ▽生活困窮者への食の支援事業 2400万円
 - ・新型コロナの影響で失業・休業した生活困窮者に県産米を支給



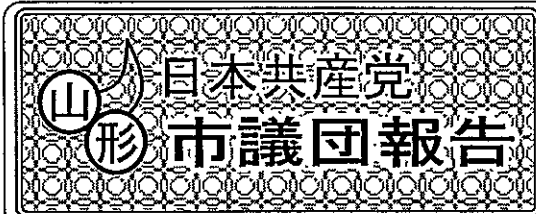
その他の対策（裏面に記事）

- ▽プレミアムクーポン券：1億1700万円
 - ・「コロナ対策宣言店」で使用できる3000円のクーポン券
(販売価格2000円)
 - 購入・使用期限は8月上旬から11月30日まで
- ▽県外在住学生への食の支援事業
 - ・東京など8都道府県に在住する山形市出身学生に農産物や加工品を送付
7月中旬から市内の保護者からの申請受付



みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

*裏面もあります



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 袖倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 7月11日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



佐藤あき子市議

個人情報保護制度の運用状況について報告があり、あき子市議は「新型コロナ対策で、市有施設利用者、住所や電話番号を含む名簿の提出が義務付けられているところ、個人情報保護に基づき取り扱いや、他の目的に使用しないこと」

市有施設での名簿提出 個人情報保護制度について 「揭示するよう通知する」

「新型コロナ対策で、市有施設利用者、住所や電話番号を含む名簿の提出が義務付けられているところ、個人情報保護に基づき取り扱いや、他の目的に使用しないこと」

が明示されていない」と改善を求めました。担当課長は「個人情報取扱事務の届けがさ

厚生委員会

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯の、国保税と介護保険料の減免制度について報告がありました。前年に比べ30%以上収入が減少し、

6月定例会 国保税・介護保険料の減免申請 申請しやすい丁寧な対応を

所得制限以下の場合、減免が受けられます。佐藤あき子市議は「申請書の枚数が多く、帳簿の提出など、国保税で該当する自営業者には申請しにくい。すでに申請を開始しているが、多くの方が申請

新型コロナ対策



今野 誠一 市議

「新型コロナ対策で、市有施設利用者、住所や電話番号を含む名簿の提出が義務付けられているところ、個人情報保護に基づき取り扱いや、他の目的に使用しないこと」

6月議会の補正予算では「新型コロナ感染症予防・経済活動両立支援」として第1弾約1億6千万円を計上しています。今野誠一市議は「これまでの市独自の対策の予算額の合計」を質したのに対し、当局から「5億7千9百万円」

総務分科会

新型コロナ対策として、山形市はこれまで「生活基盤支援・企業支援緊急対策」として、4月5月の臨時議会と併せて国・県の事業とともに「市独自の対策を第3弾まで予算化しました。6月議会の補正予算では「新型コロナ感染症予防・経済活動両立支援」として第1弾約1億6千万円を計上しています。今野誠一市議は「これまでの市独自の対策の予算額の合計」を質したのに対し、当局から「5億7千9百万円」

市独自事業の拡充で 市民に希望を



みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

*裏面もあります

<p>山形市議団報告</p>	発行		<p>無料法律生活相談 次回の相談会は、 7月11日(土)です。 事務所までお申し込み ください。 ・定例日 第2土曜日 緊急の場合はいつでも ご連絡ください。</p>	
	日本共産党山形市議団			
	山形市小白川町4-13-15	TEL (642) 4313		
	今野 誠一 船町161	(684) 9832		
	佐藤あき子 青田1-7-36-A	(641) 8640		
阿曾 隆 柏倉917	(645) 2911			
メール 0236424313@ams.odn.ne.jp				
Facebook 日本共産党山形市議団	で検索して下さい			

6月定例会

産業文教委員会

山形市があらたに 学校給食用米炊飯施設を整備

建設費8~10億円 概要未定で実施計画委託費に3300万円

阿曾隆市議は説明不十分だとして採決で退席



阿曾隆市議

今議会の補正予算で山形市は、「(仮称)学校給食用炊飯施設建設事業」をたちあげ、基本計画や実施設計の委託費に、約3300万円を計上しています。

19日の産業文教委員会で事業の概要について説明がありました。阿曾隆市議が、これまでの検討の経過やコスト面など詳しく説明するよう質問しましたが、明確に答えられない点が多く、賛成できないとして採決を退席しました。

山形市の学校給食用飯米は、(財)山形県学校給食会が3つの業者に委託し炊飯、配送も各学校に業者がとけています。おかずは沼木の市給食センターでつくって配送しています。

業者の米炊飯設備の老

朽化が数年前から問題になっていましたが、このたび、佐藤孝弘市長は、市が施設を新設整備すると発表しました。

施設規模を村山地域の10市町(山形、上山、寒河江、天童、東根、村山、河北、山辺、中山、大石田)をまかなえる分(山形市2万食、それ以外の市町で2万食)、建設費は8~10億円、来年度には建設するという唐突な提案で、しかも山形市以外の市町の意向はまだ確認していないという乱暴なものです。

阿曾市議はスケジュールありきできわめて乱暴な提案だと批判し、大要以下の発言をしました。

阿曾市議
 これまでどこでだれがどのような議論をして今度の提案になったのか極めて不明瞭だ。そういう先進め方の問題とともに、そもそも学校教育上の給食のあり方の問題だという視点が全く議論から抜けている。議会をはじめ利用者である学校や保護者、子どもたちの意見も

全く聞いていない。もっとさまざまな角度で検討が必要ではないのか。

スケールメリットがあるというが、例えば各学校で自校方式での炊飯にすれば、少子化のなか小規模校などはガス釜ひとつで足りるため、コストは大幅に下げられ、その分をおかずに回すことができるし、こどもの食育にもいかにできる。なにより各学校が災害時に炊き出しの能力を備える意義は大きい。また業者に設備更新の補助をするやり方も割安とおもいますが検討したのか。

このように多岐にわたる質問しましたが、教育委員会は回答できないことも多く、このままでは賛成できないとしてひとり採決を退席しました。

ただ今議会の補正予算は、コロナ関連の支援事業予算が多く含まれているため、全体としては賛成としました。

炊飯施設の今後の進め方については、市民に情報を提示し意見を聞く姿勢が大事です。また市民からも多様な意見をあげていくことが求められるのではないかと思います。

厚生委員会

小規模保育は 全員保育士のA型に

佐藤あき子市議

山形市は今年度、小規模保育施設3事業所を公募するとしており、A型またはB型としています。B型は、保育士資格を持つものが半数でよいことになっています。山形市では、現在8か所の小規模保育所のうち、3か所がB型ですが、「5年以内にA型に移行する」ことを条件としています。

佐藤あき子市議は「保育士は高度な専門職であり、全国的に保育園の死亡事故は保育士の少ない無認可保育園で多く起きている。5年以内にA型にする条件を守るとともに、極力A型で採用してほしい」と述べました。

*裏面もあります

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール 0236424313@ams.odn.ne.jp

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

今回の相談会は、
7月11日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

新型コロナとのたたかいは長期戦

医療 介護 生保 国保 命にかかわるセーフティネット



阿曾隆市議

6月定例会 本会議

阿曾市議が大綱質疑

市長の政治姿勢

第一に市長の政治姿勢について。阿曾市議は、これまで、市場経済原理を最優先にし、「小さな政府」で医療

市議会は6月定例会の冒頭、阿曾隆市議が大綱質疑で新型コロナ対策での市長の姿勢を問いました。

質問では、「経営が心配で夜も眠れないという自営業者、家計の悪化にアルバイトもなくなり学費が払えず退学を考える学生、いつ解雇や雇い止めにあうのか不安だという非正規の労働者など、苦しむ市民の声はどれだけ市長の耳に届いていますか」と問いかけ、大きく3点について質問、要望しました。

や福祉、公共サービスを縮小・民営化してきたが、こうした新自由主義が世界的に貧困と格差を広げ、コロナのもとで医療の逼迫、解雇・失業を引き起こしたと指摘。経済効率最優先の社会のあり方では、解決できない事態だとして、これからの政治や行政のありかたについて市長の見解を求めました。

次に阿曾市議は、コロナ禍のもとで市民の命綱である国民健康保険の問題について質しました。

この間、国保の被保険者であるコロナ感染者

国民健康保険

「日本は年金・医療・介護など公的社会保障があり、比較的新自由主義の影響をうけていない国。資本主義の私有財産制、市場経済をベースにしっかりとちつつ、そのなかで金融政策・財政政策をうちだすべき」などと述べました。

佐藤孝弘市長は、「日本は年金・医療・介護など公的社会保障があり、比較的新自由主義の影響をうけていない国。資本主義の私有財産制、市場経済をベースにしっかりとちつつ、そのなかで金融政策・財政政策をうちだすべき」などと述べました。

者に対して傷病手当金を支給することになりましたが、個人事業主やフリーランスは対象外。国保の加入者は、飲食店・一人親方・フィットネスのインストラクターなどコロナ禍の影響をうけやすい市民です。こうした市民が感染しても安心して仕事を休めるよう、市として支給対象の拡充をはかるべきだと求めました。

佐藤市長は、傷病手当金について「個人事業主やフリーランスの人も休みやすい環境を整える必要があると考える機会をとらえ国に要望していく」とのべるにとどまりました。

また、だれもが新型コロナの感染危機にさらされているなかで、保険料滞納を理由にしたペナルティは解消すべきです。少なくともこのコロナ感染を克服するまで、短期保険証、資格証明書の発行をやめるという決断をすべきだと迫りました。

東根市や、天童市、山辺町などで、国の給付金への乗せや、50%に満たない減少額の中小業者に対して、独自の給付支援金を始めていることを示して、山形市も自営業者の廃業を防ぐ緊急措置を講じるべきだと求めました。

3つめは中小商業者支援について。阿曾市議は、「国の持続化給付金が、売り上げで前年比50%以上の減少などの線引きをしているが、市内の自営業者から「必死で頑張っている、50%も売り上げが落ちた時はもう廃業で、生きていけない」という声が届いている」と紹介。

佐藤市長は、持続化給付金の拡充を国に要望し、国や県の施策に該当しない人へも市独自の支援策を検討していくと述べました。

最後に阿曾市議は「新型コロナのたたかいは長期戦。市民の

東根市や、天童市、山辺町などで、国の給付金への乗せや、50%に満たない減少額の中小業者に対して、独自の給付支援金を始めていることを示して、山形市も自営業者の廃業を防ぐ緊急措置を講じるべきだと求めました。

（佐藤あき子市議の一般質問続き）

児童館の活用

子育て世帯に、児童館は二つの高い施設。積極的な活用と、県の「子ども館」がなくなる中心部での空き店舗などへの増設の検討、東部・北部児童館のトイレ改修、などを求めました。

命・暮らしをしっかりと守るためには医療、介護、生活保護、国保など命にかかわるセーフティネットの問題として、市民の安心のために、政策的にも財政的にも思い切った振り向けが必要だ」と指摘しました。

学童保育の充実

学童保育は、突然の休校で、指導員の調整、感染予防対策、入学者の対応など、まさに予定外の状況となりました。働く保護者を支え、子ども達の発達を守る施設。それにふさわしい設備と人員の配置を、と求めました。

子育て世帯に、児童館は二つの高い施設。積極的な活用と、県の「子ども館」がなくなる中心部での空き店舗などへの増設の検討、東部・北部児童館のトイレ改修、などを求めました。

（佐藤あき子市議の一般質問続き）

児童館の活用

子育て世帯に、児童館は二つの高い施設。積極的な活用と、県の「子ども館」がなくなる中心部での空き店舗などへの増設の検討、東部・北部児童館のトイレ改修、などを求めました。

命・暮らしをしっかりと守るためには医療、介護、生活保護、国保など命にかかわるセーフティネットの問題として、市民の安心のために、政策的にも財政的にも思い切った振り向けが必要だ」と指摘しました。

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール 0236424313@ams.odn.ne.jp

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 7月11日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

**新型コロナ対策 保健師の増員を 医療・福祉施設の減収の補填を
 子どもと教職員の自主性を大切にする自由な学校へ**

6月定例会 佐藤あき子市議が一般質問



佐藤あき子市議

16日、佐藤あき子市議が、日本共産党山形市議団を代表して一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策における保健所の体制強化、医療・福祉施設の事業継続、子どもの学びの保障、学校での感染リスクへの対応、児童館の活用、放課後児童クラブの充

新型コロナウイルス対策

保健所の体制強化

中核市になって開設したばかりの保健所。人員に余裕があれば、教育・医療機関、福祉施設などとの連携や指導もきめ細かく行える。住民の暮らしの土台そのものを守る保健師の人員の拡充を、と求めました。

市長は「適切な要員配置を検討していく」と答えました。

医療・福祉施設

山形県保険医協会が県内の医療機関を対象に行ったアンケート調査では、9割が「外来患者数が減った」と回答。「収入50%減でスタッフの給与が出

母子健康管理措置

妊婦は感染した際のリスクがより高い。厚労省は母性健康管理指導事項連絡カードの扱いを変更。より感染リスクの低い作業への転換または出勤の制限の措置を講じる必要がある、と医師から事業主へ指示を伝達する、診断書と同等に取り扱われるものとなった。

複合災害への備え

佐藤市議は、市の避難所対応運営マニュアルに「危険性がなければ自宅待機を」とされている。避難所での感染を防ぐ方策の充実と、避難を呼びかけたら、自己判断でなく、より多くの方が避難できる体制をつくること

が急がれると訴えました。ストレス軽減のためにも必要だと言われている避難所のパーティションの設置、感染防止のためにもホテルや旅館と協定を結び、活用することも検討すべきと提案しました。

休校関連の予算措置

休校や卒業式の出席など二転三転する中で、郵送費、休校中の宿題の配布で、印刷費や紙代の出費が増えたと聞きました。

「子どもの未来をあずかる」学校は、市が優先して守るべき場所。事務用品は心配なく使えるよう改善を、と訴えました。

子どもたちの体と心を守る大きな役目を果たしている養護教諭。新型コロナが家庭にも影響を及ぼし、子どもを取り巻く環境はいっそう複雑に。さらに、感染症予防や感染者が出た際の対応など、養護教諭の負担が増大。コロナ問題の事態をうけ、県に加配を求め、定数の改善を国に強く求めるべき、と訴えました。

校則と生徒指導

現在、保護費負担となっている教材の中で、算数セット等、個人の持ち物でなくても良いものの再検討と、PTA会費などの負担軽減を求めました。

特に、給食費の負担軽減は、県内自治体でも実施する自治体が増えていく、と訴えました。

校則や指導の中に、髪型・色、下着の色など、人権侵害が見受けられる。根拠の説明と子どもに意見表明の機会を。校則を変えただけでなく、せひ教職員の研修会を、と訴えました。

教育長は「校則は、話し合いの場をつくるなど、少しずつ改善が進んでいる」と答えました。

子どもの主体的な学び

現在は「子どもの最善の利益」を考えずに、大

人社会の混乱をおしつけ

てしまっています。再開された小中学校では、子どもの主体性と納得を大切にしてほしい。各種学力テストは極力中止して、授業にあてるべき。研究指定なども取りやめて、教職員が子どもと向き合う時間を増やしてほしい、と訴えました。

また、子ども用マスク等衛生用品の配備の見直しを求めました。

現在、保護費負担となっている教材の中で、算数セット等、個人の持ち物でなくても良いものの再検討と、PTA会費などの負担軽減を求めました。

現在、保護費負担となっている教材の中で、算数セット等、個人の持ち物でなくても良いものの再検討と、PTA会費などの負担軽減を求めました。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
 今野 誠一 船町16.1 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-35-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 7月11日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

6月定例会開会

新型コロナウイルス感染症予防 経済活動両立支援など

6月定例会は、11日
 から26日の日程で開催
 されます。

補正予算2件は、一
 般会計と介護保険事業
 会計で、一般会計補正
 は、新型コロナウイルス対策事
 業として、国の事業で
 は学童保育の家庭保育
 協力者へ保育料を減額
 する予算、小中学校タ
 プレットの前倒し導入
 が計上されています。

市独自のものとして、
 保育所の登園回避に協
 力した分の保育料減額、
 店舗の家賃支援の追加、
 テイクアウトや宅配サ
 ビスの費用支援、各種
 祭典の中止で影響の大
 きいお祭り商業協議会
 の支援、感染予防のパ
 ーティション導入への支
 援、商店街の取り組み
 への支援、観光協会へ
 の支援、山形芸妓の支
 援が計上されています。

他に、待機児童対策
 として1歳児受け入れ
 のための保育士給与の
 補助、金井中学校の教
 室増設、学校給食用炊
 飯施設建設の準備、園
 芸品目の施設整備への
 支援、街路・公園・道
 路の各種事業、災害復
 旧、介護保険の低所得
 者保険料軽減などが計
 上されています。

また、最終日の追加
 上程として、国の2次
 補正に対応することも
 に、さらに市独自施策
 が提案される見込みと
 なっています。

新型コロナウイルス感染症対
 策などで受けている影
 響はそれぞれです。せ
 ひその声をお寄せくだ
 さい。党市議団は皆さ
 んの声を市政に届ける
 立場で奮闘します。

6月定例会は6月11日開会。佐藤あき子市議が一般質問(16日午後2時15分頃から)

自営業者の実態と声を集め支援策要請



「市独自の対策を」と訴える要請団(右) 正面が市議団

山形民主商
 工会の佐藤弘
 会長らが9日、
 市役所を訪れ、
 新型コロナウイルス感
 染症の影響で
 経営難に陥っ
 ている商工自
 営業者の願い
 を12項目にま
 とめ、佐藤孝
 弘市長宛に要
 望書を提出し
 ました。これに党市議
 団3人が同行しました。
 要請項目は、国の持
 続化給付金、国保税、
 地域経済活性化に関す
 ることの大きく3つ。
 持続化給付金について
 は、給付条件が「前年
 同月比50%」などの要
 件になっているが、売
 り上げ減で困っている
 全ての事業者を対象に
 することを国に求め、
 さらに市独自の上乗せ
 を要望しました。

国保税の減免につい
 て国が減免の方針を明
 示していますが、市の
 手続き方法は簡便なも
 のにすること、また国
 の制度では対象外にな
 っている事業主やフリ
 ランスに対して傷病手
 当金を独自に支給する
 ことなどを要望しまし
 ました。

地域経済活性化につ
 いては、市の住宅リフォー
 ム助成制度を拡充し、
 店舗や作業場などのリ
 フォームにも使えるよ
 う要件の緩和を求めま
 した。

市側からは各担当課
 長が出席し回答。市独
 自の緊急経済対策の追
 加事業については、経
 済の回復状況や国の施
 策をみながら、個人事
 業主を含む事業者に給
 付型支援策の追加を検
 討していくと回答しま
 した。

民商要請団は、コロ
 ナで苦境に陥っている
 自営業者の実態を「売

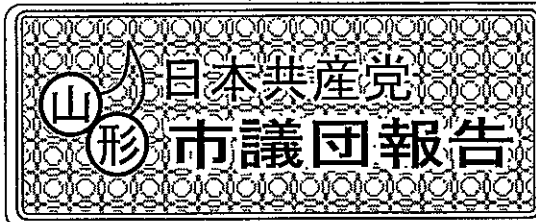
委員会議事録への指名記載 委員会室へのお茶出しを廃止

6月定例会から、山形市議会ではようやく、委員会議事録に発言者指名が記載されることになりました。全国的にも記載がない県庁所在市は福岡市と山形市のみとなっており、議論の中心となる常任委員会の内容が匿名という、時代遅れの状態でした。発言内容についても、現在は議会事務局が要約していますが、来年度から全文記載となる方向です。

また、東北の県庁所在市では山形だけとなっていた、事務局によるお茶出しも廃止となりました。

古い慣例の残っていた山形市ですが、議会改革検討委員会や議運、代表者会議などで多くの課題を検討しています。今後も開かれた民主的な議会運営となるよう、議論をすすめます。

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 柏倉9.1.7 (645) 2911
メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
次回の相談会は、
6月13日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。



佐藤あき子市議

山形市が今年度策定する「子どもの貧困対策に係る計画」の概要について、厚生委員会が勉強会が行われました。

今後、6月議会中に委員会に報告があり、7月の子ども・子育て

子どもへの貧困対策計画について

現にある貧困の中で、子どもの権利をどう守るのか

山形市は市医師会と連携して、5月24日から、日曜日の午前中にドライブスルー方式の「新型コロナウイルス」を設置しています。

医師会と薬剤師会、保健所から交代で人員を配置し、最大12名の検体を採取する計画です。これまでのところ診療対象者はいません。実施場所は非公表で、山形市保健所医師の判断で、自分か家族の運転で来所可能な軽症の方を誘導するとして、中等症以上の方は、指定医療機関へ受診を誘導します。

佐藤あき子市議は「開業医の協力のため日曜日の開設となつているが、再度感染者が広がった場合や、希望者へ検査できるよう対象者を広げると、平日も開設することは考えているか」と質問しました。担当課長は「今後の課題として検討したい」と答えました。

厚生委員会

新型コロナウイルス感染症対策

ドライブスルー方式で検体採取

山形市新型コロナウイルスセンター設置

6月議会は6月11日開会。佐藤あき子市議が一般質問(16日又は17日)

会議を経て、9月議会に再度報告したのち、10月に策定となります。今回の勉強会では、アンケートや統計からみた現状と課題、取り組みの分野別の事業一覧、計画推進の数値目標などが示されました。

あき子市議は、「現在ある支援策をまとめた印象が強い。山形市の貧困率は12%と、全国平均より低い、12%の子どもの貧困状況にあるというのには大きな数字。現にそうした状況にある子どもたちの命と健康、教育、遊びの権利、そうした子どもの権利をどう守るのか」と述べ、「他自治体では新型コロナウイルス対策で子ども食堂が開けない中、市が組織して配食サービスをしているところもある」と

事例をあげました。担当課長は「現在ある支援制度が必要な世帯に結び付いていないことが課題ととらえており、相談・広報体制を見直したい。他自治体のとりくみは聞いているが、山形市ではしくみをつくるのが難しいと考えている。なお調査研究したい」と答えました。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免について

党市議団はこの間、コロナによる収入減の被保険者の国保税の減免を要望してきました。

※右記の【表1】について、世帯の主たる生計維持者の事業等の廃止や失業の場合には、全額を免除します。

○対象 令和元年度分及び2年度分の国保税

○申請受付期間

(1) 令和元年度分：令和2年6月15日から令和3年3月31日まで

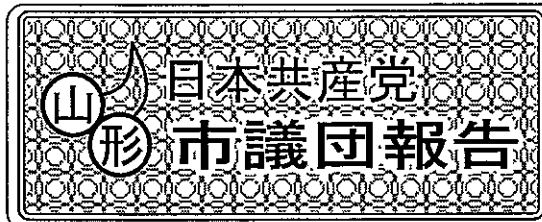
(2) 令和2年度分：令和2年7月14日から令和3年3月31日まで

※申請時に既に納期が到来している国保税がある場合は、遡及し減免を行います。

詳しくは市役所(641-1212)国保課保険税係まで

1	新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な傷病を負った世帯	全額
2	新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入減少が見込まれる世帯で、次の①～③までの全てに該当する世帯	世帯の主たる生計維持者について、 ①事業収入や給与収入など、収入の種類ごとに見た収入のいずれかが、前年と比べて10分の3以上減少する見込みであること ②前年の合計所得金額が1,000万円以下であること ③収入減少が見込まれる種類の所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること
対象保険税額【表1】に減額又は免除の割合【表2】をかけた金額		
【表1】		【表2】
対象保険税額 = A × B / C		前年の合計所得金額
A：世帯の被保険者全員について算定した保険税額		減額又は免除の割合
B：世帯の主たる生計維持者の減少が見込まれる事業収入等にかかる前年の所得額		300万円以下 全部(10分の10)
C：主たる生計維持者及び世帯の被保険者全員の前年の合計所得金額		400万円以下 10分の8
		550万円以下 10分の6
		750万円以下 10分の4
		1000万円以下 10分の2

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 6月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

**新型コロナウイルス感染症
 緊急対策の早期実現に向けて**

定額給付金

定額給付金の郵送による申し込みが14日から始まりましたが、市議団にも数々の問い合わせや、要望・指摘が寄せられています。

返送する申請書には、本人確認の証明書と振込用紙(口座の写し)を添付しなければなりません。その説明の上部に、代理人申請についての説明があるために、下段の2種類のコピーの添付が、代理人申請の場合のみと勘違いされて、迷われての相談が寄せられています。申請する人全てが必要な資料で、注意が必要です。

また、コピーをするために、コンビニ等へ出向かなければなりません。家族に頼めな高齢



「まだ振込まれていない」という方が何人かおり、混雑している様です。まだ申請していない2、3割の方の中に、コピーを取るのに苦慮している方がいる可能性があります。コミセンでの対応マニュアルを示し、利用しても

PCR検査

山形市のPCR検査は、一日数件の検査数がありますが、ここ28日連続して陽性の確認はありません(25日現在)。市民生活も国・県の方針に基づき感染拡大以前に戻りつつありますが、この約3ヶ月に渡る自粛体制の中で、各分野に渡って大きな痛手を受けています。

農業では、今、田植えも終盤に入り、農繁期の真っ最中ですが、一段落すれば、この間の損害が改めて整理されて数字に表れてくるものと思えます。

切り花栽培や野菜農家は、市の支援や、青果物価格保障制度で、どれくらい補填されるのか、また、肉牛生産者は、山形県では発動があまりなかった安定交付金(牛マルキン)が補填されますが、

6月議会の請願締切は6月1日(月)です

特別定額給付金コールセンター
電話:0120-560-890
 (受付時間:午前8時30分~午後8時 土日祝も受付)

6月定例会

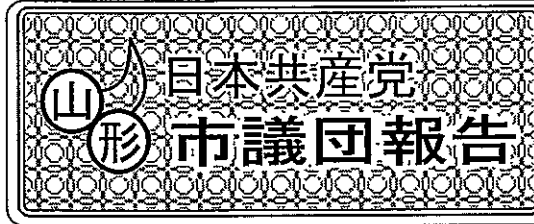


詳しい日程は、後日決まります。お問い合わせください。

佐藤あき子市議が一般質問
6月16日(火) または 17日(水)

- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (1) 保健所の体制強化について
 - (2) 医療・福祉施設の事業継続のために
 - ア、実績による補助金等の減額への対応について
 - イ、特別手当について
 - (3) 複合災害への備えについて
 - (4) 母性健康管理措置について
 - ア、母健連絡カードの周知について
 - イ、代替教員の配置について
- 子どもの主体的な学びを守るために
 - (1) 学びの保障は子ども主体に
 - (2) 休校に関連する予算措置について
 - (3) 養護教諭の加配について
 - (4) 校則の見直しについて
 - (5) 給食について
 - (6) 教育費の負担を見直すことについて
- 児童館の活用について
- 放課後児童クラブの充実について

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
今野誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾隆 柏倉917 (645) 2911
メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
今回の相談会は、
6月13日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。



今野誠一市議

山形市議会は「コロナ対策」で議会の総意として市に要望・提言し、支援していくことを柱に「対策本部」を設置してはとの議長呼びかけで5月8日、会派責任者会議が開催されました。

各会派から、役割や活動の内容、進め方などの意見が出される中、「山形市議会新型コロナウイルス対策本部」を設置することとなり、各派代表者会で決定することになりました。また、会派責任者が「対策本部役員」として正副議長と合わせて8名、議員全員が「本部長」として構成され、速やかな活動・対応に取り組みことを旨とし、5月15日に第2回本部役員会を開催し、各



「市議会新型コロナウイルス感染症対策本部」設置

派からの要望を持ち寄ることにしました。

第2回役員会では、各会派より出された要望・提言について、それぞれ説明があり、各分野こと整理・取りまとめを正副議長に一任し、20日の第3回役員会で決定することとなりました。

また、議長から議会費(報酬・政務活動費・行

政視察)の削減について、各会派の意見・提案を持ち寄ることとし、支援策の財源に役立てる方向での検討を求められました。

その他、事務局より、議員における感染への対応について説明があり、議員が感染症の疑いがある場合、濃厚接触者となった場合、出席が不可能になるケースなど想定される

その後、今野市議は「議員議会活動に一定の制約が出てくるとしても、自粛など本来の議員の権利が保障されない事態にならない対応をしてほしい」と議長に要望しました。

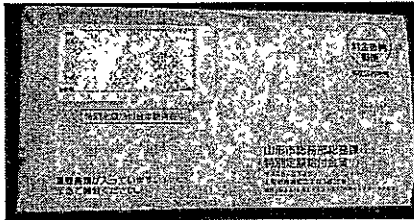
20日、第3回の議会対策本部の役員会が開かれ、各会派から出されていた提言・要望を7分野59項目にまとめた正副議長案を了承し、市長に手渡しました。

党市議団からは、PCR検査の実施件数を引き上げる、「新型コロナウイルス受診相談センター」電話回線の早期増設、国保の減免制度を今年度の納税通知書送付の際に周知すること。保育園・こども園では、職員へ危険対応特別手当の支給、休園した支援センター・一時預かりへの補助を削減しないこと、感染拡大防止資材の支給、などを求めました。

また、議会費を削減し、コロナ対策に向けるため、政務活動費を半額に、行政視察を中止し、約2700万円減額するための条例、補正予算を6月議会で取り扱うことにしました。

6月議会の請願締切は6月1日(月)です

1人10万円の特別定額給付金



定額給付金申請書は上の封筒で送られています。申請期限は今年の8月8日必着。以下の2つの資料添付が必要です。

- ①申請者本人確認書類(免許証・保険証などのコピー)
 - ②振込通帳のコピー(支店名・口座番号が書かれた部分)
- *申請にお困りの方は、ご相談ください。



佐藤あき子市議
が一般質問
6月16日(火)
または17日(水)

詳しい日程は、後日決まります。お問い合わせください。

- 6月
- 11日(木) 本会議・開会☆ 議会運営委員会
 - 16日(火) 本会議・一般質問☆
 - 17日(水) 本会議・一般質問☆
 - 18日(木) 予算委員会☆
 - 19日(金) 予算分科会
 - 22日(月) 常任委員会☆
 - 24日(水) 予算委員会☆ 全員協議会☆
 - 25日(木) 議会運営委員会
 - 26日(金) 本会議☆
- ※☆印はインターネット中継あり

6月定例会日程

みなさまのご意見、新型コロナウイルス感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 Ⅱ (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 6月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



今野 誠一市議

総務分科会

総務分科会では、1人10万円の給付事業について質疑がおこなわれ、全世界への申請書の郵送を14日開始し、

1人10万円 最速5月22日の振込想定

返送された申請書の確認を経て、5月22日銀行口座への振り込みが最速の給付と想定しているとの説明がありました。今野誠一市議は「市民は申請書を返送してから、何日後に口座から引き出せるかが知りたいのではないかと、



佐藤あき子市議

厚生分科会

今回の電話回線の増設は、県と共同している新型コロナ感染症受診相談センターを2回線から4回線に増設し、新たな一般相談を2回線開設するものです。「何度かけてもつながらない」と苦情の多い受診相談センターの増設は7月からのことについて、委員からなぜ時間がかかるのかとの意見があいつぎ、担当課は「研修など人財確保に時間がかかる」と聞いています。

一般相談は5月からの開設ですが、県の相談センターの増設は7月からのことについて、委員からなぜ時間がかかるのかとの意見があいつぎ、担当課は「研修など人財確保に時間がかかる」と聞いています。佐藤あき子市議が、生活不安の広がりがあるとして、すでに社会福祉協議会で行っている生活福祉資金の相談状況はどうか質すと、担当課長は「4月からの相談件数は420件であり、そのうち実際に申請したのが174件、貸し付けが決定したのは160件」と答えており、多くの相談が寄せられている実態があります。続けてあき子市議は、「生活支援の制度をまとめてわかりやすく周知すべき」と主張しました。

相談回線つながらず 保健所の役割鮮明に 広がる生活不安 制度周知を分かりやすく

「生活困窮者の住居確保給付金は、これまでの制度の対象を広げるもので、離職や廃業または収入の減少により住居を失うおそれのある方が申請でき、賃貸人や不動産事業者へ家賃の代理納付を行うしくみです。窓口は社会福祉協議会です。」

「生活福祉資金の相談状況はどうか質すと、担当課長は「4月からの相談件数は420件であり、そのうち実際に申請したのが174件、貸し付けが決定したのは160件」と答えており、多くの相談が寄せられている実態があります。続けてあき子市議は、「生活支援の制度をまとめてわかりやすく周知すべき」と主張しました。」



阿曾 隆市議

産業文教委員会

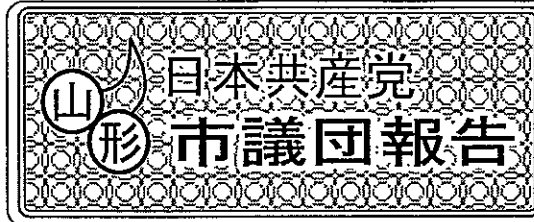
産業文教委員会では農業、観光関係への支援策8件について質疑しました。農業では3・4月の祝賀会やイベント自粛をうけている花卉農家、輸入増の影響もうけている肉用牛肥育農家への支援です。バラ、ユリなどの高コスト品目へは10アールあたり5万円、そのほかは同1万円。肥育農家へは3・6月出荷分で、国の価格補償制度で補てんされない分の2分の1を市独自に補助します。また、この間、花卉や牛肉の購買支援を市職員に呼びかけたところ、バラ200束、カーネーション427鉢、牛肉200人分の買い求めがあったと報告がありました。阿曾隆市議は、そのほかの野菜や、これから本番をむかえるサクランボなどの状況や支援の方向について質しました。観光関係では外出自粛で影響をうけているバス、タクシー、運代行業、また緊急事態宣言で自粛に依じた貸し切りバス、蔵王ロープウェイ、映画館や旅行代理店への支援です。ゴールデンウィーク中の県外からの蔵王温泉観光客は、前年比で5・4%、山寺で2・6%、今後は山形県民向けの宿泊前売り券などで支援策を考えていきたいとの報告がありました。

農業・観光 次の支援策が急務

長引く影響で、規模事業者の資金繰りは逼迫、また制度の隙間で支援から漏れてしまいう業種もあり、急いで次の支援策が待たれています。

*裏面もあります

みなさまのご意見、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 今回の相談会は、
 6月13日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

臨時議会

補正予算を可決

1人10万円の定額給付金

山形市第3弾緊急対策など

5月臨時議会が8日開かれ、5月補正予算で、山形市生活基盤支援・企業支援緊急対策(第三弾)を審査し、全案を全会一致で可決しました。

予算総額は、249億2500万円余で、その大部分は国の緊急経済対策への対応で、特別定額給付金給付事業(一人10万円)が、市内24万5千人へ、10万5千世帯を通して245億円が給付されることとなります。

その他、市独自の対策(別記)に8千9百万円余、感染症拡大防止対策に1億5百万円余となっており、市独自の対策は第1弾からの合計額が4億1800万円余となり、山形市は今後、財政調整基金からの繰入れや、一時借入れ入金、国の地方創生臨時交付金(山形市分6億4800万円余)などを活用しながら、国・県の対策事業と併せて、すみやかな執行が求められることにならざるを得ない。

市独自の第3弾緊急対策として、タクシー・代行業補助金、生活バス路線の補助金(前倒し支給)、索道事業者・旅行代理店・映画館支援補助金、花卉・肉用牛支援補助金、放課後等デイサービス職員激励金が可決されたほか、救急隊員の感染防護衣などの感染対策資材や相談回線の拡充(県への委託)などが可決されました。

党市議団は各予算分科会で市民の声を届けました。

新型コロナウイルス感染症

主な市の生活基盤支援 企業支援緊急対策

山形市代表電話 023(641)1212

個人・事業主：生活支援

- ①子育て世帯臨時特別給付金の支給
令和2年4月分の児童手当受給者
児童1人1万円(家庭支援課：内線575)
- ②ひとり親家庭等臨時特別給付金の支給
令和2年4月分の児童扶養手当受給者
児童1人1万円(家庭支援課：内線579)
- ③就学援助の適用拡大
家計急変で経済的に困りの方に就学援助を適用
就学費用や給食費(学校教育課：内線484)
- ④住居確保給付金の支給(収入要件等あり)
住居喪失または喪失の恐れのある方へ家賃相当分支給
*相談及び申請は市社協(Tel:676-7223)
(生活福祉課：内線594)
- ⑤国民健康保険の傷病手当金の支給
国保被保険者で感染もしくは疑いがあり療養のため労務できない方へ支給(国保課：内線357)
- ⑥税・公共料金等の支払い猶予等(*県税も猶予あり)
市税・介護保険料の徴収猶予、上下水道使用料の支払期限延期や分割納付を受付。(納税課：内線328、介護保険課：内線848、上下水道：645-1177)

事業主：経済対策

- ⑦経済対策相談ダイヤルの設置
雇用安定化・資金繰り・飲食業や宿泊業の支援の電話相談
☎(641)1237(直通：休日でも対応)(雇用創出課)

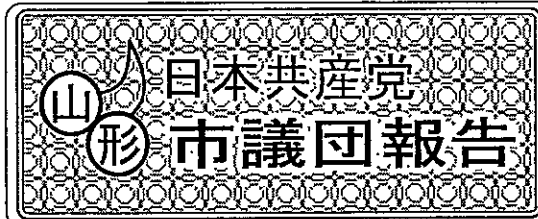
特別定額給付金(1人10万円)

給付対象者：令和2年4月27日において市の住民基本台帳に記録されている方(申請者：世帯主)
 申請方法：①全世帯に届く申請書に記入し、返送
 ②マイナンバーカードを活用したオンライン申請
 (総務課特別定額給付金室：内線9002~9007
 受付時間：午前9時~午後5時。休日も電話問合せ可)

- ⑧雇用調整助成金の申請への支援(雇用創出課：内線415)
事業者が雇調金申請や書類作成を社労士に依頼した場合の費用補助。対象経費100%(上限40万円)
事業者負担については、県と市で調整中
- ⑨持続化給付金の支給(国の制度・雇用創出課：内線415)
売上減少5割以上の事業者に対し国が支給する
法人200万円以内、個人事業主100万円以内
経産省ホームページからオンラインで申請
- ⑩飲食店への家賃補助
従業員50人以下、売上減5割以上かつ休業1か月以上
上限30万円(複数店舗事業者は上限60万円)
- ⑪飲食店等への事業系ごみ処理費用の補助
4月、5月、6月の最大3ヶ月分
- ⑫飲食店の新たな販売方法(テイクアウト・宅配)の導入補助
50人以下の飲食店。経費補助。
上限10万円(複数店舗事業者は上限20万円)
- ⑬緊急経営改善支援金(県の制度)
4月25日~5月10日の休業又は夜間営業の自粛への支援
法人：20万円、個人事業者：10万円(事業所を賃借している個人事業者は20万円)
(県商工業政策課 ☎630-3151・2360)
- ⑭他にも、旅館、タクシー、バス、旅行代理店、映画館、花き農家、肉牛農家等への支援などがあります。

*裏面もあります

みなさまのご意見をお寄せください。また、新型コロナ感染症でお困りのことなど、お寄せ下さい。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 5月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定休日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

臨時議会

保育料減額 手続き負担の軽減を

新型コロナウイルス感染症対策として、保育園利用家庭へ登園回避の要請、学童保育利用家庭へ家庭保育の要請が行われており、協力した場合の保育料の減額が示されました。



佐藤あき子市議

佐藤あき子市議は「家庭での保育を何日協力したかの調査から保護者への給付まで、現場の事務量が大きくなるのではないかと。書式を示すなど、工夫はどうなっているか」と質問。担当課長は「1日でも協力した方は減額する。日数だけ報告してもらって、市役所が計算する予定だ」と答えました。

他に、急な休校や延滞に長期間対応してきた学童保育の支援員に対し、激励金が支給されます。マスクや空気清浄機など備品購入への補助も可決されました。

また、市単独事業として、ひとり親家庭の児童扶養手当受給世帯に、子ども一人1万円の給付、国の事業では児童手当受給世帯に対し、子ども一人1万円の給付が行われます。市の事業は自動的に給付を行うのに対し、国の事業は「返還申請書」を送付し、辞退の申請がなかった人に支給するとされており、委員からは「その手続きをする間に早く支給すべき」との声があげられました。

厚生分科会

23日に各委員会が開催され、職員の異動の紹介のほか、それぞれ報告事項がありました。

厚生委員会

乳幼児健診・予防接種の柔軟な対応を

母子保健課から、産後ケア事業の実施状況について報告があり、産前産後の母子保健事業が図表で示されました。あき子市議はその中で「乳児健診や予防接種は新型コロナウイルス感染症の心配から、時期を逃してしまう世帯もあるのではないか。健診や予防接種には適切な時期があるとは思いますが、無料期間を延長するなど対応を考えると」と述べました。担当課長は「集団健診は現在延期して、3密を避ける体制を検討している。予防接種については検討したい」と述べました。

国保感染者に傷病手当金を支給

個人事業主やフリーランスは…

国保加入者の傷病手当金の支給対象に新型コロナウイルス感染者を含める改正ですが、傷病手当金は被用者のみの制度であり、個人事業主やフリーランスは対象外です。国会で

の倉林議員の質疑に対し「市町村の判断」との答弁があったことを受け、佐藤あき子市議は「個人事業主やフリーランスも対象に」と求めました。担当課長は傷病手当金について、

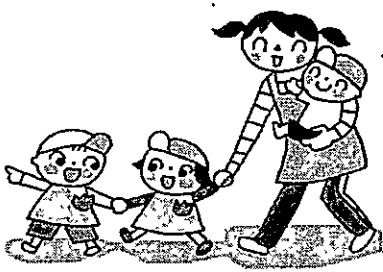
国保の厳しい運用から被用者のための制度となっている、と説明したうえで、検討する述べました。計上された予算は、30人分120万円となっています。

待機児童ゼロに

4月1日段階の保育園待機児童が3年ぶりにゼロになりました。子育て支援の根幹として選挙でも訴えてきた課題です。

市は待機児童の多い1歳児の受け入れを54人増やしたほか、これまで3度だった利用調

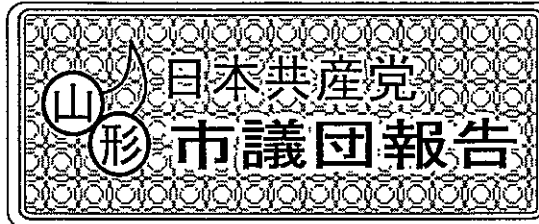
整を4度にふやし、24人の入所につながったとしています。あき子市議は待機児童をなくしたことを評価しつつ、兄弟姉妹で連日園に就いているなど子育て当事者からすれば大変な状況が残されていることから、引き続き丁寧な



調整を行うよう求めました。

*裏面もありません

みなさまのご意見をお寄せください。



発行
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 電(642)4313
今野 誠一 船町161 (684)9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641)8640
阿曾 隆 柏倉917 (645)2911
メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
次回の相談会は、
5月9日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症対策への 緊急要望 (18項目) 第2回目

保健所機能強化、国保料減免など 党市議団が市長へ申し入れ



緊急要望を市長へ 左から佐藤市議、今野市議、市長、阿曾市議

小規模事業者への手厚い対応を

雇用を守る雇用調整助成金

雇用調整助成金は、新型コロナウイルスの影響で、事業が縮小した事業主が雇用の維持を図るために要した休業手当を助成する制度です。

党市議団は、当初国が9割を助成するというところで、残りの1割を市が補てんするよう市長要望などで求めてきました。その後、国が10割給付の方向を打ち出すなど、運動と世論に

よって変化が生まれ、山形市は助成金の申請が複雑で、社会保険労務士などに申請を委託した場合の手数料も、小規模事業者には大きな負担である現状から、40万円を上限に補助する制度をスタートさせています。

27日の議会産業文教委員会では、21日からの受け付け開始で、申請はまだゼロの担当課は、いね

であるものの、問い合わせが0件寄せられていると報告があり、事業者の苦境が明らかになりました。阿曾隆市議は、市の補助制度を評価しながら、市内に約80人とされる社労士が多忙のため小規模事業者まで手が回らないという現場の声を紹介。小規模事業者が雇用継続をあきらめてしまわないよう、市の担当課は、いね

に相談にのり、申請を援助してほしいと要望しました。市当局は、「制度は複雑で申請そのものの援助は難しい。はじめて制度活用する小規模事業者は、一から教えないといけないため社労士も大変だと聞か、なんとか対応してほしい」と答弁がありました。

27日、臨時議会が開かれ、山形市生活基盤支援・企業支援緊急対策として、4月14日発表された第一陣と24日発表された第二陣の補正予算の審議が行われ、関係する条例も合わせ全議案、全議員一致で可決されました。補正予算総額は約

特別定額給付金(仮称・10万円)5月の早い時期に

9・1億円ですが、中止や延期が確定した事業の減額が約3億円あり、コロナ対策には、12億3千万円の国・県・市の予算措置となっており、7千9百万円余となっています。

その中で、市独自の対策は、第一陣・第二陣・1億6千7百万円余(仮称・1億1千万円)に向けた組織体制に

万円の追加となり、市民税の還付金4億5千万円も予算化されており、総額7億7千9百万円余となっています。

総務委員会では「特別定額給付金(仮称・1億1千万円)」の対応を示しました。

一般会計予算総額(単位:千円)	913,737	保育所等新型コロナ感染症拡大防止事業費補助金	35,653
1、山形市生活基盤支援・企業支援緊急対策(第一陣)	167,513	子育て世帯随時特別給付金給付事業	307,580
(1)市独自の経済対策及び感染症拡大防止対策		小中学校等新型コロナウイルス感染症拡大防止事業	7,579
雇用調整助成金申請支援補助金	60,000	(2)市独自の経済対策及び感染症拡大防止対策	161,732
店舗支援補助金(家賃支援)	46,350	保育料負担軽減事業	5,829
店舗支援補助金(販売方法支援)	1,500	放課後児童支援員等激励金	10,500
飲食店等事業系ごみ処理費補助事業	59,663	ひとり親家庭等随時特別給付金給付事業	23,263
2、山形市生活基盤支援・企業支援緊急対策(第二陣)	614,134	宿泊施設支援補助金	46,800
(1)国の新型コロナ感染症緊急経済対策への対応	452,402	山形交響楽協会運営支援補助事業	75,340
市立保育保新型コロナ感染症拡大防止事業	4,121	3、中止・延期となったイベント等	△317,910
放課後児童クラブ運営委託料(臨時休校特別開所加算)	53,770	4、その他	450,000
放課後児童クラブ新型コロナ拡大防止事業費補助金	29,200	法人市民税の還付金	400,000
放課後児童クラブ保育料支援補助金	14,499	予備費	50,000

*裏面もあります

みなさまのご意見をお寄せください。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313

今野 誠一 船町161 (684) 9832

佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640

阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール 0236424313@ams.odn.ne.jp

Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談

今回の相談会は、
5月9日(土)です。

事務所までお申し込み
ください。

・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

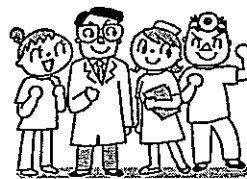
新型コロナ 実態と要望調査 党市議団 各分野に聴き取り

医療・介護・福祉施設等 マスク・防護具・衛生材料が足りない 学童・教職員組合 学校を開放してほしい

医療・介護・福祉施設

新型コロナウイルス感染症が、市民生活に不安と疲弊をもたらしています。党市議団は、教職員組合、学童保育、病院、女性団体、労働団体、福祉施設などへ、新型コロナウイルス感染症の影響による現場の実態、寄せられている声、要望をお伺いしま

した。また、多くの方から不安の声が寄せられています。党市議団は23日、まとめた要望書を市長へ提出します。寄せられた主な要望は次の通りです。(▽要望)



医療・介護に携わる療・介護事業所の体制方は、余裕のない配置・整備。▽オンライン診療の中、感染症対策のための気配りと実施で、心身の負担が強まっています、と訴えています。

▽医療・介護事業所と従事者への公的な支援。▽マスク、消毒液などの衛生材料の不足。▽感染拡大に対応した医

療・介護事業所の体制強化。▽施設利用減による給付減の分を報酬に回す仕組みを。▽感染者が発生した場合の施設・保育所等の対応についてガイドラインを示してほしい。

女性団体

▽給食で栄養を確保していた子どもへの配慮。▽DVや虐待の相談窓口の体制強化。▽アルバイトがなく生活費に困った学生が地元と往

復している。県外との行き来減らず経済的支援を。(新潟では帰省自粛の学生に米支援)。▽大学等の入学金・授業料の免除・減額、納入の延期。

業者

多くの業者が、消費税増税により苦しくなっ

借りても返せない、との声が寄せられています。▽一日も早い休業補償と手続きの周知を。▽中小業者、個人事業主、フリーランスへの、国保の傷病手当金の支給を。▽消費税を減税してほしい。

労働組合

▽雇用調整助成金の10割補助を。それでも給与の6割。さらなる上乗せと、利用しやすく改善を。▽新型コロナ対策に伴う休暇を、年次有給休暇や欠勤扱いせず特別休暇の創設を。補償は公費での負担を。▽フリーランスや雇用

保険未加入の非正規労働者に対しても、一般労働者と同水準の所得補償を。▽労働基準監督署等の増員を。

学童・教職員組合

新型コロナウイルス対策の学校の休校に伴い、最も注目された学童保育。毎日朝7時から夜7時まで対応に追われ、指導員の疲労は限界、と

話しています。教員は、久々の登校日に子どもたちに会えてほっとしたと語っています。

学校を開放し、教員の在宅勤務をすすめてほしい。▽これを機に学童保育の施設等の充実をしてほしい。



みなさまのご意見をお寄せください。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4-13-15 電話 (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 5月9日(土)です。
 事務局までお申し込み
 ください。
 ・定休日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

山形市内でもコロナウイルス感染者

休校延期 学童保育への支援を 福祉資金貸付・介護保険料・国保税等―猶予ではなく軽減を

山形市内で感染者が確認された9日、厚生委員会が行われ、各担当課の説明が行われました。14日午前10時時点での山形県内の検査件数は989件、陽性者43名、山形市の保健所への相談件数は多い日で200件を超えています。

市有施設の閉鎖状況、福祉施設への衛生用品の配布状況、学童保育への支援などについてあき子市議は「感染対策か免疫の獲得で収束するならば、流行のピークや患者数の増加についてどう見込んでいくのか。中核市になって保健所にシシクタンク機能を持たせるとしていたが、市民は科学的な対応を求めている。学校の再開時期は学童運営にかかわる。市としての見解はどのようなか」と質問しました。

健康増進課は「保健所は相談の対応に追われ、分析はできていない」と答弁。

あき子市議はさらに「生活福祉資金の貸し付けも介護保険料の猶予も、今後に負担をまわすものでしかない。国保税の軽減も含め、猶予ではなく軽減を市として検討してほしい」と主張しました。



佐藤あき子市議

新型コロナで家計急変のおそれ 就学援助制度の活用を

新型コロナウイルス感染症の影響で、自営業やひとり親世帯などで家計が急変する世帯が増えており、今後もある可能性がますます高まるといわれています。

活用してほしいのが、義務教育の給食費や学用品等費を支援する就学援助制度です。共産党市議団は制度の周知申請のしやすさ、支給額の大幅な増額などをくり返し求めて制度の改善をすすめてきました。

同制度は前年の所得などをもとに認定をするため、いま起こっている新型コロナによる家計急変には緊急特別の柔軟対応が必要で、具体的には、①申請期間を少なくとも5月未まで延長し4月認定分に含めること。(現在は年度途中の申請は申請月からの支給)②直近の収入減で申請できる枠組みを緊急につくること③改めて全保

3月定例会 産前産後の表決権等の確保を求める意見書を採択

2019年10月から、議会改革検討委員会が設置されており、広報委員会の設置やICT化など9つの議題で検討を行っています。これまで、議会の保育室について、災害時対応マニュアルについて、事務局の体制強化について、合意を形成していません。

産前産後の表決権について、検討委員会の結論が議会運営委員会に報告され、3月議会に意見書が提出され採択されました。

地方自治法の規定では、会議に出席しなければ表決権を行使できませんが、世界的にみると代理投票や遠隔投票が認められはじめています。意見書は出産した女性議員の表決権を守る法改正を求めることにも、母性保護は妊産婦の権利としています。あき子市議が検討委員会の中で提出した修正案が採用されました。

現在、検討委員会ではタブレット・WiFiの導入について検討しています。今後も市民に開かれた、活発な議会となるよう力を尽くします。

護者への周知をはかること④感染防止の観点からも郵送など申請の簡素化をはかるなどが求められます。

4月14日の市議会産

*裏面もあります

新型コロナ感染症でお困りのこと、情報、ご要望などお寄せ下さい。

山形市議団報告

日本共産党

発行

日本共産党山形市議団

山形市小白川町4番13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町16-1 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾、隆 柏倉917 (645) 2911

メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 5月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。

雇用
観光
農業

新型コロナウイルスの影響大

新型コロナウイルス感染症拡大により、経済や暮らしに大きな影響がでています。14日の市議会産業文教委員会では現時点での現状と対策について報告があり、質疑

を行いました。阿曾隆市議は、国の新型コロナウイルス感染症対策の速やかな実施と市としてできる対応策を最大にと求めました。

農畜産物Ⅲ価格低迷で農家経営に影響 畜産ⅡBSEなみの支援策求める



阿曾隆市議

くらんぼや促成山菜などで価格が4割に下がっています。キュウリは順調。



花卉関係は啓翁桜が卒業式、送別会などの減少で前年比6割減。他の花卉は7日の緊急事態宣言から価格が暴落。バラ・ユリなどは出荷価格が半値にも。肉用牛は1頭あたりの枝肉価格が3月2日の100万円から、4月10日には69万円まで落ち込んでいます。

野菜等はほうれん草や小松菜などが暖冬の影響で価格が低迷しているのに加え、料亭や百貨店の営業停止で

市農政課では、「市内の農畜産物を利用するよう市役所内で積極的な消費を依頼している。また国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の実施に加えて、農家の状況を聞きながら独自の支援策を検討していく」としています。

阿曾隆市議は、とくに肉用牛について「昨

年の平均価格が115万円というところで、そもそも今年に入ってからの輸入肉拡大で価格が下がっているところへ追い打ちをかける打撃ではないか。BSEの時に匹敵する支援策を考えていかないとならない」と要望。「国の肉用牛肥育経営安定交付金の損失補てんに上乗せする県も出ているようだが、そうした支援策も考えていきたい」との答弁がありました。



雇用Ⅲ資金繰りなど

事業者からの資金繰りについての相談件数が150件をこえ、日々増加しているといいますが、経営悪化した中小企業の資金繰りで国が保証を肩代わりする「セーフティネット4号」が発動されていますが、市内の認定件数が88件と報告されました。

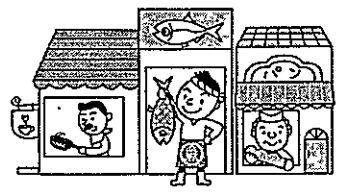
雇用を守るためには、国の雇用調整助成金を活用することが求められます。市として事業者が助成金休業計画画などの提出に当たり社会保険労務士などに支払う手数料を支援していくとの報告でした。社労士への支払いは場合によっては助成金の

20%にも及ぶというところで、市の支援策は重要です。

阿曾隆市議は、さらに「解雇を回避した中小企業への助成率は国の責任で10割すべきだが、現状は9割だ。その分の市の上乗せはどうか」と質問。雇用対策課は5%程度の上乗せをできればやりたいとの答弁でした。

最も影響の大きいのは観光関係で、蔵王温泉の宿泊状況は前年比で3月は5割、4月は2割の見込み、山寺も4月は前年比1割程度の見込みとされます。また薬師祭りなど催事関係の延期や中止の影響もあります。

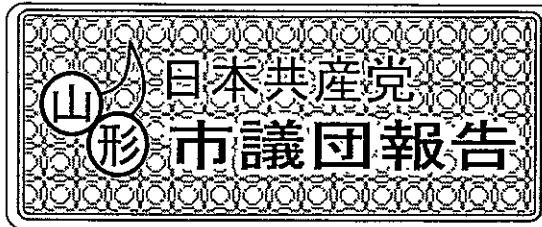
市としては県の企業活動自粛などの独自対策を注視しながら、感染収束まで当面は今年度予定の修繕・工事、印刷物や作成物などの前倒し発注を考えていくとしています。



市としては県の企業活動自粛などの独自対策を注視しながら、感染収束まで当面は今年度予定の修繕・工事、印刷物や作成物などの前倒し発注を考えていくとしています。

*裏面もあります

みなさまのご意見をお寄せください。



発行
 日本共産党山形市議団
 山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
 今野 誠一 船町161 (684) 9832
 佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
 阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911
 メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
 Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

無料法律生活相談
 次回の相談会は、
 5月9日(土)です。
 事務所までお申し込み
 ください。
 ・定例日 第2土曜日
 緊急の場合はいつでも
 ご連絡ください。



阿曾隆市議

産業文教委員会で、学校給食における栄養素摂取基準と地産地消について質問しました。国は学校給食法にもとづいた給食実施基準を定めており、そのなかで、エネルギー、タンパク質、脂質、ビタミン、鉄分などの栄養素摂取基準を満たすよう求めています。この間、消費税の度重なる増税や食料費の高騰が納入業者を圧迫していることから、メニューの制限などにつながるのではないのかという観点で聞いたものです。

地産地消で 安心の学校給食を 阿曾 隆市議

学校給食センターによると、一般的にこれらは摂取しにくい栄養素で、それを増やすと他の栄養分が過剰になっ

目的からは、しっかりと達成してほしいと求めました。あわせて、諸経費の高騰の中で納入業者もたいへんです。そのなかで食料費を削るのではなく、必要な食料があれば、市の予算を投入してしっかり確保するようにすべきだと考えます。

地産地消については市内産野菜の使用率が26%、県産35%でした。「冷凍食品などの加工品は原材料をオーストラリア産の肉をつかうなどしているが、加工は市内業者がおこなっており安全性は確保されている」との答弁でした。

市の給食センターは一日2万食をつくれる全国有数の規模で、それだけに均一な食料を確保することは困難があります。しかし議員になって9年になりますが、この間、市産野菜の使用率は少しずつ下がっており問題です。

一般質問ではアメリカ産の小麦をつかったパン給食をやめることや、生産者をおくめた「学校給食地産地消推進協議会」をつくることを提案しますが実現していません。

「安全・安心の給食」「食を通して学ぶ」という点からも、地産産の食料をいやす取り組みが必要です。

「二戸以上で組織し、出荷・販売する農家のグループで、認定農業者以外の専業農家や、兼業農家が対象」で水稲・園芸作物用の「農業機械共同利用支援事業」です。事業費は30万円以上のもので、新

規・更新また、新品・中古でも対応可能ですが、中古は法定耐用年数(7年)まで3年以上残っていることが条件です。補助率は10分の2以内で補助上限は70万円(事業費として約350万円以内)となっております。要望者多数の場合は抽選となっております。問い合わせ先は市農政課ですが、提出期日が4月24日

(金)と なっており、見積書及び力タログの添付や農協経由などを考慮すると時間があまりありません。耕作放棄地や、地域農業の衰退に心を痛めている農家の方々は、地域を支える重要な担い手です。ぜひ活用してみませんか?



今野誠一市議

深刻化する新型コロナの影響

県内にも感染者が増えはじめています。市の対策本部会議でも新たな対策を協議しています。4月1日の会議では、4月末までの市有施設の新規貸館受付の中止や、各担当部署からは小中学校の休校、

東北絆まつりの一年延期など影響が大きくなっています。そして緊急事態宣言によってさらに市民生活の先行に不安が高まっています。これまで何とか生活してきたが、先月から給料が半分に、さらに自宅待機となって、今月の暮らしがひっ迫していると生活保護の申請をする方や、国の生活援助貸付金の申込みられています。

みなさまのご意見をお寄せください。

山形市議団報告

日本共産党

発行

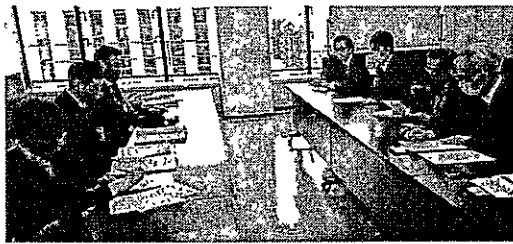
日本共産党山形市議団
山形市小白川町4-13-15 TEL (642) 4313
今野 誠一 船町161 (684) 9832
佐藤あき子 青田1-7-36-A (641) 8640
阿曾 隆 柏倉917 (645) 2911

メール 0236424313@ams.odn.ne.jp
Facebook 日本共産党山形市議団 で検索して下さい

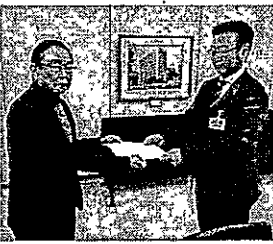
無料法律生活相談
次回の相談会は、
4月11日(土)です。
事務所までお申し込み
ください。
・定例日 第2土曜日
緊急の場合はいつでも
ご連絡ください。

新型コロナ 保険証のない世帯にも短期保険証を

県民医連が新型コロナ感染症対策で緊急要請 阿曾市議が同席



国保課と懇談 右手奥が阿曾市議



要望書を国保課長へ

山形県民主医療機関連合会(中島幸裕会長)は3月27日、新型コロナウィルス対策で山形市国民健康保険課に対し要請書を手渡し懇談しました。市議団から阿曾隆市議が同行しました。

県民医連、医療生協山形、至誠堂総合病院の代表ら5人が市役所を訪れ、①国保の資格証明書交付者に対して、直ちに短期保険証を交付すること②短期保険証は窓口にとどめ置かず郵送することの2点を申し入れました。新型コロナウィルス感染症での被保険者資格証明書の取扱については、国が県などに対して、普通の被保険者証と同等に扱うなどの通知を出していますが、こうした内容を資格証明書交付者に市が直接説明し、直ちに短期保険証を交付するよう求めました。

市国民健康保険課によると現在の資格証明書は65世帯、短期保険者証は1000世帯以上上のほりです。

要請に対して、資格証明書発行世帯に国の通知について周知をはかることは検討しているものの、「短期保険証発行は考えていない」。また短期保険証の窓口留置はもともと行っていないとの回答でした。阿曾市議は「新型コロナウィルスの影響と消費税10%の2重打撃



で観光、自営業者、パート、非正規労働者など国保加入者が最も大きな影響をうけている。国保税の納付猶予、減免など機敏に対応できるようにしてほしい」と要請。民医連からは「受診遅れにつながる資格証明書はそもそも出さないようにしてほしい」と要望が出されました。

※資格証明書 保険税を一年以上滞納すると交付され、医療を受診すると窓口負担は10割になる

※短期保険証 一年未満の滞納で交付される1〜3ヶ月有効の保険証。窓口負担は3割



今野誠一市議

民間の文化の力を活かす

文化創造都市推進事業について、今野誠一市議は「山形市には全国から注目される民間の文化施設や事業も多く、山形市民の認識を高めることで運営も良好になると思われる。市が積極的に支援する手立てが必要なのは」と当局の考えを求めました。当局からは「確かに民間が主体となる活動は市が直接かかわ

るものより多く、ユネスコ創造都市に加盟したことなど踏まえ、来年度は文化の力を活用した街づくりを進めるためのアクシオンプランを策定していく。そのため条例の整備もおこなう」との答弁がありました。

山寺芭蕉記念館一帯にある後藤美術館の存在、シベリアルリーの存続はじめ、多くの民間の文化施設や事業の力が生きている施策が求められていると思えます。

ぜひ、ご覧下さい。

日本共産党
ホームページ
新型コロナ特集↓

みなさまのご意見をお寄せください。